

令和4年5月定例会

(2022年)

# 市議会議案

吹田市



議事番号	事 件 名	議案書 ページ	参考資料 ページ
報告第4号	公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について	5	—
報告第5号	公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について	53	—
報告第6号	一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について	101	—
報告第7号	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について	133	—
報告第8号	公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について	165	—
報告第9号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	197	—
報告第10号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	199	—
報告第11号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	201	—
議案第50号	吹田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	203	5
議案第51号	吹田市成長産業特別集積区域における成長産業の集積の促進及び国際競争力の強化に資する事業計画の認定並びに市税の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	205	13
議案第52号	吹田市立吹田第一小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	207	15
議案第53号	吹田市立千里第一小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について	209	21
議案第54号	吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	211	29
議案第55号	吹田市立岸部第二小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）及び吹田市立岸部第二小学校給食調理室雨水排水改修工事請負契約の締結について	213	38
議案第56号	吹田市立山手小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	215	48
議案第57号	吹田市立津雲台小学校校舎大規模改造2期工事（建築工事）請負契約の締結について	217	55
議案第58号	吹田市立山田中学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	219	62
議案第59号	吹田市立山田東中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について	221	69
議案第60号	吹田市立江坂大池小学校校舎及び吹田市立江坂大池留守家庭児童育成室増築工事（建築工事）請負契約の締結について	223	77
議案第61号	重文旧西尾家住宅主屋ほか6棟建造物保存修理工事（I期工事）請負契約の締結について	225	89
議案第62号	（仮称）南千里駅前公共公益施設整備事業契約の一部変更について	227	97
議案第63号	（仮称）岸部中住宅統合建替事業特定事業契約の一部変更について	229	99
議案第64号	佐竹千里山駅線道路改良工事請負契約の一部変更について	231	101
議案第65号	令和4年度吹田市一般会計補正予算（第1号）	233	103

議事番号	事 件 名	議案書 ページ	参考資料 ページ
議案第66号	令和4年度吹田市一般会計補正予算（第2号）	273	105
議案第67号	令和4年度吹田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	293	—
議案第68号	令和4年度吹田市勤労者福祉共済特別会計補正予算（第1号）	309	—
議案第69号	令和4年度吹田市介護保険特別会計補正予算（第1号）	321	—
議案第70号	令和4年度吹田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	339	—
議案第71号	令和4年度吹田市水道事業会計補正予算（第1号）	355	—
議案第72号	令和4年度吹田市下水道事業会計補正予算（第1号）	367	—

報告第4号

公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について

公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和4年5月26日

吹田市長 後藤圭二

(1)

## 令和4年度（2022年度）事業計画

新たに令和4年度から5年間のメイシアター指定管理者に指定され、引き続き効果的・効率的な管理運営を行います。その他公益目的事業を推進し、多彩な自主文化事業に取り組み、以下のとおり事業活動を行います。

### 1. 公益目的事業

＜市民の文化活動の振興を図る事業＞

市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的とします。

#### (1) 鑑賞型事業

市民の多様なニーズに応えるよう多彩なジャンルの質の高い事業を提供し、多くの市民が文化芸術を鑑賞できる機会をつくります。高齢者、障がい者、青少年など多くの市民に触れ親しんでもらえるよう事業形態を工夫します。

[主な事業]

■ 大阪フィルハーモニー交響楽団コンサート

質の高いコンサートを安価で鑑賞できる機会。

■ ミュージックストリート

館外でコンサートを実施、市民により身近な場所で生演奏に触れてもらう。

#### (2) 創造型事業

事業企画の専門知識やネットワークを生かした独自の事業を企画・制作します。また、地域の人材を生かした事業により地域の文化的交流の活性化、魅力向上に繋がります。

[主な事業]

■ SHOW劇場（演劇公演）

関西で活躍中の演劇関係者を起用し、独自の舞台作品を創造する企画。先鋭的な企画として毎年話題性に富み、新聞記事に取り上げられるシリーズ。

■ 吹田のアーティスト応援80事業

新型コロナウイルス感染症拡大により活動の場が狭められている市在住のプロの実演家に発表の場を提供して、市内外に情報発信する。

#### (3) 市民参加型事業

体験を通じて市民の文化芸術に対する興味を深めてもらい、市民が主役となって関わり自己実現できる場をつくります。創作活動において世代や価値観の垣根を超えた交流を促し、豊かな地域コミュニティづくりに寄与します。

[主な事業]

■ 吹田市民の第九

(2)

合唱の初心者も上級者も練習を通して交流しながら、プロのオーケストラと本番で共演する。

■ **ファミリーミュージカル**

公募による小学生から大学生、60歳代までの市民が、プロの演劇関係者と約30日間の稽古を経てミュージカルを上演。創作活動の過程で参加者が繋がりを深める。

■ **劇評ワークショップ**

観劇後の感想を述べ合うことで多様な価値観を共有する場をつくとともに、演劇に対する関心を深めてもらう。

(4) **育成型事業**

青少年の成長に資することを目的とした子ども向けの鑑賞事業、体験事業を継続的に実施します。地域における次世代の実演家、指導者、アートマネジメント人材の育成にも取り組みます。

[主な事業]

■ **いいむろなおきマイムカンパニー**

乳幼児と、子育て中の家族を対象にしたパントマイム公演。

■ **小学校・出張コンサート**

小学校の音楽室に吹田の若手奏者を派遣して演奏会を行う。

■ **青少年育成事業応援寄付金**

次世代を担う青少年の文化活動支援を目的とした寄付金募集事業。

(5) **連携型事業**

より多くの市民を巻き込み、地域に密着した事業を拡大することを目的として、市内の大学、民間団体、企業、行政等と連携して事業を行います。

[主な事業]

① **大学との連携**

■ **大阪大学共同事業（学術的見地から取り組むアートマネジメント人材の育成事業）**

② **民間団体との連携**

■ **スキュルチュール江坂ロビーコンサート**

■ **吹田市医師会懇談会**

③ **行政機関との連携**

■ **すいたEXPO**

■ **吹田市文化功労者表彰式典**

(6) **情報発信型事業**

文化事業の情報提供や施設使用状況の公開など、市民の文化活動に資する情報提供に取り組みます。市民と文化芸術との接点を増やせるよう多様な媒体を活用します。

[主な事業]

- ホームページ、SNSの活用
- 情報紙「メイシアターインフォメーション」の発行
- デジタルサイネージの運用
- チラシ、ポスターの掲出

(7) 施設管理事業

これまでの実績を生かして一層の市民の文化の向上を図り、以下の方針にてメイシアターの管理運営を行います。

[管理運営方針]

- 平等利用の確保
- 個人情報保護、情報公開
- 施設の利用促進
- 芸術文化の創造、発信
- 安全対策
- 経費の節減
- 地域に密着した文化の創造
- 環境への配慮

2. 収益事業

<市民の文化活動の振興に資する事業>

公益目的事業に資することを目的に、以下の事業を行います。

(1) レストラン業務委託事業

メイシアター2階にてレストラン「CAFE DINING VALORE.」(バローレ)が営業。来館者に飲食を楽しんでいただき、また、レセプションホールの飲料提供や楽屋ケータリングなどにも対応します。運営会社と連携・協力して営業を推進し、業務収益の確保に努めます。

(2) 広告掲載受託事業

自主事業の活動に資するスポンサーを求め、とくにメイシアターインフォメーションや公演プログラムなど多くの市民に渡る発行物への広告を募り、広告料収益の確保に努めます。

(3) 自動販売機設置事業

自動販売機6台を設置し、来館者に飲料の提供を行います。メイシアターに見合うオリジナルラッピングやWリボンラッピングを施して引き立たせ、業務収益の確保に努めます。

併せてすべてを災害対応型自動販売機とし、非常時の避難者支援を図ります。

(4)

令和4年度（2022年度）公益目的事業一覧

<自主事業・共催事業>

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和4年 4月7日(木) ～9日(土)	小ホール	曾我廼家の喜劇 VOL.16 喜劇らいぶ 「笠碁」「ヤブ医者」	5	日本の喜劇の祖・曾我廼家の喜劇を長江健次、曾我廼家貴太郎、桂ざこばらの豪華キャストでおくる。	(1) 鑑賞型 共催事業
4月9日 (土)	大ホール	スーパークラシック アンサンブル	1	吹田市在住のヴァイオリニスト堀江恵太をはじめ新進気鋭の弦楽奏者20人によるコンサート。	(4) 育成型 共催事業
5月3日 (火)	大ホール	おしりたんでいミュージカル 「むらさきふじんの あんこうじけん」	2	シリーズ累計900万部を超える大ヒット児童書をミュージカル化。	(4) 育成型 共催事業
5月15日 (日)	大ホール	グレートジャズシリーズ IN 吹田 VOL.11	1	関西のベテランから若手まで実力派ジャズメンが集い、スタンダードから流行のナンバーまで披露。	(1) 鑑賞型 共催事業
5月22日 (日)	中ホール	桂米朝一門会	1	桂米朝一門が勢揃いする恒例の落語会。 出演/桂ざこば、南光ほか	(1) 鑑賞型 自主事業
6月	帝国 ホテル	吹田市医師会 夏季懇談会イベント	1	吹田市医師会からの受託事業。夏季と新春2回公演のうちの1回目。	(5) 連携型 自主事業
7月7日 (木)	中ホール	和太鼓松村組	1	関西を代表する和太鼓集団松村組のコンサート。和太鼓の醍醐味を存分に披露。	(1) 鑑賞型 共催事業
7月27日(水) ～29日(金)	中ホール	HPF 高校演劇祭 2022	3	大阪府下2つの小劇場と連携して行う“高校演劇の甲子園”。メイシアターでは3校の演劇部が出演。	(4) 育成型 共催事業
8月7日 (日)	大ホール	《市民平和のつどい2022》 夏休み特選映画劇場	2	今春に話題を集めた映画を上映予定。	(1) 鑑賞型 自主事業
8月21日 (日)	中ホール	人形劇団京芸 「あっちこっちサバンナ」	1	人形劇団京芸の創立70周年を記念して創られたファミリー向けの大型人形劇。	(4) 育成型 共催事業
8月26日(金) 27日(土)	小ホール レセプション ホール	よってよって パペットカーニバル	6	関西拠点のプロ、アマチュア劇団の上演や、専門家による批評会などを実施する人形劇の祭典。	(5) 連携型 共催事業
9月4日 (日)	中ホール	桂米團治独演会	1	落語家・五代目桂米團治による独演会。	(1) 鑑賞型 自主事業
9月17日(土) 18日(日)	中ホール	関西歌劇団 定期公演 「偽の女庭師」	2	中ホールのアリーナステージを生かしたモーツァルトの室内オペラ。指揮/牧村邦彦 演出/井原広樹	(1) 鑑賞型 共催事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
9月24日(土) 25日(日)	小ホール	新屋滋之 DANCE VISION	2	ダンサー・振付家の新屋滋之によるコンテンポラリーダンスの創作公演。	(2) 創造型 自主事業
9月28日 (水)	小ホール	関西歌劇団新進歌手による ソロコンサート	1	関西歌劇団準団員がオペラアリアと日本歌曲を披露。	(1) 鑑賞型 共催事業
10月7日 (金)	小ホール	大阪大学大学院文学研究科 パフォーマンス事業	1	大阪大学が主催するアートマネジメントプログラムの一環。劇作家林慎一郎構成・演出作品。	(5) 連携型 共催事業
10月16日 (日)	大ホール	大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート	1	大阪フィルが交響曲と映画音楽の名曲を披露する。 指揮/松本宗利音	(1) 鑑賞型 自主事業
11月12日 (土)	大ホール	宮尾俊太郎バレエ公演 オーディション事業	1	令和5年5月公演の出演者オーディション。	(3) 市民 参加型 自主事業
11月26日(土) 27日(日)	大ホール	関西二期会オペラ公演 「リゴレット」	2	作曲/ヴェルディ 指揮/鈴木恵里奈 演出/太田麻衣子	(1) 鑑賞型 共催事業
11月	スキュル チュール 江坂	スキュルチュール江坂 ロビーコンサート	1	美術館スキュルチュール江坂でのコンサート。	(5) 連携型 自主事業
令和5年 1月4日 (水)	中ホール	人形劇団クラルテ公演	1	人形劇団クラルテによる親子で楽しめる人形劇。	(4) 育成型 共催事業
1月9日 (月)	中ホール	メイシアターメイトのつどい 映画会	2	メイシアターメイト会員対象の映画鑑賞会。	(1) 鑑賞型 自主事業
1月21日(土) 22日(日)	中ホール	劇団ひまわり公演 DANCE×ブルーシャトル	2	吹田市に拠点を置く劇団ひまわりがダンス公演と人気劇団ブルーシャトルの公演を上演。	(1) 鑑賞型 共催事業
1月26日(木) ~29日(日)	小ホール	SHOW 劇場 VOL.15 「天守物語」	6	メイシアタープロデュース。泉鏡花「天守物語」を劇団スタージャックスの浜口望海、ドモタイジが演出。	(2) 創造型 自主事業
1月28日 (土)	大ホール	世良公則コンサート	1	日本のロック界に金字塔を打ち立てた世良公則。ヒット曲の数々を弾き語りで披露する。	(1) 鑑賞型 共催事業
1月	リーガ ロイヤル ホテル	吹田市医師会 新春懇談会イベント	1	吹田市医師会からの受託事業。夏季と新春2回公演のうちの2回目。	(5) 連携型 自主事業
2月18日(土) 19日(日)	中ホール	ニットキャップシアター 「カレーと村民」	3	関西演劇界を代表する劇作家ごまのはえが吹田を舞台に書き下ろした作品の再演。	(1) 鑑賞型 共催事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
3月24日(金) ~26日(日)	中ホール	大阪劇団協議会 プロデュース公演	5	大阪劇団協議会加盟の12劇団が 総力を結集して上演する演劇公演。	(5) 連携型 共催事業
3月	小ホール	第15回日本の歌百選	1	ソプラノ、テノール、ピアノによる 童謡・唱歌のコンサート。	(1) 鑑賞型 自主事業
未定	大ホール	ニューミュージック J-POP コンサート	1	ニューミュージック、J-POPの人 気アーティストによるコンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
未定	中ホール	防災シミュレーション コンサート	1	公演中に災害が発生した場合を想 定して上演する体験型コンサート。	(2) 創造型 自主事業
未定	中ホール	文楽シネマ 「冥途の飛脚」	2	初代吉田玉男、三世吉田蓑助らの 至芸を堪能できる映画版の人形浄 瑠璃。	(1) 鑑賞型 共催事業
未定	小ホール	桂春蝶落語会	1	吹田市出身の三代目桂春蝶の落語 会。	(1) 鑑賞型 自主事業
未定	小ホール	ギターコンサート	1	関西の実力派ギタリストによる コンサート。	(1) 鑑賞型 自主事業
未定	共用 ロビー	昼休みロビーコンサート	2	メイシアターの1階ロビーにおい て、昼休みの時間に開催するコン サート。	(1) 鑑賞型 自主事業

<受託事業>

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和4年 6月24日 (金)	小ホール	<吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80③ 金関環ヴァイオリンリサイタル	1	吹田市在住の実力派ヴァイオリニスト・金関環による名曲集。 ピアノ/長谷川美沙 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
6月25日 (土)	レセプション ホール	第2次吹田市文化振興基本計画 策定記念～平田オリザ講演会	1	日本演劇界を代表する劇作家・ 演出家の平田オリザ(芸術文化 観光専門職大学学長)の講演会。 (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型
7月2日 (土)	大ホール	<吹田市民劇場> 七タコンサート 関西フィルハーモニー管弦楽団	1	関西を代表するオーケストラ 関西フィルによる交響曲の名曲 コンサート。指揮/藤岡幸夫 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
8月4日 (木)	中ホール	《市民平和のつどい2022》 夏休みこども劇場	2	子どもを対象にした無料の演劇 公演。 (青少年室)	(4) 育成型
8月5日 (金)	中ホール	《市民平和のつどい2022》 「落語と浪曲の夕べ」	1	落語と浪曲で平和の尊さを伝える 事業。 (人権平和室)	(1) 鑑賞型
8月6日 (土)	大ホール	《市民平和のつどい2022》 平和コンサート	1	幅広い世代に人気の著名歌手に よるコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
8月12日 (金)	大ホール	<吹田市民劇場> 東京バレエ団 子どものためのバレエ 「ドン・キホーテの夢」	1	登場人物のお話し付きで、子ど もでも楽しめるよう上演する。 子役をオーディションで募集。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
8月～10月	リハーサル室 他	すいたティーンズクラシック フェスティバル 審査員による公開レッスン	4	市内の10代の青少年を対象に したピアノ、弦楽、管楽器、歌唱 の4分野の公開レッスン。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
8月	EXPOCITY 空の広場	すいたフェスタプレ企画 すいた EXPO 2022 夏	1	すいたフェスタプレ企画として EXPOCITY 空の広場で実施する ダンスを中心としたステージ。 (シティプロモーション推進)	(5) 連携型
9月10日 (土)	大ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル 大阪大学交響楽団演奏会	1	吹田市在住の指揮者、ソリスト と共演する特別演奏会。 指揮/中田延亮 ピアノ/生熊茜 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月～12月	リハーサル室 他	吹田市民の第九 合唱クリニック	5	一般公募による市民合唱団の合 唱練習。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月3日 (木)	レセプション ホール	令和4年度 吹田市文化功労者表彰式典	1	文化振興に功績のあった市民を 表彰する式典。お茶席や演奏会 も開催。 (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型
12月18日 (日)	大ホール	第13回 すいたティーンズクラシック フェスティバル	2	市内在住・在校の10代の青年 対象のクラシック音楽のコン クール。予選11月13日(日) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
12月25日 (日)	大ホール	<吹田市民劇場> 吹田市民の第九2022 関西フィルハーモニー管弦楽団 スペシャルコンサート	1	公募による市民合唱団と関西フィルの共演。市内中学校合唱部も参加。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
令和5年 1月5日 (木)	中ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル フレッシュコンサート	1	受賞者によるピアノ、ヴァイオリン等のコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月14日 (土)	中ホール	令和4年度吹田市民文化祭参加 第17回 吹田芸術芸能フェスティバル ～舞台部門	1	吹田市民を対象に出演者を公募した舞台の祭典。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月14日(土) 15日(日)	集会室	令和4年度吹田市民文化祭参加 第17回 吹田芸術芸能フェスティバル ～展示部門	2	吹田市民を対象に出展を公募した展示会。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月29日 (日)	会議室	<吹田市民劇場> 青少年育成事業 劇評ワークショップ	1	演劇公演を鑑賞後、感想を述べ合うワークショップ。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月～3月	リハーサル室 他	千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル ワークショップ	3	千里金蘭大学の学生と幅広い世代の市民を対象に、演技・歌・ダンスを体験するワークショップ。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月4日 (土)	中ホール	<吹田市民劇場> 狂言会	1	茂山千五郎家による親しみやすい狂言会。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
2月25日 (土)	中ホール	<吹田市民劇場> 青少年育成事業 いいむろなおきマイムカンパニー	1	洗練されたパントマイムが、大人にも子どもにも人気の高いいいむろなおきによる公演。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
3月18日(土) 19日(日)	中ホール	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル	3	千里金蘭大学との文・学共同事業。市民参加による創作ミュージカル。作・演出/片岡百萬両 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
不定期	練習室他	すいたティーンズクラシック フェスティバル メイシアター少年少女合唱団	12	吹田市在住の小4～高3の子どもたちによる合唱団。月1回練習を実施し、市内のイベントに参加。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
不定期	練習室他	すいたティーンズクラシック フェスティバル プラスクリニック	9	市内中学校吹奏楽部を対象にプロの管打楽器奏者が講師を務めるクリニック。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
未定	中ホール	<吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援 80③ ジャズオーケストラコンサート	1	吹田市在住のジャズアーティストによるビッグバンドの演奏会。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
未定	中ホール	<吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援 80③ 弦楽四重奏演奏会	1	吹田市在住の若手演奏家による弦楽四重奏の演奏会。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
未定	小ホール	<吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援 80③ 三味線コンサート	1	吹田市在住の三味線奏者による演奏会。チェロ奏者との共演を予定。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
未定	いずみの園公園	＜吹田市民劇場＞ 吹田のアーティスト応援 80③ 公園を利用したイベント	2	再整備され開放的な空間に生まれ変わった「いずみの園」公園で展開する新たな事業。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
未定	市内小学校	＜吹田市民劇場＞ 青少年育成事業 小学校・演劇ワークショップ	4	市内の小学校に出向いて演劇ワークショップを実施する。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
未定	市内小学校	＜吹田市民劇場＞ 青少年育成事業 小学校・出張コンサート	4	吹田市出身の若手演奏家が市内の小学校に出向いて、演奏会を実施する。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
未定	中ホール	MUSIC CIRCUS 「つなげよう！音楽のWA」	1	和楽器と洋楽器にダンスを加え国境を越えた民族音楽コンサート。参加型のWS も実施する。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
未定	万博記念公園駅他	MUSIC STREET シリーズ	5	吹田にゆかりのストリート系ミュージシャンによる駅ピアノ等館外でのコンサート事業。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型

＜自主事業—情報発信型事業＞

事業名	内 容
ホームページによる情報発信・サービス	① イベントの情報、チケットの予約・購入 ② メイシアターの利用情報、空き状況検索 ③ 事業団の情報公開 など
SNS (Twitter、Facebook、LINE) を活用した情報発信	① イベントの最新情報 (発売、募集など) ② メイシアターの最新情報 (感染対策など)
デジタルサイネージの運用	① イベントの情報 ② 館内催し物案内 ③ フロアガイド など
メイシアターインフォメーションの発行	① イベントの情報 ② チケットの購入方法 ③ 月間イベントカレンダー など
チケット関連サービス	① チケット予約・問い合わせ専用ダイヤルの開設・運用 ② チケット購入ポイント特典サービス (メイシアターメイト)
チラシ、ポスターの掲出	① メイシアターのイベントのチラシ、ポスター ② 他館のイベントのチラシ、ポスター ③ 吹田市の情報 など
市報すいた (吹田市発行) への情報掲載	① メイシアター専用紙面 (1 ページ) ② 市内全戸配布 (月 1 回)

<施設管理事業>

事業名	内 容
平等利用の確保	吹田市文化会館条例、吹田市文化会館条例施行規則を遵守し、公平・平等な管理運営を行います。
個人情報保護、情報公開	「プライバシーマーク」取得実績に基づく個人情報保護マネジメント及び情報公開に取り組みます。
施設の利用促進	利用者ニーズへの対応、利用者サービスの向上などに努め、利用の促進を図ります。
芸術文化の創造、発信	「鑑賞型」、「創造型」、「市民参加型」、「育成型」を柱とした多彩な公演を実施します。
安全対策	館内の保安、施設・設備の保全、コロナ対策、危機管理マニュアルの整備など安全対策を徹底します。
経費の節減	より効果的・効率的な管理運営に取り組み、管理経費の節減に努めます。
地域に密着した文化の創造	各種文化団体との協働、学校、行政、企業との連携により地域に密着した文化事業を創造します。
環境への配慮	「エコアクション21」取得実績に基づく環境経営マネジメントに取り組みます。

## 令和4年度 収支予算

令和4年度 収支予算は次に定めるところによる。

(収支予算)

- 第1条 一般正味財産増減の部、指定正味財産増減の部の収支予算の総額は、収益の部を494,443,000円、費用の部を473,030,000円と定める。
- 2 収支予算の勘定科目の区分及び額は収支予算書（正味財産増減計算ベース）による。

公益財団法人吹田市文化振興事業団

理事長 河内 幸枝

# 収 支 予 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	543,000	543,000	0
01 基本財産受取利息	543,000	543,000	0
②事業収益	492,823,000	472,276,000	20,547,000
01 施設管理事業収益	434,527,000	407,767,000	26,760,000
02 受託事業収益	41,094,000	39,441,000	1,653,000
03 入場券販売収益	8,013,000	11,437,000	△ 3,424,000
04 レストラン業務収益	231,000	5,093,000	△ 4,862,000
05 友の会会費収益	1,145,000	1,239,000	△ 94,000
06 サービス事業収益	1,033,000	1,609,000	△ 576,000
07 物品販売収益	191,000	118,000	73,000
08 手数料収益	4,527,000	4,010,000	517,000
09 広告料収益	600,000	600,000	0
10 負担金収益	1,462,000	962,000	500,000
③ 受取補助金等	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
01 文化事業助成金収益	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
④ 寄付金収益	75,000	15,000	60,000
01 寄付金収益	75,000	15,000	60,000
⑤ 雑収益	2,000	2,000	0
01 受取利息	1,000	1,000	0
02 雑収益	1,000	1,000	0
経常収益計	494,443,000	474,336,000	20,107,000
(2)経常費用			
① 自主事業費	19,410,000	27,896,000	△ 8,486,000
04 賃金	25,000	25,000	0
05 福利厚生費	1,000	1,000	0
06 会議費	14,000	20,000	△ 6,000
07 旅費	100,000	350,000	△ 250,000
08 交際費	40,000	40,000	0
09 通信運搬費	266,000	1,388,000	△ 1,122,000
10 什器備品費	300,000	300,000	0
11 消耗品費	436,000	640,000	△ 204,000
12 交通費	50,000	50,000	0
13 修繕費	462,000	462,000	0
14 印刷製本費	2,559,000	2,722,000	△ 163,000
15 光熱水料費	49,000	49,000	0
16 賃借料	2,581,000	1,974,000	607,000
17 保険料	50,000	50,000	0
18 諸謝金	1,185,000	1,300,000	△ 115,000
19 手数料	667,000	423,000	244,000
20 租税公課	43,000	37,000	6,000
21 著作権料	55,000	155,000	△ 100,000
22 負担金	147,000	182,000	△ 35,000
23 委託費	10,149,000	17,449,000	△ 7,300,000
24 広告宣伝費	68,000	107,000	△ 39,000
25 公演賄費	157,000	166,000	△ 9,000
30 雑費	6,000	6,000	0

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
② 施設管理事業費	402,240,000	388,583,000	13,657,000
02 給料手当	106,342,000	106,488,000	△ 146,000
03 退職給付費用	12,176,000	9,518,000	2,658,000
04 賃金	0	0	0
05 福利厚生費	18,302,000	18,481,000	△ 179,000
07 旅費	159,000	159,000	0
09 通信運搬費	1,350,000	1,350,000	0
11 消耗品費	4,769,000	4,769,000	0
13 修繕費	12,100,000	6,600,000	5,500,000
14 印刷製本費	1,949,000	1,778,000	171,000
15 光熱水料費	63,646,000	63,646,000	0
16 賃借料	11,070,000	8,230,000	2,840,000
17 保険料	205,000	205,000	0
19 手数料	126,000	126,000	0
20 租税公課	17,053,000	15,510,000	1,543,000
22 負担金	96,000	96,000	0
23 委託費	152,897,000	151,627,000	1,270,000
③ 受託事業費	41,094,000	39,441,000	1,653,000
04 賃金	287,000	1,020,000	△ 733,000
05 福利厚生費	1,000	100,000	△ 99,000
06 会議費	17,000	0	17,000
07 旅費	16,000	10,000	6,000
09 通信運搬費	249,000	252,000	△ 3,000
11 消耗品費	436,000	308,000	128,000
12 交通費	102,000	15,000	87,000
14 印刷製本費	2,206,000	1,811,000	395,000
16 賃借料	2,575,000	2,312,000	263,000
17 保険料	10,000	10,000	0
18 諸謝金	3,232,000	2,500,000	732,000
19 手数料	1,750,000	2,153,000	△ 403,000
20 租税公課	66,000	105,000	△ 39,000
21 著作権料	259,000	176,000	83,000
23 委託費	29,526,000	28,202,000	1,324,000
24 広告宣伝費	110,000	195,000	△ 85,000
25 公演賄費	234,000	250,000	△ 16,000
30 雑費	18,000	22,000	△ 4,000
④ 管理費	10,286,000	10,151,000	135,000
01 役員報酬	1,101,000	1,328,000	△ 227,000
02 給料手当	5,807,000	5,605,000	202,000
03 退職給付費用	778,000	608,000	170,000
05 福利厚生費	963,000	973,000	△ 10,000
06 会議費	34,000	34,000	0
07 旅費	100,000	100,000	0
08 交際費	11,000	11,000	0
09 通信運搬費	66,000	66,000	0
11 消耗品費	172,000	172,000	0
12 交通費	10,000	10,000	0
14 印刷製本費	55,000	55,000	0
17 保険料	26,000	26,000	0
18 諸謝金	165,000	165,000	0
19 手数料	210,000	210,000	0
20 租税公課	575,000	575,000	0
22 負担金	173,000	173,000	0
24 広告宣伝費	40,000	40,000	0
經常費用計	473,030,000	466,071,000	6,959,000
当期經常増減額	21,413,000	8,265,000	13,148,000

(14)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
<b>2. 経常外増減の部</b>			0
(1)経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	21,413,000	8,265,000	13,148,000
一般正味財産期首残高	△ 32,649,223	△ 40,914,223	8,265,000
一般正味財産期末残高	△ 11,236,223	△ 32,649,223	21,413,000
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	188,763,777	167,350,777	21,413,000

# 収支予算書 内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	収1			
	市民の文化活動 の振興を図る事業	市民の文化活動の 振興に資する事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
(1)経常収益					
①基本財産運用益	0	0	543,000		543,000
01 基本財産受取利息	0	0	543,000		543,000
②事業収益	439,916,100	45,359,700	7,547,200		492,823,000
01 施設管理事業収益	383,527,100	43,452,700	7,547,200		434,527,000
02 受託事業収益	41,094,000	0	0		41,094,000
03 入場券販売収益	8,013,000	0	0		8,013,000
04 レストラン業務収益	0	231,000	0		231,000
05 友の会会費収益	1,145,000	0	0		1,145,000
06 サービス事業収益	1,033,000	0	0		1,033,000
07 物品販売収益	191,000	0	0		191,000
08 手数料収益	3,451,000	1,076,000	0		4,527,000
09 広告料収益	0	600,000	0		600,000
10 負担金収益	1,462,000	0	0		1,462,000
③受取補助金等	1,000,000	0	0		1,000,000
01 文化事業助成金収益	1,000,000	0	0		1,000,000
④寄付金収益	75,000	0	0		75,000
01 寄付金収益	75,000	0	0		75,000
⑤雑収益	2,000	0	0		2,000
01 受取利息	1,000	0	0		1,000
02 雑収益	1,000	0	0		1,000
経常収益計	440,993,100	45,359,700	8,090,200		494,443,000
(2)経常費用					
①自主事業費	19,145,000	265,000	0		19,410,000
04 賃金	25,000	0	0		25,000
05 福利厚生費	1,000	0	0		1,000
06 会議費	14,000	0	0		14,000
07 旅費	100,000	0	0		100,000
08 交際費	40,000	0	0		40,000
09 通信運搬費	266,000	0	0		266,000
10 什器備品費	300,000	0	0		300,000
11 消耗品費	436,000	0	0		436,000
12 交通費	50,000	0	0		50,000
13 修繕費	462,000	0	0		462,000
14 印刷製本費	2,345,000	214,000	0		2,559,000
15 光熱水料費	0	49,000	0		49,000
16 賃借料	2,581,000	0	0		2,581,000
17 保険料	50,000	0	0		50,000
18 諸謝金	1,185,000	0	0		1,185,000
19 手数料	667,000	0	0		667,000
20 租税公課	41,000	2,000	0		43,000
21 著作権料	55,000	0	0		55,000
22 負担金	147,000	0	0		147,000
23 委託費	10,149,000	0	0		10,149,000
24 広告宣伝費	68,000	0	0		68,000
25 公演賄費	157,000	0	0		157,000
30 雑費	6,000	0	0		6,000

(単位:円)

②施設管理事業費	361,260,000	40,980,000	0	402,240,000
02 給料手当	95,127,000	11,215,000	0	106,342,000
03 退職給付費用	10,880,000	1,296,000	0	12,176,000
05 福利厚生費	16,375,000	1,927,000	0	18,302,000
07 旅費	143,100	15,900	0	159,000
09 通信運搬費	1,215,000	135,000	0	1,350,000
11 消耗品費	4,292,100	476,900	0	4,769,000
13 修繕費	10,890,000	1,210,000	0	12,100,000
14 印刷製本費	1,754,100	194,900	0	1,949,000
15 光熱水料費	57,281,400	6,364,600	0	63,646,000
16 賃借料	9,963,000	1,107,000	0	11,070,000
17 保険料	184,500	20,500	0	205,000
19 手数料	113,400	12,600	0	126,000
20 租税公課	15,347,700	1,705,300	0	17,053,000
22 負担金	86,400	9,600	0	96,000
23 委託費	137,607,300	15,289,700	0	152,897,000
③受託事業費	41,094,000	0	0	41,094,000
04 賃金	287,000	0	0	287,000
05 福利厚生費	1,000	0	0	1,000
07 旅費	16,000	0	0	16,000
09 通信運搬費	249,000	0	0	249,000
11 消耗品費	436,000	0	0	436,000
12 交通費	102,000	0	0	102,000
14 印刷製本費	2,206,000	0	0	2,206,000
16 賃借料	2,575,000	0	0	2,575,000
17 保険料	10,000	0	0	10,000
18 諸謝金	3,232,000	0	0	3,232,000
19 手数料	1,750,000	0	0	1,750,000
20 租税公課	66,000	0	0	66,000
21 著作権料	259,000	0	0	259,000
23 委託費	29,526,000	0	0	29,526,000
24 広告宣伝費	110,000	0	0	110,000
25 公演助費	234,000	0	0	234,000
30 雑費	18,000	0	0	18,000
④管理費	0	0	10,286,000	10,286,000
01 役員報酬	0	0	1,101,000	1,101,000
02 給料手当	0	0	5,807,000	5,807,000
03 退職給付費用	0	0	778,000	778,000
05 福利厚生費	0	0	963,000	963,000
06 会議費	0	0	34,000	34,000
07 旅費	0	0	100,000	100,000
08 交際費	0	0	11,000	11,000
09 通信運搬費	0	0	66,000	66,000
11 消耗品費	0	0	172,000	172,000
12 交通費	0	0	10,000	10,000
14 印刷製本費	0	0	55,000	55,000
17 保険料	0	0	26,000	26,000
18 諸謝金	0	0	165,000	165,000
19 手数料	0	0	210,000	210,000
20 租税公課	0	0	575,000	575,000
22 負担金	0	0	173,000	173,000
24 広告宣伝費	0	0	40,000	40,000
經常費用計	421,499,000	41,245,000	10,286,000	473,030,000
当期經常増減額	19,494,100	4,114,700	△ 2,195,800	21,413,000

(単位:円)

<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1)経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	19,494,100	4,114,700	△ 2,195,800	21,413,000
一般正味財産期首残高	△ 35,265,788	25,647,956	△ 23,031,391	△ 32,649,223
一般正味財産期末残高	△ 15,771,688	29,762,656	△ 25,227,191	△ 11,236,223
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	200,000,000	200,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	200,000,000	200,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 15,771,688	29,762,656	174,772,809	188,763,777

## 令和3年度（2021年度）事業報告書

令和3年度は、第4期目のメシアター指定管理期間（5年間）の最終の年にあたり、効果的な施設運営と多彩な事業活動に取り組みました。

これまで培ってきたネットワーク、プロデュース力を生かした幅広い世代の「市民参加」、次世代を担う「青少年育成」、一般市民への「普及啓発」の3つの事業を柱に、良質の鑑賞型事業やプロデュース能力を活かした創造型事業、市民参加型事業など6つの事業構成による自主文化事業を実施し、地域の活性化と市民の文化活動の振興に努め、個性豊かな地域文化の創造に寄与しました。

### 1. 公益目的事業

#### <市民の文化活動の振興を図る事業>

市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的とします。

優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供、プロデュースによるオリジナル公演の創造・発信、市民参加・協働事業の推進、地域の文化活動の支援、青少年の育成などに努め、市民の創作・表現活動の場と優れた芸術文化に親しむ場の創造と発展に取り組み、施設の特徴を生かし、以下の事業を行いました。

#### (1) 市民が優れた舞台芸術に親しむ機会を提供する鑑賞型事業

市民の文化活動の振興を図ることを目的に、芸術性の高い優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供しました。

#### 〔主な事業〕

##### クラシック音楽鑑賞事業

■ 大阪交響楽団×吹田～響演コンサート (自主事業)

■ 関西フィルハーモニー管弦楽団七夕コンサート (受託事業)

##### バレエ鑑賞事業

■ 地主薫バレエ団「くるみ割り人形」 (受託事業)

##### オペラ鑑賞事業

■ 関西歌劇団「アドリアーナ・ルクヴルール」 (自主事業)

■ 関西二期会「オテッロ」 (自主事業)

##### 古典・伝統芸能鑑賞事業

■ 新春能 (受託事業)

■ 吉田一輔・吉田簑悠メシアター文楽 (受託事業)

##### ポップス等鑑賞事業

■ 小椋佳～歌紡ぎの会 (受託事業)

(2) 優れた舞台芸術作品を創造し、発信する創造型事業

個性豊かな芸術文化を創造することを目的に、優れた舞台芸術の創造、発信に取り組みました。

とくにこれまでの豊かなプロデュース経験によって得られた専門的な知識やネットワークを生かした独創性、話題性の高いオリジナル事業の企画・制作に取り組みました。

[主な事業]

ジャンルを超えた舞台作品を創造する事業

■ SUITA HOME GALA CONCERTII「カルメン夢幻」 (受託事業)

良質の演劇事業を創造する事業

■ SHOW劇場「十二人の怒れる男」 (自主事業)

(3) 市民の自主的・主体的な文化活動を推進する市民参加型事業

市民・文化団体とのつながりやプロデュース力を生かし、市民参加・協働事業に重点的に取り組みました。

専門家の指導やワークショップを通じた市民参加・参画による事業を実施し、市民の多彩な創作活動を創出しました。

[主な事業]

市民参加型演劇等事業

■ メイシアター×千里金蘭大学～ファミリーミュージカル (受託事業)

市民参加型音楽鑑賞事業

■ 吹田市民の第九～関西フィルハーモニー管弦楽団スペシャルコンサート (受託事業)

(4) 文化活動を担う市民の育成を図る育成型事業

次世代を担う青少年の文化活動の支援や文化活動を担う青少年の育成に取り組みました。

おもにプロの指導を通じて、文化の担い手の育成、地域文化の裾野の拡充を図り、市内小・中学校を中心にアウトリーチ活動を積極的に実施し、青少年の文化振興に寄与しました。

[主な事業]

ワークショップ事業 <青少年>

■ すいたティーンズクラシックフェスティバル

～メイシアター少年少女合唱団レッスン事業 (受託事業)

～審査員による公開レッスン (受託事業)

～ブラスコーナー (受託事業)

- メイシアター×千里金蘭大学～ファミリーミュージカルレッスンワークショップ (受託事業)
  - 演劇ワークショップ～小学校出張編 (受託事業)
- コンクール事業
- すいたティーンズクラシックフェスティバル予選・本選 (受託事業)
- 青少年対象鑑賞事業
- 0歳からのファミリーコンサート (自主事業)

- (5) 大学、文化芸術団体、行政、企業等と連携し、文化の交流と向上を図る連携型事業  
 大学のあるまち・吹田市の特性や可能性を生かし、市内の大学と連携、協働して事業を実施し、学生と市民との交流により世代の枠を越えた新しい文化を発信しました。  
 また、行政、文化関係団体とも連携、交流することにより、個性豊かな地域文化の創造と発信に取り組みました。

[主な事業]

大学との連携・市民参加育成型事業

- メイシアター×千里金蘭大学～ファミリーミュージカル (受託事業)
- メイシアター×大阪大学～劇評ワークショップ (受託事業)

文化芸術団体との連携事業

- 邦楽・邦舞～花の宴 (自主事業)

行政機関及びその附属機関との連携事業

- 吹田市文化功労者表彰式典 (受託事業)

- (6) 地域の文化資源を発掘・開拓し、発信する普及啓発型事業

吹田市在住または吹田市を拠点に活動する気鋭のアーティストの公演を低料金で鑑賞できる機会を設け、多彩なアーティストの支援に力を注ぎました。  
 また、鑑賞者を開拓し、より多くの市民に芸術文化に触れてもらえるよう普及啓発事業に取り組みました。

[主な事業]

吹田のアーティスト応援事業

- Brillante SUITA! (受託事業)
- 松浦愛美ピアノリサイタル (受託事業)
- 菅沼輝之(人形劇団京芸)ほっこりシアター (受託事業)

鑑賞者の開拓・普及啓発事業

- いずみの園公園～熱闘!西浦達雄ライブ (受託事業)
- アフタヌーンロビーコンサート (自主事業)

(7) 文化情報を提供し、市民の文化活動の振興を図る情報発信型事業

市民の文化活動に役立つ情報の提供に取り組みました。とくにSNS（Facebook、LINE、Twitter）、ホームページの活用、情報紙の発行などにより、自主文化事業や施設利用などに関する情報発信を積極的に進めました。

〔主な事業〕

- ホームページ、SNSの活用 (自主事業)
- メイシアター・インフォメーションの発行 (自主事業)
- デジタルサイネージの運用 (自主事業)

(8) 芸術文化をとおした次世代育成事業の応援「青少年育成事業・応援寄付金」の募集

個性豊かな地域文化の創造を目指して様々な事業を展開する中で、とくに次世代を担う青少年の文化活動の支援や育成に取り組むため「青少年育成事業・応援寄付金」の募集を継続しました。

(9) 市民の文化活動を推進する効果的・効率的な施設管理事業

市民の文化活動の振興を図り、文化会館の活用を推進するため、効果的・効率的な施設管理事業に取り組みました。

とくにコロナ禍においては、特措法に基づく適正な取扱い、ガイドラインに基づく適切な対策に努め、安全な施設の管理運営に取り組みました。

## 2. 収益事業

### <市民の文化活動の振興に資する事業>

公益目的事業に資することを目的に、以下の事業を行いました。

(1) レストラン業務委託事業

令和3年4月14日に館内レストラン「CAFE DINING VALORE.」(パローレ)がオープン。運営会社と連携・協力して営業を推進し、業務収益の確保に努めました。

(2) 広告掲載受託事業

メイシアター・インフォメーションや公演プログラムなどの発行物への広告を求め、広告料収益の確保に努めました。

(3) 自動販売機設置事業

自動販売機6台を設置し、オリジナルラッピングやWリボンラッピングを施して引き立たせるなど、業務収益の確保に努めました。

併せてすべてを災害対応型自動販売機とし、非常時の避難者支援を図っています。

## 令和3年度（2021年度）公益目的事業一覧

1. 市民の芸術文化の振興に寄与するため、良質の鑑賞型事業や市民参加型事業、プロデュース能力を活かした創造型事業など様々な形態による自主文化事業を行いました。

### <自主事業・共催事業>

実施日	場 所	事 業 名	内 容
令和3年 4月7日 (水)	大ホール	新進気鋭の23人の弦楽器奏者による スーパークラシックアンサンブル	吹田市在住のヴァイオリニスト堀江恵太をはじめ新進気鋭の弦楽器奏者23人によるコンサート。
6月12日(土) 13日(日)	小ホール	祭礼2021	神楽をもとにしたパフォーマンス演劇。 構成・演出／樋口ミユ 出演／岸本昌也、高安美帆
6月18日 (金)	中ホール	和太鼓松村組 吹田公演2021 「鳳」	関西を代表する和太鼓集団松村組のコンサート。和太鼓の醍醐味を存分に披露。
6月19日(土) 20日(日)	中ホール	第45回記念 ギター音楽大賞2021 in すいた	45回の歴史を誇るクラシックギターコンクール。コロナ禍のため無観客開催。
6月28日 (月)	中ホール	大阪交響楽団 0歳からのファミリーコンサート	大阪交響楽団による未就学児とその家族を対象にしたコンサート。 指揮／太田弦
7月10日 (土)	中ホール	邦楽・邦舞 花の宴	大阪文化団体連合会に所属する実演家が邦楽、朗読などを披露する。
7月28日(水) ～30日(金)	中ホール	HPF 高校演劇祭 2021	大阪府下の2つの小劇場と連携して行う「高校演劇の甲子園」。メイシアターでは3校の演劇部が出演。
8月7日 (土)	大ホール	夏休み特選映画劇場 「大コメ騒動」	監督／本木克英 出演／井上真央、室井滋、夏木マリ他 (2020年・106分・日本)
8月11日 (水)	中ホール 小ホール レゾナンスホール	丑の会第3回公演 「丑だらけの演劇祭」	関西演劇界「丑年」生まれの俳優陣が集結し、3会場にて親子で楽しめる作品から実験的な作品までを披露する。
8月27日(金) 28日(土)	小ホール	よってよって パペットカーニバル	関西に拠点を置くプロ・アマチュア劇団による人形劇の祭典。出演／大原めい、人形劇だん大福、人形劇団クラルテ
9月3日 (金)	小ホール	関西歌劇団新進歌手による ソロコンサート	関西歌劇団準団員として活躍する新進歌手がオペラアリアや日本歌曲を披露する歌曲コンサート。
9月4日 (土)	中ホール	桂米團治独演会	落語家・五代目桂米團治による独演会。 出演／桂米團治、桂しん吉、桂米輝

実施日	場 所	事 業 名	内 容
9月11日 (土)	大ホール	大阪交響楽団×吹田 響演コンサート	吹田市在住の気鋭のピアニスト宮本聖子 をソリストに迎える。 指揮/横山奏
9月25日(土) 26日(日)	大ホール	関西歌劇団 「アドリアーナ・ルクヴルール」	関西歌劇団がおくるグランドオペラ。 指揮/粟辻聡 演出/井原広樹
10月1日(金) 2日(土)	中ホール	オペラ映画シリーズ 「トゥーランドット」 「オテロ」	トゥーランドット/ 陳凱歌演出(2008年・スペイン) オテロ/ドミンゴ他(1987年・アメリ カ)
10月9日 (土)	中ホール	MUSIC CIRCUS FES	関西を中心に活動する民族音楽のミュ ージシャンが勢ぞろいしたコンサート。
11月27日(土) 28日(日)	大ホール	関西二期会 「オテッロ」	関西二期会がおくるオペラの名作。 指揮/柴田真郁 演出/パオロ・パニツァ
12月10日(金) ~12日(日)	中ホール	SHOW 劇場 vol.14 「十二人の怒れる男」	プロデュース公演。R.ローズの名作「12 人の怒れる男」を演劇界を代表する劇作 家・演出家マキノノゾミが手がける。
令和4年 1月4日 (火)	中ホール	人形劇団クラルテ 「11ぴきのねこふくろのなか」	人形劇団クラルテによる親子で楽しめる 人形劇。
1月9日 (日)	中ホール	メシアターメイトのつどい 映画「心の傷を癒すということ」	メイト会員の映画鑑賞会。
1月16日 (日)	小ホール	大阪大学文学研究科連携演劇公演 徴しの上を鳥が飛びⅢ 公衆電話式ダイアログの試み	廃れつつあるコミュニケーションツール 「公衆電話」をめぐるパフォーマンス。 演出/林慎一郎
1月29日 (土)	小ホール	古川忠義ギターで綴る 映画音楽と詩の世界	関西を拠点にクラシックからジャズまで 幅広い演奏で活躍するギタリスト古川忠 義のコンサート。
2月6日(日) ~13日(日)	展示室	日本舞台写真家協会写真展 from JAPAN	音楽、舞踊、演劇など様々なジャンルの 舞台芸術の迫真の一瞬をとらえた舞台写 真73点を公開。
2月26日 (土)	小ホール	木津川計の一人語り劇場 「浦島太郎」	上方文化の活性化に努めてきた木津川計 による一人舞台シリーズ。浦島太郎に込 められた古代人の思いを伝えた。
3月19日 (土)	小ホール	親子で歌い継ぐ 第14回日本の歌百選	田邊織恵(ソプラノ)、橋本恵史(テノール)、 小林峯介(ピアノ)による童謡・唱歌・日 本歌曲のコンサート。
3月20日 (日)	展示ロビー	メシアターロビー アフタヌーンコンサート	1階の展示ロビーにおいて、昼休み時間 を利用して行うロビーコンサート。 出演/吹田ジュニアオーケストラ

2. 市民に優れた舞台芸術を提供する吹田市民劇場、才能ある芸術家の発掘・育成等を目的とする育成事業を始め、市民の芸術文化の振興に寄与するため、行政等と連携し次のような受託事業を行いました。

<受託事業>

実施日	場 所	事 業 名	内 容
令和3年6月 ～令和4年1月	公式LINE 大ホール	第12回すいたティーンズ クラシックフェスティバル メシアター少年少女合唱団レッスン	リモートレッスンを経て大ホールで成果 発表、収録動画をYoutubeで発表す る。 講師/高木ひとみ ピアノ/辻未帆
令和3年 7月3日 (土)	大ホール	<第188回吹田市民劇場> 関西フィルハーモニー管弦楽団 七夕コンサート	関西を代表するオーケストラ・関西フィ ルハーモニー管弦楽団の名曲コンサ ート。 指揮/藤岡幸夫 ゲスト/福岡拓歩
8月5日 (木)	中ホール	<市民平和のつどい> 夏休み子供劇場 「劇団しようよのスイミー」	国語の教科書でもおなじみレオ・レオ二 原作の「スイミー」を演劇化。京都の劇 団しようよの意欲作。 (青少年室)
8月6日 (金)	中ホール	<市民平和のつどい> 落語と講談のタベ	講談/旭堂南龍「最期の講釈」 落語/桂紋四郎「三十石」 (人権平和室)
8月8日 (日)	大ホール	<市民平和のつどい> 小椋佳 歌紡ぎの会	小椋佳のラストコンサート。「愛燦燦」、 「夢芝居」ほか数々の代表曲を披露す る。
10月11日 (月)	中ホール	<第189回吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80 吉田一輔・吉田篤悠メシアター文楽	吹田在住の文楽人形遣い、吉田親子を中 心とした文楽公演。 演目/傾城阿波鳴門 順礼歌の段他 (文化スポーツ推進室)
11月3日 (水)	中ホール	令和3年度 吹田市文化功労者表彰式典	吹田市の文化振興に功績のあった文化功 労者41名を表彰。 (文化スポーツ推進室)
11月22日(月) 25日(木) 12月17日(金)	千里金蘭大学 リハーサル室	メシアター×千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル ワークショップ	学生を対象にコミュニケーション能力の 向上を目的とした演技、歌などのワーク ショップ。講師/片岡百萬両、眞壁愛 (文化スポーツ推進室)
11月～12月	大ホール 中ホール	吹田市民の第九 合唱レッスン	「吹田市民の第九」に出演する一般公募 の市民合唱団の合唱レッスン。 (文化スポーツ推進室)
12月3日 (金)	いずみの園 公園	<第189回吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80 いずみの園公園サウンドVOL.1 熱闘!西浦達雄ライブ	CMソングや全国高校野球エンディング テーマ等で知られる吹田市民在住のシンガ ーソングライター西浦達雄のソロライ ブ。
12月3日(金) 4日(土)	第2練習室	第12回すいたティーンズ クラシックフェスティバル 審査員による公開レッスン	審査員の池川章子(ヴァイオリン)、鈴木陶 子(ピアノ)、高木ひとみ(声楽)を講師 に小学生～大学生が受講した公開レッス ン。
12月6日 (月)	小ホール	<第189回吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80 Brillante SUITA! ソプラノ、ヴァイオリン、ピアノコンサート	出演/あんさんぶるとりふおりお ～奥野麻琴(ソプラノ)、木村修子 (ヴァイオリン)、鎌田純子(ピ アノ)

実施日	場 所	事 業 名	内 容
12月11日 (土)	第1会議室	<第195回吹田市民劇場> メイシアター×大阪大学共同事業 劇評ワークショップ	「十二人の怒れる男」の観劇者から参加 を募り劇評を述べ合うワークショップ。  (文化スポーツ推進室)
12月19日 (日)	大ホール	第12回 すいたティーンズクラシック フェスティバル	市内の青少年を対象にしたクラシック音 楽のコンクール。予選を通過した16組 27名が出演。予選/10月31日(日) (文化スポーツ推進室)
12月26日 (日)	大ホール	<第190回吹田市民劇場> 吹田市民の第九 2021 関西フィルハーモニー管弦楽団 スペシャルコンサート	公募による市民、市内中学校合唱部と千 里金蘭大学生らによる市民合唱団106人 と関西フィルとの共演コンサート。 (文化スポーツ推進室)
令和4年 1月5日 (水)	中ホール	第11回・第12回すいたティーンズ クラシックフェスティバル 受賞者によるフレッシュコンサート	第11回、第12回の受賞者が合唱、ピ アノ、弦楽器、管楽器を演奏するコンサ ート。 (文化スポーツ推進室)
1月6日 (木)	小ホール	<第189回吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80 松浦愛美ピアノリサイタル	モーツァルトやベートーヴェンのピアノ ソナタをはじめ意欲的なプログラムで臨 んだリサイタル。 (文化スポーツ推進室)
1月8日 (土)	中ホール	<第191回吹田市民劇場> 新春能	番組/「能・囃子のお話」 仕舞「白楽 天」 「羽衣」 能「船弁慶」 出演/大槻文蔵、山階彌衛門他
1月15日 (土)	中ホール	令和3年度吹田市民文化祭参加 第17回吹田芸術芸能フェスティバル <舞台部門>	「吹田市民文化祭」の一環。多彩なジャン ルの芸術芸能団体が繰り広げる文化 祭舞台部門は13団体が出演。 (文化スポーツ推進室)
1月15日(土) 16日(日)	集会室	令和3年度吹田市民文化祭参加 第17回吹田芸術芸能フェスティバル <展示部門>	絵画、写真、書道、手芸など市民による 13作品の展示。  (文化スポーツ推進室)
1月24日 (月)	小ホール	<第189回吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80 菅沼輝之(人形劇回京芸)のほっこりしあた-	吹田市出身の菅沼輝之(人形劇回京芸) がおくる親子で楽しめる人形劇。「こぶ たのるーた」他全2本。 (文化スポーツ推進室)
1月~3月	リハーサル室 他	メイシアター×千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル レッスンワークショップ	千里金蘭大学生と市民、プロに3月の 公演に向けて演技、歌、ダンスのワーク ショップを実施。 (文化スポーツ推進室)
2月10日 (木)	中ホール	<第189回吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80 マリオネットコンサート	吹田市出身のポルトガルギター&マンド リンの人気デュオ「マリオネット」のコン サート。 (文化スポーツ推進室)
2月13日 (日)	大ホール	<第192回吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80 SUITA HOME GALA CONCERT II 「カルメン夢幻」	吹田市を拠点に活動するプロのアーティ ストたちによるバレエ、能、クラシック 音楽、演劇のコラボレーション。 (文化スポーツ推進室)
2月18日(金) 21日(月)	千里新田 小学校	<第195回吹田市民劇場> メイシアター×大阪大学共同事業 演劇ワークショップ~小学校出張編	「相手に思いを伝えることについて考え る」を学習のねらいとした90分間の演 劇体験講座。講師：林慎一郎、小坂浩之 (文化スポーツ推進室)

実施日	場 所	事 業 名	内 容
2月23日 (水)	大ホール	吉野彰氏吹田市名誉市民顕彰式典 スペシャルトーク 「あきらめない。」	ノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏がリ モート出演した式典と講演会。  (秘書課)
3月6日 (日)	大ホール	<第193回吹田市民劇場> 地主薫バレエ団 「くるみ割り人形」	吹田市に拠点を置く地主薫バレエ団がお くる「くるみ割り人形」全幕公演。 出演/奥村康祐(新国立劇場バレエ団) 他
3月12日 (土)	中ホール	<第194回吹田市民劇場> メイシアター×千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル 「愉快的国の毒舌王妃」	千里金蘭大学との共同事業。プロ、学 生、市民による創作ミュージカル。 脚本・演出/片岡百萬両 (文化スポーツ推進室)
3月28日 (月)	大ホール	第12回すいたティーンズ クラシックフェスティバル プラスコーナー	中学校の吹奏楽部4校 145名が大ホー ルで演奏する練習会。  (文化スポーツ推進室)

( ) 内は受託元

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止した公演

#### <自主事業>

日程	公演名	場所
令和3年 5月8日(土) ~9日(日)	iaku「逢いにいくの、雨だけど」	中ホール
6月6日(日)	桂米朝一門会	中ホール
8月29日(日)	おしりたんていミュージカル	大ホール
11月	スキュルチュール江坂ロビーコンサート	美術館 スキュルチュール江坂
令和4年 3月25日(金) ~27日(日)	大阪劇団協議会プロデュース公演「民衆の敵」	中ホール
未定	防災シュミレーションコンサート	中ホール
未定	桂春蝶落語会	小ホール

#### <受託事業>

日程	公演名	場所
令和3年 7月5日(日)	すいたフェスタプレ企画~すいた EXPO 2021 夏	EXPOCITY 空の広場
令和4年 2月27日(日)	<第189回吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援 80 久保比呂誌津軽三味線×チェロコンサート	小ホール
3月13日(日)	<第194回吹田市民劇場> メイシアター×千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル「愉快的国の毒舌王妃」	中ホール

3. 市民の文化活動に寄与するために文化情報の発信・提供に取り組みました。併せて、情報活用の利便性を高めるため、よりよいサービス化の整備に取り組みました。

<自主事業—情報発信型事業>

事業名	内 容
ホームページによる情報発信・サービス	① イベントの情報、チケットの予約・購入 ② メイシアターの利用情報、空き状況検索 ③ 事業団の情報公開 など
SNS (Twitter、Facebook、LINE) を活用した情報発信	① イベントの最新情報 (発売、募集など) ② メイシアターの最新情報 (感染対策など)
デジタルサイネージの運用	① イベントの情報 ② 館内催し物案内 ③ フロアガイド など
メイシアターインフォメーションの発行	① イベントの情報 ② チケットの購入方法 ③ 月間イベントカレンダー など
チケット関連サービス	① チケット予約・問い合わせ専用ダイヤルの設置 ② チケット購入ポイント特典サービス (メイシアターメイト)
チラシ、ポスターの掲出	① メイシアターのイベントのチラシ、ポスター ② 他館のイベントのチラシ、ポスター ③ 吹田市の情報 など
市報すいた (吹田市発行) への情報掲載	① メイシアター専用紙面 (1 ページ) ② 市内全戸配布 (月 1 回)

4. 次世代を担う青少年の文化活動の支援や育成の取り組みの中で「青少年育成事業・応援寄付金」を設立し、募集活動を継続しています。※平成 29 年 10 月より寄付金募集を開始

<自主事業—育成型事業>

寄付金額	個人 ー□ 3,000 円 (何口でも可) 法人 ー□ 10,000 円 (何口でも可)
使 途	① 小・中学生・高校生がプロの演奏者からレッスンを受け、コンサートでプロと共演する事業 ② 青少年が出演する演劇やミュージカル、コンサートなどの事業 ③ コミュニケーション力の向上を目的とした青少年対象の体験講座 ④ 親子で鑑賞できるコンサート、バレエ、人形劇などの事業
実 績	個人 1 名より計 20,000 円の寄付を受けました。(令和 4 年 3 月 31 日現在)

5. コロナ禍での来館、施設利用について、感染対策ガイドラインの案内や感染防止用品の提供など、吹田市と連携して感染拡大防止に取り組み、安心安全の環境整備、施設提供に努めました。

<施設管理事業>

	事業名	内容
適正な施設提供	システム管理による公正で効率的な施設使用管理	受付マニュアル及び施設管理システムの運用による公正で効率的な貸館対応、使用情報の適正な管理など
	定期保守点検による施設設備の適正な維持管理	専門業者による機構・設備にかかる定期的な保守点検の実施、備品のメンテナンスなど
施設の利用促進	来場者アンケート等による市民ニーズの把握、反映	来場者アンケートの実施、意見の集約・共有、活用など
	ホームページによる最新情報の提供	ホームページによる効果的な施設情報の提供、空き状況の照会など
	舞台管理職員による技術協力 事業担当職員による企画協力	舞台技術の相談対応、舞台運営の技術協力、事業企画の相談対応、アーティストの紹介、広報協力など
	ロビーのディスプレイ	5月五月人形飾り 7月七夕笹飾り 9月名月・薄飾り 12月Xmas ツリー 1月鏡餅・書初め飾り 3月雛飾り
個人情報保護、 情報公開	個人情報保護マネジメントシステムの運用	個人情報保護規程の整備、個人情報保護マネジメントシステムの整備、運用
	ホームページによる情報公開の推進	情報公開規程の整備、情報公開サイトの整備、運用
感染対策	感染対策ガイドラインの策定、案内	吹田市チェックリスト及び業種別ガイドラインに基づくガイドラインの策定、受付及びホームページでの周知、案内
	各施設の消毒	清掃業者による1日1回以上の各施設・備品の消毒の実施
	感染防止用品の確保、提供及び貸与	消毒液の設置・貸与、サーマルカメラ、非接触式電子温度計、アクリル板の貸与、マスクの提供など
	非対面・非接触受付の推進	電子メール、FAX 及び郵送による受付（抽選）、キャッシュレス決済の推奨、キャッシュトレイの活用など
	キープディスタンスの確保	各ホール入口などに行列間隔の表示、ロビーやホワイエのソファに間隔をあげる表示など
	感染拡大防止の啓発	感染防止対策の取り組み及び感染防止協力のお願に関する掲示



●祭礼 6/12.13 (小ホール)



●和太鼓松村組 6/18 (中ホール)



●HPF 高校演劇祭 7/28-30 (中ホール)



●大阪交響楽団 響演コンサート 9/11 (大ホール)



●関西歌劇団「アドリアーナ・ルクヴルール」 9/25.26 (大ホール)



●メイシアター文楽 10/11 (中ホール)

撮影 早川壽雄



●西浦達雄ライブ 12/3 (いずみの園公園)



●ティーンズクラシック公開レッスン 12/3,4 (第2練習室)



●SHOW 劇場「十二人の怒れる男」 12/10-12 (中ホール)



●劇評ワークショップ 12/11 (第一会議室)



●ティーンズクラシックフェスティバル 12/19 (大ホール)



●吹田市民の第九 12/26 (大ホール) 撮影 植村耕司



●新春能 1/8 (中ホール)



●メイシアター少年少女合唱団 1/23 (大ホール)



●舞台写真展 2/6-13 (展示室)



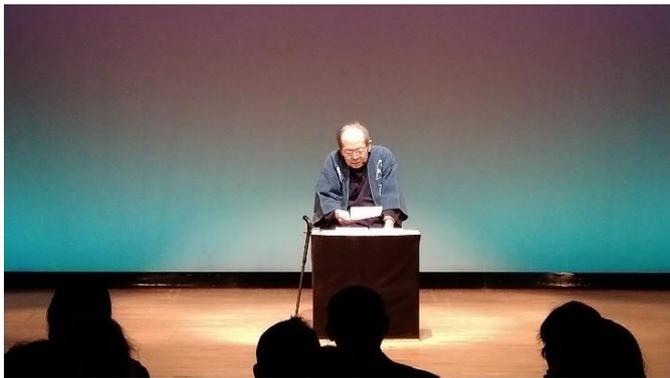
●マリオネットコンサート 2/10 (中ホール)



●カルメン夢幻 2/13 (大ホール)



●演劇ワークショップ 2/18,21 (千里新田小)



●木津川計の一人語り 2/26 (小ホール)



●地主薫バレエ団 3/6 (大ホール)



●ファミリーミュージカル 3/12 (中ホール)



●ロビーコンサート 3/20 (展示ロビー)



●ティーンズフェス プラス事業 3/28 (大ホール)

# 令和3年度 決算書

# 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
小口現金	355,742	213,379	142,363
現金	1,774,465	270,570	1,503,895
普通預金(出納用)	56,459,173	62,150,721	△ 5,691,548
普通預金(利息用)	3,275,504	3,275,472	32
普通預金(過年度用)	191,125	345,425	△ 154,300
普通預金(現年度用)	381,676	107,025	274,651
未収金	2,929,967	1,374,267	1,555,700
前払金	237,778	186,986	50,792
立替金	362,009	6,490	355,519
流動資産合計	65,967,439	67,930,335	△ 1,962,896
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	100,056,700	100,113,400	△ 56,700
金融機関預り口座	90,000,000	90,000,000	0
郵便貯金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	200,056,700	200,113,400	△ 56,700
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	26,164,235	29,704,235	△ 3,540,000
特定資産合計	26,164,235	29,704,235	△ 3,540,000
(3) その他の固定資産			
什器備品	4	4	0
その他の固定資産合計	4	4	0
固定資産合計	226,220,939	229,817,639	△ 3,596,700
資 産 合 計	292,188,378	297,747,974	△ 5,559,596
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	44,507,169	37,400,303	7,106,866
未払法人市府民税	70,000	70,000	0
未払消費税	3,777,500	7,077,500	△ 3,300,000
前受金	44,700	68,100	△ 23,400
預り金	14,767,287	19,008,116	△ 4,240,829
仮受金	424,460	5,800	418,660
賞与引当金	8,750,879	9,000,607	△ 249,728
流動負債合計	72,341,995	72,630,426	△ 288,431
2 固定負債			
退職給付引当金	104,655,945	118,779,810	△ 14,123,865
固定負債合計	104,655,945	118,779,810	△ 14,123,865
負 債 合 計	176,997,940	191,410,236	△ 14,412,296
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2 一般正味財産	△ 84,809,562	△ 93,662,262	8,852,700
(うち基本財産への充当額)	(56,700)	(113,400)	( △56,700)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産 合計	115,190,438	106,337,738	8,852,700
負債及び正味財産 合計	292,188,378	297,747,974	△ 5,559,596

# 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	543,300	543,300	0
01 基本財産受取利息	543,300	543,300	0
②事業収益	461,004,657	405,489,843	55,514,814
01 施設管理事業収益	403,353,296	332,540,487	70,812,809
02 受託事業収益	40,746,860	56,805,179	△ 16,058,319
03 入場券販売収益	5,919,310	8,034,050	△ 2,114,740
04 レストラン業務収益	58,357	372,220	△ 313,863
05 友の会会費収益	907,200	741,000	166,200
06 サービス事業収益	1,043,630	557,860	485,770
07 物品販売収益	193,860	109,560	84,300
08 手数料収益	3,642,634	2,151,187	1,491,447
09 広告料収益	320,000	520,000	△ 200,000
10 負担金収益	4,819,510	3,658,300	1,161,210
③ 受取補助金等	1,502,000	1,213,000	289,000
01 文化事業助成金収益	1,502,000	1,213,000	289,000
④ 寄附金収益	20,000	75,000	△ 55,000
01 寄付金収益	20,000	75,000	△ 55,000
⑤ 雑収益	1,352	44,356	△ 43,004
01 受取利息	32	40	△ 8
02 雑収益	1,320	44,316	△ 42,996
⑥ 引当金取崩額	27,504,000	0	27,504,000
01 退職給付引当金取崩額	27,504,000	0	27,504,000
経常収益計	490,575,309	407,365,499	83,209,810
(2)経常費用			
① 自主事業費	19,709,471	18,545,384	1,164,087
04 賃金	0	536,733	△ 536,733
05 福利厚生費	0	109,003	△ 109,003
06 会議費	6,776	6,210	566
07 旅費	408,780	8,110	400,670
08 交際費	6,992	7,589	△ 597
09 通信運搬費	163,692	483,758	△ 320,066
11 消耗品費	294,808	251,429	43,379
12 交通費	11,654	8,917	2,737
13 修繕費	8,360	0	8,360
14 印刷製本費	1,850,889	1,580,370	270,519
15 光熱水料費	62,029	38,640	23,389
16 賃借料	3,613,394	4,271,376	△ 657,982
17 保険料	21,439	45,216	△ 23,777
18 諸謝金	542,460	236,106	306,354
19 手数料	719,663	1,048,633	△ 328,970
20 租税公課	7,800	9,000	△ 1,200
21 著作権料	498,051	137,847	360,204
22 負担金	46,500	57,060	△ 10,560
23 委託費	11,288,112	9,512,971	1,775,141
24 広告宣伝費	48,000	48,000	0
25 公演賄費	110,072	148,016	△ 37,944
30 雑費	0	400	△ 400

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 施設管理事業費	405,054,600	321,155,503	83,899,097
02 給料手当	94,079,503	99,049,787	△ 4,970,284
03 退職給付費用	33,183,909	13,637,403	19,546,506
04 賃金	2,885,557	492,460	2,393,097
05 福利厚生費	17,614,537	18,086,319	△ 471,782
07 旅費	8,520	12,260	△ 3,740
09 通信運搬費	1,458,009	1,354,031	103,978
11 消耗品費	5,589,452	6,550,722	△ 961,270
13 修繕費	9,571,205	7,223,733	2,347,472
14 印刷製本費	1,239,682	1,591,468	△ 351,786
15 光熱水料費	49,209,893	29,441,487	19,768,406
16 賃借料	5,911,181	9,024,842	△ 3,113,661
17 保険料	201,605	157,220	44,385
19 手数料	145,245	171,264	△ 26,019
20 租税公課	15,432,900	15,118,900	314,000
22 負担金	75,000	70,000	5,000
23 委託費	160,173,512	110,689,328	49,484,184
31 賞与引当金繰入額	8,274,890	8,484,279	△ 209,389
③ 受託事業費	40,746,860	56,805,179	△ 16,058,319
04 賃金	42,344	1,319,854	△ 1,277,510
05 福利厚生費	125	167,324	△ 167,199
07 旅費	2,550	8,420	△ 5,870
09 通信運搬費	1,572,687	1,040,484	532,203
11 消耗品費	444,604	634,455	△ 189,851
12 交通費	16,650	2,300	14,350
14 印刷製本費	964,359	803,011	161,348
16 賃借料	3,311,362	3,050,780	260,582
18 諸謝金	3,811,833	5,621,640	△ 1,809,807
19 手数料	1,977,689	1,977,200	489
20 租税公課	43,400	82,400	△ 39,000
21 著作権料	119,014	322,798	△ 203,784
23 委託費	28,192,137	41,367,877	△ 13,175,740
24 広告宣伝費	77,000	88,000	△ 11,000
25 公演賄費	166,606	313,086	△ 146,480
30 雑費	4,500	5,550	△ 1,050
④ 管理費	16,211,678	8,920,844	7,290,834
01 役員報酬	680,400	756,000	△ 75,600
02 給料手当	5,721,626	5,358,545	363,081
03 退職給付費用	7,700,226	864,625	6,835,601
05 福利厚生費	1,071,262	978,461	92,801
06 会議費	6,651	7,013	△ 362
07 旅費	2,320	2,100	220
09 通信運搬費	30,410	10,182	20,228
11 消耗品費	9,319	0	9,319
12 交通費	1,000	0	1,000
14 印刷製本費	19,250	0	19,250
17 保険料	14,035	25,000	△ 10,965
18 諸謝金	165,000	165,000	0
19 手数料	129,890	57,090	72,800
20 租税公課	75,000	71,200	3,800
22 負担金	69,300	69,300	0
24 広告宣伝費	40,000	40,000	0
31 賞与引当金繰入額	475,989	516,328	△ 40,339
経常費用計	481,722,609	405,426,910	76,295,699
当期経常増減額	8,852,700	1,938,589	6,914,111

(37)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,852,700	1,938,589	6,914,111
一般正味財産期首残高	△ 93,662,262	△ 95,600,851	1,938,589
一般正味財産期末残高	△ 84,809,562	△ 93,662,262	8,852,700
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	115,190,438	106,337,738	8,852,700

# 正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	収1			
	市民の文化活動の 振興を図る事業	市民の文化活動の 振興に資する事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	0	0	543,300		543,300
01 基本財産受取利息	0	0	543,300		543,300
② 事業収益	411,019,379	41,892,175	8,093,103		461,004,657
01 施設管理事業収益	354,924,864	40,335,329	8,093,103		403,353,296
02 受託事業収益	40,746,860	0	0		40,746,860
03 入場券販売収益	5,919,310	0	0		5,919,310
04 レストラン業務収益	0	58,357	0		58,357
05 友の会会費収益	907,200	0	0		907,200
06 サービス事業収益	1,043,630	0	0		1,043,630
07 物品販売収益	193,860	0	0		193,860
08 手数料収益	2,464,145	1,178,489	0		3,642,634
09 広告料収益	0	320,000	0		320,000
10 負担金収益	4,819,510	0	0		4,819,510
③ 受取補助金等	1,502,000	0	0		1,502,000
01 文化事業助成金収益	1,502,000	0	0		1,502,000
④ 寄附金収益	20,000	0	0		20,000
01 寄付金収益	20,000	0	0		20,000
⑤ 雑収益	1,320	32	0		1,352
01 受取利息	0	32	0		32
02 雑収益	1,320	0	0		1,320
⑤ 引当金取崩額	20,628,000	0	6,876,000		27,504,000
01 退職給付引当金取崩額	20,628,000	0	6,876,000		27,504,000
経常収益計	433,170,699	41,892,207	15,512,403		490,575,309
(2) 経常費用					
① 自主事業費	19,426,610	282,861	0		19,709,471
06 会議費	6,776	0	0		6,776
07 旅費	408,780	0	0		408,780
08 交際費	0	6,992	0		6,992
09 通信運搬費	163,692	0	0		163,692
11 消耗品費	294,808	0	0		294,808
12 交通費	11,654	0	0		11,654
13 修繕費	8,360	0	0		8,360
14 印刷製本費	1,637,049	213,840	0		1,850,889
15 光熱水料費	0	62,029	0		62,029
16 賃借料	3,613,394	0	0		3,613,394
17 保険料	21,439	0	0		21,439
18 諸謝金	542,460	0	0		542,460
19 手数料	719,663	0	0		719,663
20 租税公課	7,800	0	0		7,800
21 著作権料	498,051	0	0		498,051
22 負担金	46,500	0	0		46,500
23 委託費	11,288,112	0	0		11,288,112
24 広告宣伝費	48,000	0	0		48,000
25 公演賄費	110,072	0	0		110,072

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
② 施設管理事業費	365,802,634	39,251,966	0		405,054,600
02 給料手当	84,099,390	9,980,113	0		94,079,503
03 退職給付費用	31,845,895	1,338,014	0		33,183,909
04 賃金	2,597,002	288,555	0		2,885,557
05 福利厚生費	15,745,958	1,868,579	0		17,614,537
07 旅費	7,668	852	0		8,520
09 通信運搬費	1,312,209	145,800	0		1,458,009
11 消耗品費	5,030,507	558,945	0		5,589,452
13 修繕費	8,614,085	957,120	0		9,571,205
14 印刷製本費	1,115,714	123,968	0		1,239,682
15 光熱水料費	44,288,904	4,920,989	0		49,209,893
16 賃借料	5,320,063	591,118	0		5,911,181
17 保険料	181,445	20,160	0		201,605
19 手数料	130,721	14,524	0		145,245
20 租税公課	13,889,610	1,543,290	0		15,432,900
22 負担金	67,500	7,500	0		75,000
23 委託費	144,156,161	16,017,351	0		160,173,512
31 賞与引当金繰入額	7,399,802	875,088	0		8,274,890
③ 受託事業費	40,746,860	0	0		40,746,860
04 賃金	42,344	0	0		42,344
05 福利厚生費	125	0	0		125
07 旅費	2,550	0	0		2,550
09 通信運搬費	1,572,687	0	0		1,572,687
11 消耗品費	444,604	0	0		444,604
12 交通費	16,650	0	0		16,650
14 印刷製本費	964,359	0	0		964,359
16 賃借料	3,311,362	0	0		3,311,362
18 諸謝金	3,811,833	0	0		3,811,833
19 手数料	1,977,689	0	0		1,977,689
20 租税公課	43,400	0	0		43,400
21 著作権料	119,014	0	0		119,014
23 委託費	28,192,137	0	0		28,192,137
24 広告宣伝費	77,000	0	0		77,000
25 公演賄費	166,606	0	0		166,606
30 雑費	4,500	0	0		4,500
④ 管理費	0	0	16,211,678		16,211,678
01 役員報酬	0	0	680,400		680,400
02 給料手当	0	0	5,721,626		5,721,626
03 退職給付費用	0	0	7,700,226		7,700,226
05 福利厚生費	0	0	1,071,262		1,071,262
06 会議費	0	0	6,651		6,651
07 旅費	0	0	2,320		2,320
09 通信運搬費	0	0	30,410		30,410
11 消耗品費	0	0	9,319		9,319
12 交通費	0	0	1,000		1,000
14 印刷製本費	0	0	19,250		19,250
17 保険料	0	0	14,035		14,035
18 諸謝金	0	0	165,000		165,000
19 手数料	0	0	129,890		129,890
20 租税公課	0	0	75,000		75,000
22 負担金	0	0	69,300		69,300
24 広告宣伝費	0	0	40,000		40,000
31 賞与引当金繰入額	0	0	475,989		475,989
經常費用計	425,976,104	39,534,827	16,211,678		481,722,609
当期經常増減額	7,194,595	2,357,380	△ 699,275		8,852,700

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
<b>2. 経常外増減の部</b>					
経常外収益計	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額	1,178,690	△ 1,178,690	0		0
当期一般正味財産増減額	8,373,285	1,178,690	△ 699,275		8,852,700
一般正味財産期首残高	△ 92,634,027	24,887,083	△ 25,915,318		△ 93,662,262
一般正味財産期末残高	△ 84,260,742	26,065,773	△ 26,614,593		△ 84,809,562
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	200,000,000		200,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	200,000,000		200,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 84,260,742	26,065,773	173,385,407		115,190,438

# 財務諸表に対する注記

令和4年3月31日現在

## 1. 重要な会計方針

- (1) 平成24年4月1日から、公益法人会計基準(内閣府公益認定委員会平成20年4月11日)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (4) 固定資産の減価償却  
什器備品……………償却限度額に達している。
- (5) 引当金の計上基準  
賞与引当金  
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。  
退職給付引当金  
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。  
退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
郵便貯金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券	100,113,400	0	56,700	100,056,700
金融機関預り口座	90,000,000	0	0	90,000,000
小 計	200,113,400	0	56,700	200,056,700
特定資産				
退職給付引当資産	29,704,235	3,336,000	6,876,000	26,164,235
小 計	29,704,235	3,336,000	6,876,000	26,164,235
合 計	229,817,635	3,336,000	6,932,700	226,220,935

## 3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
郵便貯金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	-
投資有価証券	100,056,700	(100,000,000)	(56,700)	-
金融機関預り口座	90,000,000	(90,000,000)	(0)	-
小 計	200,056,700	(200,000,000)	(56,700)	-
特定資産				
退職給付引当資産	26,164,235	(0)	(0)	(26,164,235)
小 計	26,164,235	(0)	(0)	(26,164,235)
合 計	226,220,935	(200,000,000)	(56,700)	(26,164,235)

## 4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	1,355,500	1,355,496	4
合 計	1,355,500	1,355,496	4

6. 退職給付関係

(1)採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2)退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

項 目	金 額
退職給付債務	△ 104,655,945
勤務費用の未処理額	0
退職給付引当金 (合計)	△ 104,655,945

(3)退職給付費用に関する事項

(単位:円)

項 目	金 額
勤務費用	13,380,135
退職給付費用 (合計)	13,380,135

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに原価、時価及び評価損益

(単位:円)

科 目	原価	時価	評価損益
国 債			
第328回 10年国債	100,056,700	100,650,000	593,300
合 計	100,056,700	100,650,000	593,300

\* 時価は3月31日現在、売買参考統計値

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
文化振興基金	日本芸術文化振興会	1,502,000	1,502,000	0	-
合 計		1,502,000	1,502,000	0	-

10. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

11. 重要な後発事象

該当なし。

## 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

上記については財務諸表の注記に記載しているため、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書の記載は省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	118,779,810	13,380,135	27,504,000	104,655,945
賞与引当金	9,000,607	8,750,879	9,000,607	8,750,879

# 財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合計	
<b>(流動資産)</b>					
	小口現金	手元保管	運転資金	355,742	
	現金	手元保管	運転資金	1,774,465	
	預金	りそな銀行吹田支店(出納用)	りそな銀行吹田支店	運転資金	56,459,173
			りそな銀行吹田支店	利息受取用	3,275,504
			りそな銀行吹田支店	過年度還付資金用	191,125
			りそな銀行吹田支店	現年度還付資金用	381,676
未収金	アサヒ飲料販売(株) 他	公:芸術文化振興基金 他	2,762,670		
前払金		収:自動販売機手数料収入 他	167,297		
立替金		次年度契約用印紙 他	237,778		
		レストラン電気代 他	362,009		
<b>流動資産合計</b>				<b>65,967,439</b>	
<b>(固定資産)</b>					
基本財産	投資有価証券	第328回 10年国債	運用益を法人の管理運営経費に充当している。	100,056,700	
	金融機関預り口座	第 88回 5年国債償還金		90,000,000	
	預金	ゆうちょ銀行 貯金		10,000,000	
特定資産	退職給付引当資産	りそな銀行吹田支店	公・収・法各事業区分に従事する職員の退職金資産	26,164,235	
その他固定資産	什器備品	液晶ビデオ映写機等	公益目的保有財産であり貸出用備品としている。	4	
<b>固定資産合計</b>				<b>226,220,939</b>	
<b>資産合計</b>				<b>292,188,378</b>	
<b>(流動負債)</b>					
	未払金	職員 他	公:退職手当 他	37,569,140	
			吹田市	収:自動販売機電気代	62,029
		職員	法:退職手当	6,876,000	
	未払法人税等	吹田税務署・三島府税事務所	法:法人市府民税	70,000	
			吹田税務署	公:消費税確定申告額	3,777,500
	未払消費税			メイト会費	44,700
	前受金	吹田市 他	公:入場券販売収入預り金 他	14,734,207	
	預り金		吹田税務署	法:役員報酬源泉所得税	33,080
	仮受金		文化会館使用料振込入金分	424,460	
賞与引当金			公・収・法各事業目的に従事する職員の賞与引当金	8,750,879	
<b>流動負債合計</b>				<b>72,341,995</b>	
<b>(固定負債)</b>					
	退職給付引当金	正職員	公・収・法各事業目的に従事する職員の退職引当金	104,655,945	
<b>固定負債合計</b>				<b>104,655,945</b>	
<b>負債合計</b>				<b>176,997,940</b>	
<b>正味財産</b>				<b>115,190,438</b>	

## 独立監査人の監査報告書

令和4年4月25日

公益財団法人吹田市文化振興事業団  
理事長 河内 幸枝 殿

田代 隆志 事務所

公認会計士

田代 隆志

私は、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般の公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和3年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和3年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益財団法人吹田市文化振興事業団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査報告書

令和4年4月26日

公益財団法人吹田市文化振興事業団

理事長 河内 幸枝 殿

監事 井田 一雄

監事 山本 多通男

私、監事は、公益財団法人吹田市文化振興事業団定款第29条の規定に基づき、当法人の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの会計及び業務の監査を行ない、その結果につき次のとおり報告します。

### 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

### 2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと認めます。

以上



報告第5号

公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について

公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和4年5月26日

吹田市長 後藤圭二

## 令和4年度（2022年度）公益財団法人吹田市国際交流協会 事業計画書

### 【ビジョン】

人権尊重を基調とし、さまざまな人びとや文化が尊重され、誰一人取り残されることのない豊かな地域づくりに貢献すること、そして2030年までに達成すべきSDGsを事業方針の念頭に置き、私たちみんなが安心して暮らせる「持続可能な世界」の実現を目指します。

### 【事業方針】

令和3年6月に日本で生活をする在留外国人数は282万3565人で、日本の人口の2.3%にあたります。新型コロナウイルス感染症拡大予防の影響を受け、前年に比べ2.2%減少しています。国籍は、上位70%を主に中国、ベトナム、韓国、フィリピンとアジア圏の人が占めています。在留資格別順には、永住者、技能実習、特別永住者、技術・人文知識・国際業務、留学となっています。大阪府は、全国で東京都、愛知県に次いで在留外国人数が多い自治体です。

吹田市の場合、60か国以上の国籍を有する5473人の在留外国人が生活をしています（令和3年11月時点）。吹田市民のおよそ1.5%にあたり、国籍は中国、韓国、ベトナム、フィリピン、台湾、ネパールの人びとで全体の85%を占めています。主な在留資格からみると、吹田市内には5大学1大学院大学があり、留学生が全体のおよそ18%です。特別永住者は24%、永住者26%、技能実習生8%となります。

令和2年当初から始まった世界的規模による新型コロナウイルス感染症の拡大は、各地で未だに経済的・社会的・人的ダメージを与え続けています。事業の年間ふりかえり会を1月末に実施しましたが、コロナへの対応が優先してしまい、多文化共生社会の推進という本来の事業の目的が後回しになってしまった感が否めません。この反省に立ち、新しい社会の課題やニーズへ対応できるような組織へと成長していきたいと考えています。平成29年に制定された「吹田市多文化共生推進指針」にもとづき、NATS（西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市の中核市連携）における国際交流協会連携、社会福祉協議会、子育て青少年拠点夢繋がり未来館、男女共同参画センター、図書館、吹田市立博物館、市内の大学をはじめ国立民族学博物館等吹田市の地域社会資源との連携強化を進めます。

また、事業の推進者であるボランティアのコーディネートにも力を入れ、喫緊の社会的課題でもある在住外国人を対象とした防災減災事業、外国につながるのある子どもや市民の居場所づくり、日本語事業に重点をおき、事業の改善強化を目指します。令和4年度は、「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター（仮）」の実現を最優先します。そして、財政状況の健全化を目指し、今後も吹田市との協議を続け、積極的に外部資金の調達に努めます。そのためにも、組織基盤の強化と職員のスキルアップに注力し、地域に信頼される組織を目指します。

## 【事業内容】

(下線部は、令和2年度<多文化共生アクションプラン中期計画書>に該当する事業)

### I 市民主体の国際交流・国際協力

市民の自主的な国際交流・国際協力の活動を支援します。異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際感覚を養い、多様な人びとを認め合い尊重し合う多文化共生社会の実現の推進に努めます。

#### 1. 国際交流推進事業(旧 友好交流都市との交流事業)

吹田市民の国際交流を推進します。また、友好交流都市であるオーストラリアのカンタベリーバンクスタウン市とスリランカのコラトワ市との交流を、吹田市と連携・協力をして進めていきます。[補助金事業]

#### 2. 国際交流情報の収集及び発信

協会の活動紹介や報告、在住外国人に役立つ国際交流情報などを多言語でホームページに掲載します。また、フェイスブック等の活用により、時機に応じて適切な情報を発信します。会報「SIFA Times」を年4回発行し、地域の国際化につながる情報を発信します。

そして、ボランティアを対象に、ボランティア活動に関する情報を「ボランティア便り」として月1回発信します。留学生や在住外国人に対しては、行政の情報等を含め「多言語メールングリストミミヨリ INFO」を発信し、多言語による情報と国際交流情報を共有することに努めます。[補助金事業]

#### 3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流

##### (1) 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

大阪大学をはじめとした市内の大学等と連携し、留学生が協会のボランティアと親交を深める機会を提供します。ボランティアは、留学生に日本の生活や文化を体験してもらう機会を提供し、互いの交流を通して、多文化理解を深められるようにサポートします。ボランティアの世話人を中心に運営します。[補助金事業]

## II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生社会の推進のために、他者理解の重要性を経験するための場づくりをします。大人だけではなく、未来を担う子どもたちがさまざまな人との出会いや交流・体験学習を通して、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進します。

### 1. 国際交流ボランティア活動支援

#### (1) 国際交流ボランティア登録

初めてボランティア活動を希望する人には、協会の理念や活動内容を十分理解してもらい、自主的に活動できるよう支援します。SIFA や他団体の情報などを、ボランティア便り等で発信します。協会の活動に関心を持った新しいボランティアが、ボランティア活動に参加しやすくなるよう仕組みづくりを見直します。[補助金事業]

#### (2) ボランティア講座

ボランティア講座の回数を増やし、ボランティアと職員のスキルアップを目指します。[補助金事業]

#### (3) ボランティアによる日本語学習支援

地域で日本語学習支援を実践している団体とのネットワークを強化します。日本語教室の運営に関して、また日本語学習者が抱える課題などの情報を共有しながら、日本語学習支援ボランティアのスキルアップを目指します。2020年4月に宣言された「日本語交流活動宣言」にもとづいて、同じ地域に暮らす市民として、相互理解を深め、多文化共生社会の実現を目指します。[補助金事業]

##### ・日本語チューター

ボランティアが、1対1または1対2で学習者の日本語学習を支援します。学習者それぞれのレベルと学びたい内容に合った支援を行います。また、当該活動を通して、学習者とボランティアが共に学び、交流を深めます。将来的には、多文化共生の人づくり支援の観点から、ボランティアによる自主運営を目指します。

##### ・にこにこ日本語

少人数クラスでの日本語学習です。生活の場面に即して作られた SIFA のオリジナルのテキストを使って、学習者のレベルに配慮しつつ学習を進めます。日本語による交流活動を通して、ボランティアと学習者が共に学び合い育ち合う機会にもなっています。また、ボランティア同士で情報や体験を共有しながら自主的な運営の体制を整えていきます。

### ・みんなの漢字

2019年度文化庁委託事業により発足した、少人数グループで生活に必要な漢字の習得支援を行うクラスです。日本で仕事や子育てをする上で、日本語の読み書きの力は不可欠であり、地域に密着し、より豊かに暮らしていくことを目指して実施します。

### ・日本語わいわい

2019年度文化庁委託事業により発足した、外国人のボランティアが自らの学習経験や日本での生活経験を生かして、日本語及び生活のサポート等の活動を行うクラスです。外国人が活躍できる場、安心して集える居場所を目指します。日本人・外国人ボランティアと一緒に活動し、ボランティアの世話人を中心に運営します。

## 2. 語学教室

協会の語学教室は、語学力を伸ばす目的だけではなく、外国語への関心を通して、その言葉話す人びとのさまざまな文化や習慣などについても学びます。また、講師やオンラインを通じて講師の家族や友人との交流もおこない、異文化理解を深めるような授業を展開します。通年で、英語・中国語・韓国朝鮮語のクラスを開催します。令和4年度はベトナム語の通年クラスを開催します。短期の多言語クラスを開講予定です。令和4年度も引き続きオンラインクラスを試験的に通年授業として実施します。子どもクラスでは、語学学習を通して、子どもたちの異文化理解力を養い、グローバルな人材の育成に努めます。

子育て中の方にも学習の機会を提供するために、保育付クラスを開設します。また、協会の日本語教室に通う外国人市民との交流につながる機会もつくります。コロナの影響で例年より応募の少ない幼児や小学校低・中学年クラスについては、さらなる充実をはかります。

市民の皆さんの関心をもってもらえるような、サマーコースや文化的な内容とコラボした短期教室を充実させます。さらに、市内の広範囲な市民が学習の機会を得られるように、JR吹田駅前旭通教室でのクラスも本年度も引き続き開講します。[自主事業]

## 3. 異文化理解・啓発事業

### (1) 多文化まつり

地域の人びとや学校等が積極的に在住外国人とつながる機会を設け、互いに交流と対話を通し多文化共生社会を推進することを目的とした「多文化まつり」を開催します。令和3年度(2021年度)は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため分散開催としました。令和4年度は社会的情勢を見ながらボランティアと一緒に開催の計画をします。[補助金事業]

## **(2) 多文化共生講座「多文化ぷらす」**

民族や国籍、文化的・社会的背景、言語などの「違い」を認め合い、お互いに対話ができる市民として共に暮らす豊かな地域づくりのため、多文化共生講座を昨年度より回数を増やし開催します。多文化共生社会について、一人一人が考える機会となり、理解を深めるための機会づくりとし、講座の中で多文化共生をベースとした豊かで活力ある日本社会の育成のために、当事者である在住外国人市民の声を聴けるような会も開催します。広く周知し、SIFA やボランティアに期待される役割や、協働する可能性を見出します。[補助金事業]

## **4. 国際理解事業（旧 子ども国際理解事業）**

小学生を対象として、身近なテーマをとりあげ、世界のさまざまな文化や暮らしなどについて国際理解を深めるプログラムパッケージを小学校に提供し、在住外国人を講師として派遣します。今年度はさまざまな国の人が講師として参画しやすいプログラムに改善し、魅力あるイベントにしていきます。

新たに中学生や高校生にも対象を広げ、国際理解を深めるプログラムを作成します。参加者同士が対話を通して、社会的課題を発見し、その原因と解決方法を探求できるようなプログラムを構成、その成果を発表できるような機会をつくります。この活動を通して、SIFA とともに地域づくりを支えてくれる次世代の育成に取り組みます。[補助金事業]

## **5. 国際交流団体等支援・連携事業**

### **(1) 共催・後援・協力事業の実施**

国際交流や国際理解など多文化共生社会の実現に寄与すると認められる事業について、共催・後援・協力事業の形で支援します。[自主事業]

### **(2) MUSE たかつきカレッジクラブ講座**

協会から講師を派遣し、子どもを対象にした異文化理解に向けた講座を開設します。[関大パンセ委託事業]

### **(3) 関西大学南千里国際プラザとの連携**

関西大学の留学生に対して、入学式・修了式への臨席を通じて協会の活動を留学生に知ってもらい、さまざまな場面で留学生に対する支援活動を進めるとともに、地域社会における受入を促進します。[自主事業]

#### **(4) 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携**

ネットワークの実行委員として、大阪府内の国際交流協会及び自治体と広域的に連携して、多文化共生にかかわる情報を在留外国人やボランティアと共有します。また各協会間で実施される研修やインターンシップに積極的に参加し、職員のスキルアップの機会とします。[自主事業]

#### **(5) 吹田市国際交流団体ネットワークほかとの協力連携**

地域のボランティア団体、吹田市内の社会教育機関等（市民公益活動センター「ラコルタ」、図書館、子育て青少年拠点夢繋がり未来館「ゆいぴあ」、男女共同参画センター「デュオ」、博物館）をはじめ、市内の大学機関、国立民族学博物館、公益社団法人青年海外協力協会大阪、吹田市商工会議所等とのネットワークを強化し、積極的に地域の情報と課題を共有し、多文化共生社会の推進に係る事業を実施していきます。[補助金事業]

### **Ⅲ 在住外国人の支援**

言葉や文化・社会的背景が要因となって生活に困難が生じている外国人市民の支援をします。そして、外国人市民は支援される側だけではなく、それぞれがともに豊かな地域づくりに参画するコミュニティの一員であることを認め合い協働できる地域づくりのための事業を実施します。

#### **1. 日本語教室の開催**

##### **(1) 日本語 1・2**

初めて日本語を学習する人が、生活に必要な読み書きや会話を習得するために、日本語講師によるクラスを週2回2クラス開講します。交流イベントや生活情報などを提供し、日本の生活に早く慣れるよう支援します。保育付きクラスを設けることで、就学前の子どもがいても学習できる機会を提供します。日本語発表会を年1回開催し、日頃の学習の成果を発表するとともに市民との交流を図ります。[吹田市委託事業]

##### **(2) 使える日本語**

日本語学習中級者を対象に、仕事や地域などの社会参加をめざして「生活日本語」を学ぶクラスを開設します。多様な生活様式の学習者に対応するため、時間を平日夜に変更し、オンラインで実施します。[自主事業]

## 2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

### (1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

日本語が要因となって、医療機関等を利用する機会が失われないよう、コミュニティ通訳ボランティアを派遣し通訳を行います。この事業は、誰一人取り残されない社会の実現にとって大変重要な事業であり、提携病院の拡大とオンラインによる実施もあわせて模索します。[補助金事業]

### (2) コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行・スキルアップ事業

日本語が要因となって、行政窓口で戸惑うことがないように、コミュニティ通訳ボランティアを派遣し通訳を行います。通訳の同行先は、市の行政機関全般にわたっています。例えば、学校の懇談会への同行など保護者と子どもたちにとっても安心・安全につながる事業となっています。今後は、同行通訳の多言語化と、同行できる場所など、ニーズに対応可能なコミュニティ通訳の充実をめざし、体制強化を図っていきます。さらに、病院及び行政窓口に同行するコミュニティ通訳ボランティアの情報の共有、通訳スキルの向上、通訳の場で使用されるようになってきた最新の機器の使用方の学習などを目指し、スキルアップ研修会を実施します。[吹田市委託事業]

## 3. 地域事業への在住外国人の参加促進

「すいたフェスタ」、市民公益活動団体や地域の商店街などが主催する地域行事等に、在住外国人が参加しやすくなるようにSNS等を利用して情報提供します。特に、日本語教室に通う学習者や、留学生には、「多言語メーリングリストミミヨリINFO」などを活用して地域情報を提供します。[補助金事業]

## 4. 外国にルーツをもつ子どもの支援

### (1) ハロハロ SQUARE (外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業)

日本語を母語としない子どもたちに安心できる居場所を提供するとともに、日本語や教科の学習支援を通して、将来に希望を持って日本で暮らしていく力を養えるように支援します。大阪大学グローバルイニシアティブ・センターとの連携事業として、また教育に高い関心のある近隣大学の学生やボランティアの協力を得て、子どもたちの学習支援を行います。近隣大学の教員や国際交流協会と連携しながら、母語支援・母文化交流事業を子どもと保護者を対象に実施する体制を整えます。[補助金事業]

## **(2) 帰国・渡日児童生徒支援事業**

大阪府教育庁が進める「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」に対し、市教委の「さくら広場」との情報共有と連携を深め、日本語指導を必要とする子どもたちが取り残されないように努めます。また、高校受験などの進路選択のための情報提供と相談をおこなう「多言語進路ガイダンス」の開催に協力します。[自主事業]

## **5. 子育て支援「こあらくらぶ」**

外国人ママ・パパの仲間づくり事業として、子育て中や妊娠中の外国人に寄り添い、日本で安心して出産・育児ができるよう支援をします。のびのび子育てプラザや保健センター、図書館などの関係機関や子育て関係のNPO団体などと連携して、交流や情報交換ができる交流会等を開催します。[補助金事業]

## **6. 防災減災事業**

吹田市と協力して、災害時の在住外国人支援のための事業を推進する。令和3年(2021年)8月から令和4年(2022年)7月までは、真如苑の市民防災減災活動助成金事業「多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業」を実施しています。[補助金事業]

## **7. 「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター（仮）」**

法務省が各自治体で整備を進めている在留外国人のためのワンストップ相談窓口の開設し運営します。[吹田市委託事業]

## **8. その他の外国人支援**

### **(1) 行政情報などの提供**

在住外国人も日本人と同じように行政などの情報にアクセスできる（イコールアクセス）ように、法律や制度の変更など必要な情報を提供します。国際交流情報の収集及び発信事業と補完しあい、ホームページやフェイスブック、会報誌やミミヨリ INFOなどを活用して情報を提供します。また、無料の法律相談を定期的で開催し、在住外国人が抱えている悩み事に対しても相談できる機会を提供します。[補助金事業]

### **(2) 外国人のキャリアアップにつながる支援**

ボランティア団体や関係機関、地域コミュニティ、商工会議所や企業等と連携し、在住外国人が活躍できる機会や場所づくりに努めます。翻訳業務の依頼を受けるようにし、地域の多文化共生社会の推進のための研修も実施していきます。外国人人材が働きやすい環境を整えるために、やさしい日本語の研修も実施します。[自主事業]

令和4年度（公財）吹田市国際交流協会 収支予算書

（正味財産増減計算書ベース）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで（単位：円）

科 目	当年度予算額			前年度予算額 （補正後）	増 減
	公益目的事業会計	法人会計	合計		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収益					
基本財産受取利息	0	356,000	356,000	356,000	0
事業収益					
語学教室事業収益	23,600,000	0	23,600,000	27,150,000	△ 3,550,000
受託事業収益	2,649,000	0	2,649,000	3,109,000	△ 460,000
その他の事業収益	220,000	0	220,000	231,000	△ 11,000
受取会費					
受取賛助会員会費	620,000	620,000	1,240,000	1,460,000	△ 220,000
受取補助金等					
受取吹田市補助金	8,000,000	0	8,000,000	8,000,000	0
受取補助金振替額	250,000	0	250,000	400,000	△ 150,000
受取負担金					
受取負担金	510,000	0	510,000	510,000	0
雑収益					
受取利息	0	1,000	1,000	2,000	△ 1,000
雑収益	550,000	0	550,000	544,000	6,000
経常収益計	36,399,000	977,000	37,376,000	41,762,000	△ 4,386,000
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	4,002,000	0	4,002,000	3,989,000	13,000
賃金	5,745,000	0	5,745,000	9,493,000	△ 3,748,000
臨時雇賃金	4,645,500	0	4,645,500	5,477,000	△ 831,500
賞与引当金繰入額	447,000	0	447,000	840,000	△ 393,000
法定福利費	1,632,503	0	1,632,503	2,625,000	△ 992,497
福利厚生費	511,000	0	511,000	620,000	△ 109,000
会議費	0	0	0	0	0
旅費交通費	1,389,000	0	1,389,000	1,418,000	△ 29,000
通信運搬費	671,500	0	671,500	775,000	△ 103,500
消耗什器備品費	35,000	0	35,000	45,000	△ 10,000
消耗品費	435,500	0	435,500	635,000	△ 199,500
修繕費	68,000	0	68,000	125,000	△ 57,000
印刷製本費	483,000	0	483,000	622,000	△ 139,000
水道光熱費	495,000	0	495,000	495,000	0
賃借料	2,002,000	0	2,002,000	2,195,000	△ 193,000
使用料	407,000	0	407,000	461,000	△ 54,000
保険料	248,000	0	248,000	236,000	12,000
報償費	8,828,000	0	8,828,000	10,778,000	△ 1,950,000
諸謝金	1,450,500	0	1,450,500	1,902,000	△ 451,500
租税公課	1,072,000	0	1,072,000	1,418,000	△ 346,000
支払負担金	664,000	0	664,000	664,000	0
委託費	418,000	0	418,000	1,102,000	△ 684,000

令和4年度（公財）吹田市国際交流協会 収支予算書

（正味財産増減計算書ベース）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで（単位：円）

科目	当年度予算額			前年度予算額 （補正後）	増 減
	公益目的事業会計	法人会計	合計		
食糧費	3,000	0	3,000	33,000	△ 30,000
支払手数料	144,000	0	144,000	146,000	△ 2,000
雑費	1,000	0	1,000	8,000	△ 7,000
管理費					
給料手当	0	210,000	210,000	209,000	1,000
賃金	0	434,000	434,000	496,000	△ 62,000
賞与引当金繰入額	0	25,000	25,000	33,000	△ 8,000
法定福利費	0	12,000	12,000	134,000	△ 122,000
福利厚生費	0	24,000	24,000	26,000	△ 2,000
会議費	0	2,000	2,000	3,000	△ 1,000
旅費交通費	0	69,000	69,000	69,000	0
通信運搬費	0	34,000	34,000	34,000	0
消耗什器備品費	0	10,000	10,000	20,000	△ 10,000
消耗品費	0	25,000	25,000	27,000	△ 2,000
修繕費	0	66,000	66,000	34,000	32,000
印刷製本費	0	27,000	27,000	27,000	0
水道光熱費	0	55,000	55,000	55,000	0
賃借料	0	255,000	255,000	430,000	△ 175,000
使用料	0	3,000	3,000	5,000	△ 2,000
諸謝金	0	1,367,000	1,367,000	284,000	1,083,000
租税公課	0	2,000	2,000	2,000	0
支払負担金	0	87,000	87,000	669,000	△ 582,000
支払手数料	0	95,000	95,000	95,000	0
雑費	0	10,000	10,000	10,000	0
経常費用計	35,797,503	2,812,000	38,609,503	48,764,000	△ 10,154,497
当期経常増減額	601,497	△ 1,835,000	△ 1,233,503	△ 7,002,000	5,768,497
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	601,497	△ 1,835,000	△ 1,233,503	△ 7,002,000	5,768,497
一般正味財産期首残高	-	-	7,480,024	14,194,980	△ 6,714,956
一般正味財産期末残高	-	-	6,246,521	7,192,980	△ 946,459
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	0	356,000	356,000	356,000	356,000
受取民間助成金				500,000	△ 500,000
一般正味財産への振替額	△ 250,000	△ 356,000	△ 606,000	△ 756,000	150,000
当期指定正味財産増減額	△ 250,000	0	△ 250,000	100,000	△ 350,000
指定正味財産期首残高	-	-	200,250,000	200,000,000	250,000
指定正味財産期末残高	-	-	200,000,000	200,100,000	△ 100,000
III 正味財産期末残高	-	-	206,246,521	207,292,980	△ 1,046,459

注記：一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び正味財産期末残高は、令和4年2月時点決算見込み値にて算定。

## 令和3年度（2021年度）事業報告

当協会は、人権尊重を基調とした地域社会づくりに寄与するため、吹田市が進める多文化共生社会推進の考え方にもとづき、市民主体の国際交流活動の支援、多様化する社会で活躍できる人づくり、在住外国人支援等、多文化共生社会の推進に関わる事業を実施しています。

令和2年度から引き続き、当協会の各事業も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けました。このような状況の中で、協会が実施した事業の概要は以下のとおりです。

### [定例事業]（継続事業）

感染症対策に配慮し、さまざまな工夫をしながら「令和3年度事業計画」と「多文化共生アクションプラン〈令和2年度に始まる中長期計画書〉」にもとづき、Ⅰ 市民主体の国際交流・国際協力、Ⅱ 国際化推進の人づくり支援、Ⅲ 在住外国人の支援事業を実施しました。令和3年度は、国際交流協会だけでは対応しきれないような案件が増えました。吹田市所管や社会福祉協議会及び吹田市教育委員会、大阪府教育庁、民間支援団体等と積極的に情報共有や連携を進め対応しました。

11月に開催した多文化まつりでは、当協会としては大阪メトロより広告協力を得ることができました。

### [その他の事業]（民間助成金・単年度事業）

「多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業」

（真如苑 市民防災・減災活動助成金：2021年8月から2022年7月）

協会 SIFA の定例事業の子育て支援事業「こあらくらぶ」とボランティアによる日本語学習支援活動「日本語わいわい」を中心に、外国人市民と地域住民と一緒に参加する防災事業を実施しました。また、吹田市所管や危機管理室、社会福祉協議会等からも参加がありました。防災グッズの簡単な作り方や使い方などを日本語学習者と一緒に動画撮影をしました。この動画は多言語にして令和4年7月までに配信する予定です。

## I 市民主体の国際交流・国際協力

市民の自主的な国際交流・国際協力の活動を支援します。自分たちとは異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際感覚を養い、多様な人びとを認め合い尊重し合う多文化共生社会の実現の推進に努めます。

### 1 友好交流都市との交流事業（吹田市補助金事業）

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、友好交流都市との交流事業の実施には至りませんでした。

市民主体の国際交流という視点に立ち、社会がオンラインでつながりやすくなっている状況を利点として、多様な人と交流する機会(場)づくりをコンセプトに、下記のような交流と語学学習を合わせた事業を実施しました。

・「韓国のお正月」 講師：朴家英

日時：2月2日(水)

内容：韓国のお正月を題材に挨拶、料理、遊びを紹介し、文法や単語を学びました。訳語だけではなく、どういった時にどの言葉(単語)を使うか、文化の違いや表現について学びました。

参加者：22名

・「南アフリカ共和国の文化と社会」 講師：Douglas Rodger James

日時：2月25日(金)

内容：先生が生まれた南アフリカの街の様子や人口、文化、食文化をはじめ、国の象徴である動物やその習性、エリアごとの言語や民族があることなど多岐に渡って紹介しました。その後、オンラインで先生の南アフリカの実家につなぎ、先生の家族とコミュニケーションを楽しみました。

参加者：5名

・「アメリカと日本のメンタル・ヘルスに対する違いについて」 講師：Hosea Baker

日時：3月14日(月)

内容：世界メンタルヘルスデーを題材にしました。メンタルヘルスへの考え方や症状が発生した時の日本とアメリカの対応の違いについて学びました。子どもの時はどのようなメンタルの問題が起こりやすいのか、メンタル・ヘルスとのかかわり方について参加者と一緒に考えました。

参加者：3名

## 2 国際交流情報の収集及び発信（ホームページは吹田市補助金事業、他は自主事業）

### ア. 会報SIFA Timesの発行

年4回発行しました。

発行時期と部数：7月号（No.277）1,800部、10月号（No.278）1,800部、  
1月号（No.279）1,800部、3月号（No.280）2,100部

### イ. 国際交流情報の収集及び発信

ホームページとフェイスブック多言語化、留学生や在住外国人向けの多言語メーリングリスト「ミミヨリINFO」などの活用により、適切な情報発信に努めました。

### ウ. ホームページのリニューアル（吹田市補助金事業）

6月30日より新ホームページ公開、WOVN社の多言語翻訳システムを導入しました。WOVN社の多言語翻訳システムの導入により、ワクチン接種情報などの発信等即時性を高めることができました。しかしながら、その翻訳精度は決して理想的とは言えず、結果的に多言語化するのにボランティアに翻訳修正を依頼することになりました。令和4年度5月に契約終了後、継続契約は締結しないことにしました。

公開記事数（6月1日以降）：86件（SIFA関連46件、その他団体40件）

翻訳ボランティア：延べ10名

## 3 市内大学との連携による留学生等との市民の交流（吹田市補助金事業）

### ア. 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

市内の大学などのホストファミリープログラムの支援（吹田市補助金事業）は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、留学生の来日が困難となり、事業は全て中止となりました。例年実施してきたホストファミリーボランティア説明会兼研修会と、ホストファミリー交流会も併せて中止しました。

## II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生社会の推進のために、市民が他者理解の重要性を理解するための機会を増やし、未来を担う子どもたちが多様な人たちとの出会いや交流・体験学習を通して、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進します。

## 1 国際交流ボランティア活動支援（吹田市補助金事業）

### ア. 国際交流ボランティア登録

初めてボランティア活動をしようとする希望者に、ボランティア活動に関するセミナーを実施します。その後、協会の理念や活動内容について説明し、協会の国際交流ボランティア登録を実施しました。

「はじめてのボランティア活動」 講師： 矢野眞里加(市民公益活動センターラコルタ)

日程： 2月23日(火・祝) 10:00から11:50（対面とオンライン）

参加者： 37名 新規ボランティア登録者： 20名

（ボランティア登録者： 192名 うち外国籍者： 12名）

### イ. ボランティア講座

SIFA日本語ボランティア教室への参加を希望するボランティア登録者を対象に、やさしい日本語やボランティアの心構えなどの簡単なガイダンスを実施しました。希望者が参加しやすいよう、同じ内容の講座を平日と土曜日に実施しました。

「はじめての日本語ボランティア」 講師： 榎原智子（SIFA日本語教室講師）

日程： 4月1日（木）、4月3日（土）

参加者： 10名（1日 6名、3日 12名）

### ウ. ボランティアによる日本語学習支援

地域で日本語学習支援を実践している団体と情報共有を積極的に行い、日本語学習へのアクセスのしやすさを強化しました。また、2020年4月の「日本語交流活動宣言」にもとづき、ボランティアとの関係づくりやボランティア・コーディネートにも積極的に取り組みました。

#### ・日本語チューター

ボランティアと学習者が1対1または1対2で日本語習得支援を行うクラスです。学習者の日本語レベルや要望はさまざまなので、それぞれに寄り添った支援をしています。朝と夜のクラスに関しては、4月から6月の間は新型コロナウイルス感染症拡大のために、オンラインで活動を継続しました。

日時： 朝チューター 全41回、うちオンライン10回（4月20日から6月29日）

夜チューター 全41回、うちオンライン10回（4月21日から6月30日）

オンラインチューター： 全925回

会場： 市民公益活動センター ラコルタ、SIFA、各種オンラインツール

参加者： 朝チューター延べ 336 組、夜チューター延べ 298 組、

オンラインチューター延べ 925 組

・ にこここ日本語

外国人学習者とボランティアが小グループで「おしゃべり活動」を通して日本語習得支援をしました。SIFA が作成した対話型教材「はじめてのにこここ」と「にこここ」を使用し、生活に密着したさまざまなテーマについておしゃべり活動をしました。

日程：全 42 回（オンライン期間 4 月 28 日から 6 月 19 日）

※9 月 18 日は台風のため休講

場所：SIFA / オンライン

学習者： 延べ 375 名

ボランティア： 延べ 410 名

参加費： 月 500 円

・ みんなの漢字

外国人学習者とボランティアが小グループに分かれてプリント教材を使い、生活のさまざまな場面で目にする漢字を学ぶクラス。

日程： 全 42 回（昨年度は 18 回）

（※4 月 24 日から 6 月 19 日はコロナ感染症拡大予防の為に休止）

場所： SIFA

学習者：延べ 130 名      ボランティア：延べ 190 名

参加費：月 500 円

・ 日本語わいわい

外国人学習者とボランティアが小グループに分かれて「わいわい」とおしゃべりをする事で、日本語習得の支援をするクラス。外国人ボランティアが日本で暮らす「先輩外国人」として参加しました。

日程： 全 41 回（昨年度 30 回）

（うちオンライン期間： 4 月 23 日から 6 月 18 日、9 月 3 日から 9 月 24 日）

場所： SIFA、ラコルタ、市民センター / オンライン

学習者： 延べ 254 名      ボランティア： 延べ 279 名

参加費： 1 か月 500 円

・ 日本語ボランティア交流会

SIFA 日本語ボランティアを対象に、それぞれのボランティア活動について知り、クラスを超えて日本語交流活動をする上での工夫や課題を共有することを目的に実施しました。

日程： 2月3日（木） 10:00 から 11:30

会場： オンライン

参加者： 11名

## 2 語学教室（自主事業）

学習者の知識や技術習得だけでなく、さまざまな国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外国語に慣れ親しむことから国際理解に対する理解を深め、地域でともに生活する隣人としての外国人市民への支援の重要性を伝えました。また、子どもたちには英語学習を通して国際理解と多文化共生への関心を深め、グローバル人材の育成にも努めました。昨年度に引き続き、旭通教室での授業を継続しました。（通年クラスの人数は2021年1月現在）

※休講期間： ①4月6日から6月13日（緊急事態宣言の要請対応）、②12月7日から12月22日（大阪府医療非常事態宣言の要請対応）

### ア. 通年クラス

#### a. 通年クラス(大人)

英語（講師： Hosea Lee BakerⅢ、Nhon Nguyen、Douglas Rodger James、Marc-Eric Tremblay、Ruben Valles、Karen Miyuki Egawa）

21クラス(旭通教室1クラス) 受講者：132名

中国語（講師：山口小百合）

2クラス(旭通教室1クラス) 受講者：9名

韓国朝鮮語（講師：朴家英）

3クラス 受講者：23名

#### b. 通年クラス(子ども～学齢期)

親子(幼児)英語（講師： Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、Hosea Lee BakerⅢ、Karen Miyuki Egawa）

3クラス 受講者：14組

小学生英語（講師： Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、Ruben Valles）

14クラス(旭通教室3クラス) 受講者：69名

中学生英語（講師： Ruben Valles）

1クラス 受講者：5名

高校生英語（講師：Ruben Valles）

1クラス 受講者：1名

#### イ. 短期クラス

- 英語でChat（レベル2-3）（講師：Nhon Nguyen）  
開催日：① 5月7日から7月9日 全10回 受講者：6名  
② 10月1日から12月3日 全10回 受講者：6名  
③ 1月7日から3月18日 全10回 受講者：5名
- はじめてのハングル（入門）（講師：朴家英）  
開催日：5月12日から7月14日 全10回 受講者：7名
- 英語でディスカッション（レベル3-4）（講師：Marc Tremblay）  
開催日：7月5日から3月14日 全26回 受講者：7名
- 英語でスケッチ（講師：Nhon Nguyen）  
開催日：9月1日から11月10日 全10回 受講者：4名
- 台湾語を学ぼう（講師：溝越茜）  
開催日：9月1日から11月10日 全10回 受講者：5名
- 韓流！美と食を探る（講師：朴家英）  
開催日：9月7日から11月9日 全10回 受講者：10名
- ネイティブが使う英語（レベル3-4）（講師：Hosea Baker）  
開催日：① 10月1日から12月3日 全10回 受講者：4名  
② 1月7日から3月25日 全10回 受講者：7名
- 親子でシング&チャンツ（講師：Ruben Valles）  
開催日：① 10月5日から11月30日 隔週・全5回 受講者：3組  
② 1月11日から3月8日 隔週・全5回 受講者：5組

#### ウ. 多言語アワー

- ベトナム語（講師：ファム・フィ・ハイ・イエン）  
開催日：11月5日から12月10日 全6回 受講者：5名
- ドラマで学ぶハングル（レベル1-2）（講師：朴家英）  
開催日：1月11日から3月15日 全10回 受講者：6名

#### エ. Kids サマークラス（講師：Rodger Douglas）

開催日:8月2日～8月4日

- ① 小学1・2年初心者 受講者: 10名
- ② 小学1・2年初心者追加クラス 受講者: 3名
- ③ 小学1・2年経験者 受講者: 6名
- ④ 小学3～6年クラス 受講者: 10名
- ⑤ 小学3～6年クラス追加クラス 受講者: 6名

### 3. 異文化理解・啓発事業(吹田市補助金事業)

#### ア. 多文化まつり 2021

地域の人びとと在住外国人が集い、地域の交流をはかり、多文化理解を深め、多文化共生社会の実現に寄与することを目的として開催しました。感染拡大防止のため、従来のような大規模のイベントではなく、「多文化まつり月間」とし実施日を分散しました。実施方法は、対面、オンライン、屋外での活動等の工夫をしました。

日時: 11月1日(月)～30日(火)

会場: ラコルタ等

参加者: 約250名

	日時	会場	参加者	
すいたウォーク (南千里コース)	11月6日(土) 9:30-12:00	南千里周辺	10名	
すいたウォーク (吹田村コース)	11月21日(日) 9:00-12:00	JR吹田周辺	13名	
外国人いどばた会議	11月7日(日) 13:30-15:00	ラコルタ	7名	※詳細は「多文化ぷらす」参照
親子のための健康と防災	11月17日(水) 10:00-12:00	ラコルタ	7組	※詳細は「真如苑防災事業」参照
すいた de シネマ	11月20日(土) 9:30-11:30	市民センター 多目的ルーム	22名	
多文化ぷらす ベトナムにルーツをもつ子どもたちが教えてくれた多文化共生	11月23日(火・祝) 13:30-15:00	オンライン	35名	※詳細は「多文化ぷらす」参照
世界わいわいめぐり	11月27日(土) 10:30-13:00	ラコルタ	約70名	
SIFA ギャラリー	11月1日(月)～ 11月30日(火)	SIFA 廊下	約80名	

吹田&大阪おすすめスポット MAP	11月1日(月)～ 11月30日(火)	SIFA 廊下		
ハロハロ企画 クイズラリー	11月27日(土) 9:30-15:00	SIFA 廊下		
フェアトレード商品紹介	11月27日(土) 9:30-15:00	SIFA 廊下		

#### イ. 多文化共生講座「多文化ふらす」

多文化共生社会について理解を深めるための講座や、一緒に考え語り合うイベントを3回実施しました。

- ・多文化ふらす「在住外国人と語り合う～わたしと料理と多文化交流」

日時: 8月22日(日)

場所: 吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷

共催: 特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会

講師: 世界の料理ピロギ・ジャパン(ヴィクトリア ブヤコフ(ロシア)、張 玉蘭(中国)、  
ファティメ モタバリプール(イラン))

参加者: 9名

内容: グループを立ち上げたきっかけ、これまで直面してきた課題、地域活動を通じた多くの出会い、多様な文化を持つ人たちが一緒に活動するための工夫などについて、写真を交えながらの説明がありました。

- ・「外国人いどばた会議」

日時: 12月7日(日)

ネリスト: 許 紅華(中国)、ソク ヨンホ(韓国)、ダハル プスパラル(ネパール)

場所: ラコルタ

参加者: 4名

内容: 日常生活における困りごとや悩みを共有し、情報交換できる場をつくるスタートとして施しました。職場での悩みや子どもの学校のこと、日本語学習などについて、互いに相談をする時間となりました。

- ・「ベトナムにルーツを持つ子どもたちが教えてくれた多文化共生」(オンライン)

日時: 12月23日(日)

講師: 近藤美佳(大阪大学大学院言語文化研究科 助教)

参加者: 35名

内容：講師自身の小学校などでの母語学習支援の活動経験から、事例を挙げながら母語支援の重要性と難しさについて話がありました。多文化共生について、参加者が一緒に考える機会となりました。

#### 4 子ども国際理解事業(吹田市補助金事業)

出前授業「国際理解パッケージ」低学年向けの「がっこう編」、中・高学年向けの「食べもの編」「モノ編」の3種類を、吹田市教育委員会の予算で行う「ドキドキワールド」の授業として吹田市内の小学校で実施しました。

パッケージは、コーディネーター(有償ボランティア)による各テーマ(食べもの等)の日本と世界のつながりについての話とそれに関連したクイズ、外国人講師によるプレゼンテーション、そして子どもたちからの質問コーナーで構成されています。

コーディネーター(有償ボランティア)3名、外国人講師延べ9名

全10件20回 参加児童数：839人

- ① 11月10日(水) 2回 吹田市立千里第一小学校4年生2クラス 66人  
「食べもの編：韓国」
- ② 11月17日(水) 2回 吹田市立岸部第一小学校4・5・6年生4クラス 126人  
「モノ編：台湾」
- ③ 11月19日(金) 2回 吹田市立千里第一小学校4年生2クラス 66人  
「食べもの編：台湾」
- ④ 12月2日(木) 2回 吹田市立山田第三小学校5年生2クラス 57人  
「食べもの編：コロンビア」
- ⑤ 12月13日(月) 2回 吹田市立古江台小学校2年生3クラス 87人  
「がっこう編：タイ」
- ⑥ 12月20日(月) 2回 吹田市立古江台小学校4年生3クラス 90人  
「食べもの編：アメリカ」
- ⑦ 2月4日(金) 2回 吹田市立古江台小学校3年生3クラス 91人  
「食べもの編：台湾」
- ⑧ 2月8日(火) 2回 吹田市立古江台小学校1年生3クラス 91人  
「がっこう編：モンゴル」
- ⑨ 2月25日(金) 2回 吹田市立古江台小学校6年生3クラス 92人  
「食べもの編：中国」
- ⑩ 3月14日(月) 2回 吹田市立江坂大池小学校6年生2クラス 73人  
「食べもの編：中国」

## 5 国際交流団体など支援・連携事業

- ・ 共催・後援・協力事業の実施（自主事業）

[後援]

（一財）言語交流研究所・ヒッポファミリー

内容：講演会「7カ国語で話そう」

日時：2月20日（日）

- ・ MUSEたかつきカレッジクラブ講座（株式会社関大パンセ受託事業）

株式会社関大パンセより委託されている小学生を対象とした英語教室を開催しました。本年度は、日程数を増やして開催する予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により日程数を予定より減らしての実施となりました。

講師：Douglas Rodger James

講座：「Easy Peasy English」

Aコース 小学校1～2年生対象 16:00～16:50 参加者：5名

Bコース 小学校3～6年生対象 17:00～17:50 参加者：5名

日程：10月1日（金）～11月5日（金）各金曜日 全12回

会場：ジオタワー高槻ミューズフロント3階 多目的ルーム

- ・ 関西大学南千里国際プラザとの連携（自主事業）

春と秋に開催された関西大学別科の入学式、修了式へ出席し（オンライン含）、地域団体の代表として挨拶をしました。地域の中での受け入れ支援体制について、情報提供などに努めました。

- ・ 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携（自主事業）

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」（構成11団体）に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、機関などとのつながりの場を作り、さまざまな情報を相互交換し、広域的な相互連携、協力できる体制を継続しました。

定例会：毎月1回

場所：大阪国際交流センター（オンライン併用）

構成団体：池田市市民生活部人権・文化国際課、和泉市総務部人権・男女参画室、（公財）大阪国際交流センター、（公財）大阪府国際交流財団、（公財）吹田市国際交流協会、（公財）とよなか国際交流協会、（特活）とんだばやし国際交流協会、（公財）箕面市国際交流協会 / オブザーバー：大阪府都市魅力創造局国課、堺市文化観光局国際部国際課、（特活）多文化共生マネージャー全国協議会

- ① 大阪弁護士会との連携事業

- ・研修会及び座談会

講師：原啓一郎(弁護士)

日程：11月5日 場所：大阪国際交流センター

- ② 外国人のための法律相談会

日程：12月4日 場所：和泉市)

- ③ 研修企画

- ・「対人支援の基本について、ロールプレイ」

日程：11月16日

講師：山中京子(大阪府立大学)

- ・「フォーラム・シアター」

日程：2月4日

講師：内山唯日

場所：大阪国際交流センター

### Ⅲ 在住外国人の支援

地域に暮らす外国人市民が、言葉が要因となって抱える困難を解決するための支援をします。さらに、外国人市民が支援される側だけではなく、支援する側となってコミュニティで各自の持てる力を発揮し協働する地域づくりを推進します。

#### 1 日本語教室の開催 (吹田市委託事業)

##### ア. 日本語1・2

生活に必要な日本語を学ぶクラスです。日本語1(入門レベル)と日本語2(初級レベル)のクラスを開講しました。クラスは、講師がテキストを使って授業を行いました。1回90分のクラスを週2回実施しました。午前中のクラスには、ボランティアによる保育を設けました。今年度4から6月までは緊急事態宣言のため対面での授業を開講できませんでしたが、すぐにオンラインへ移行し、日本語の学びが止まらないようにしました。7月には対面で授業を行いました、8月に再度緊急事態宣言が出た際にオンラインへ切り替えました。

実施日：4月1日(木)から3月31日(木)

※4月19日から6月24日、8月26日から9月30日 オンライン

日本語1：全83回(内、オンライン4~6月は18回、8~9月は9回)

日本語2：全83回(内、オンライン4~6月は18回、8~9月は9回)

実施場所：SIFA / オンライン

講師：後藤範子、榎原智子

・ サマーコース

通年クラスの夏休み期間中に、主に入門から初級レベルの学習者を対象に5日間連続の講座を実施しました。講座内容は、通年クラスの復習と会話練習です。コロナウイルス感染症の影響を考え、入門・初級コースはオンラインクラスとして実施しました。後半の3回はレベルを問わず参加できる日本文化についての講座としました。

当初は教室で実施予定でしたが直前に対面活動中止となり、急遽オンラインに切り替えて実施しました。8月は通年クラスがすべて休講としてきましたが、今後もサマーコースを継続してほしいとの要望がありました。

日時：入門・初級コース 8月2日（月）から6日（金） 全10回（各5回）

いろいろコース 8月18日（水）から8月20日（金） 全3回

開講方法：オンライン

講師：後藤範子、榎原智子

学習者：延べ95名（入門23名、初級47名、いろいろコース25名）

・ 日本語教室発表会

SIFAの日本語教室に通う学習者が年1回、日本語で思いを伝え、地域住民と交流をはかる機会として実施しました。今年度は感染対策を十分に行い会場への観覧も可能としました。また、今回はYouTubeでの生配信を行い、発表者の家族や知人も発表を観られるように工夫しました。

日時：12月12日（日）

場所：市民センター（対面）とオンライン（YouTube配信）

発表者：12名 観覧者：約30名 YouTube配信視聴者：約20名

・ オンライン会話クラス

通年クラスではなかなか会話練習の時間がとれないため、入門から初級レベルの学習者を対象に会話練習を中心に行う全6回（入門3回、初級3回）のオンラインコースを実施しました。

日時：全6回

① 入門3回：1月12日（火）、1月19日（火）、1月26日（火）

② 初級3回：2月2日（火）、2月9日（火）、2月16日（火）

実施：オンライン

講師： 後藤範子、榎原智子

学習者： 延べ21名（入門6名、初級15名）

## 2 コミュニティ通訳ボランティア同行事業

日本語による会話が十分でない在住外国人市民が、ことばの壁により行政サービスや医療機関などを利用する機会が失われないように、SIFAに登録しているコミュニティ通訳ボランティアが同行し通訳をしました。病院からの依頼は主に外来での診察や検査時の同行が多く、保健センターからは乳幼児の定期健診や利用者宅への乳児訪問への同行依頼がありました。同行謝礼は、1件(同行3時間迄)につき3000円です。

### ア. コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

依頼件数： 88件（当日キャンセル4件、事前キャンセル2件、通訳者都合によるキャンセル1件）

4月6件、 5月3件、 6月10件、 7月5件、 8月8件、 9月7件、  
10月9件、 11月9件、 12月10件、 1月7件、 2月7件、 3月7件

依頼言語： 英語57件、中国語31件

場所： 吹田市民病院(54件)、済生会吹田病院(21件)・済生会千里病院(0件)、  
保健センター(13件)、井上病院(0件)

病院通訳ボランティア： 16名(英語 8名、中国語 8名)

#### ・コミュニティ通訳関係者会議

コロナ禍における現状の報告と課題について意見を交換しました。

日程：8月4日（水）

参加者：6名（吹田市民病院、済生会千里病院、保健センター、SIFA職員）

#### ・ボランティア勉強会

保健センターが行う新生児訪問(産後ケア)について、訪問時に使われる質問票の表現等、同行時に役立つ英語のレクチャーをしてもらいました。

日時：9月22日（水）

講師：Douglas Rodger James

参加者：5名

## 3 コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行・スキルアップ事業(吹田市委託事業)

### ア. コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行

外国籍市民が吹田市役所等で各種手続きや相談等を行う際に同行・通訳し、円滑に手続きや相談が行われ、公平な行政サービスを受けるためのサポートをしました。保育幼稚園室・学校教育室からの依頼が多く、懇談会や入学・入園(所)に関する説明会への同行や必要書類提出の通訳などでした。その他の室課からは、育成室入室手続き、マイナンバーに関する手続き、児童手当申請に関する通訳依頼がありました。

同行先：吹田市役所庁舎内(放課後子ども育成室、子育て給付課、市民課、他)12件、  
市内こども園及び小学校等 40件

同行者：行政通訳ボランティア 30名

(英語 14名、中国語 11名、韓国朝鮮語 2名、ベトナム語 2名)

依頼件数：52件(緊急事態宣言によるキャンセル3件、通訳手配不可1件)

4月6件、5月0件、6月5件、7月4件、8月2件、9月3件、  
10月6件、11月4件、12月7件、1月3件、2月4件、3月8件

依頼言語：英語 47件、中国語 4件、ベトナム語 1件

#### イ. 行政窓口通訳ボランティア養成講座(オンライン)

コミュニティ通訳概論や倫理、基礎トレーニングに関する講座をオンラインで実施しました。通訳、スキルトレーニングの倫理と実践、通訳時のメモ取りの方法、サイトトランスレーションなどについて、事前に吹田市役所市民課や国民年金課の職員による講義を撮影し、受講者が視聴できるようにしました。修了試験をさまざまな事情で受験できなかった場合、試験問題をメール送付し、後日提出してもらうようにした。新たにフランス語3名、ネパール語1名の同行が可能となりました。

日時：12月3日(金)から4日(土)

講師：水野真紀子(金城学院大学)

参加者：7名

修了試験：フランス語 3月23日(水)、ネパール語は受講者がネイティブスピーカーで日本語で仕事をしている状況からペーパーテストのみ実施

#### ウ. スキルアップ研修

- ① 通訳者の役割・通訳倫理遵守の重要性・通訳者の介入と事例検討の講義をオンラインで実施しました。

日時：10月4日(月)

講師：飯田美奈子(行政通訳・相談コーディネーター、医療通訳士)

参加者：16名

- ② 行政通訳で依頼件数の多い保育幼稚園室担当者から、保育園・幼稚園(こども園)の制

度面や利用者の様子等について講義があった。

日時： 1月21日（金）

講師： 小林貴美子（吹田市保育幼稚園室）

参加者： 16名

#### 4 地域事業への在住外国人の参加促進

日本語教室に通う学習者や、留学生の多くが登録している多言語メーリングリスト「ミミヨリ INFO」を活用し、新型コロナウイルスやワクチン接種の情報をはじめ、市民公益活動団体や地域の商店街などが主催する地域行事等に、在住外国人が参加しやすくなるようにSNS等を利用して情報提供しました。

登録者数： 360名 配信： 49回

#### 5 その他の外国人への支援

ア. ハロハロ SQUARE（外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業）（吹田市補助金事業）

外国にルーツをもつ小学生から高校生の学習支援を実施しました。学校の勉強や日本語学習などそれぞれの課題をボランティアと一緒に学習しました。子どもたちが安心できる居場所となるように、学習以外にもボランティアと将来のことや学校生活についての話し合い、ゲームタイムやお楽しみ会も実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、Zoomでの活動も取り入れました。Zoomにおける活動でも、個別の学習活動のほか皆で一緒にゲーム等を楽しむ時間を作りました。中学生には、子どもたちが将来に希望が持てるよう、当事者の大学生のボランティア等から進学や将来のこと、高校や大学の学びなどを話してもらい機会を作りました。多文化まつりでは「ハロハロクイズラリー」を企画し、子どもたち自身がクイズを考え、回答用紙もデザインしました。

また、市教委が主催する「さくら広場」との連携も強化され、月1回さくら広場の教員ミーティングに参加し、子どもたちの状況について情報共有ができるようになりました。

日程： ① 4月9日（金）から3月18日（金）（全46回） 課業日毎週金曜日に実施

対面 18:00から20:30（31回）、オンライン 4月16日から6月25日、  
9月3日から9月24日 18:00～19:30（15回）

② 夏休み自習室： 7月30日～8月13日 15:00～17:00（全3回）

③ 春休み自習室： 3月22～4月4日 15:00～17:00（全3回）

会場： SIFA 教室 / Zoom

参加者： 外国にルーツをもつ子ども 22人名（延べ 456人）

（高校入学準備 2名、中学生 6人、小学生 14人）

ボランティア：28人（延べ413人）

イ. 帰国・渡日児童生徒支援事業（自主事業）

来日のタイミングで中学校に在籍していない子どもたちを民間支援団体や大阪府教育庁と連携しながら高校進学への支援をしました。大阪府教育庁帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業三島地区実行委員会主催「多言語 進路・学校生活サポートガイダンス」を通して、市教委と協力し、高校進学など進路選択のための情報提供と相談に協力しました。

ウ. 子育て中の外国人支援「こあらくらぶ」（吹田市補助金事業）

外国人ママ・パパの日本での子育ての不安を和らげられるよう、お互いに共感したり、情報共有ができる交流の場をつくりました。子育て中の外国人と同じ世代のボランティアも多く参加し、絵本の読み聞かせや手遊び、折り紙など季節の行事も盛り込んだ活動をしました。また、真如苑市民防災・減災活動助成金による「多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業」の活動も実施しました。（月1回、水曜日に実施）

日程：5月19日 おしゃべり会（オンライン）

6月23日 南千里駅前ショッピングセンターでお買い物

7月7日 子育て相談・七夕遊び（ラコルタ）

9月21日 幼稚園入園にあたっての準備について（オンライン）

10月20日 外遊び千里南公園

11月17日 親子で学ぶ健康と防災（ラコルタ）

12月8日 正月飾り作り（ラコルタ）

1月19日 新年のお祝い・防災教室（ラコルタ）

3月2日 ひなまつり（ラコルタ）

参加者：外国人親子延べ16組 日本人親子延べ15組 ボランティア延べ22人

エ. 行政情報などの提供（自主事業）

・防災減災

吹田市より受領した町ごとの0才から14才、15才から65才、66才以上の年代と国籍別データを分析し、マッピングをしました。このデータをもとに、今後の在住外国人のための防災・減災事業を計画していきます。

・行政情報などの提供（自主事業）

緊急を要した案件について、通訳を依頼し、行政情報（医療、進学等）を提供しました。

オ. 使える日本語（自主事業）

中級レベルの学習者を対象に、講師がテキストを使用して授業を行いました。5名以上の学習希望者がいた場合に開講しました。1回1,100円の有料クラスです。今年度は、オンラインクラスとして開講し、仕事をしている学習者でも参加できるようにしました。

日程：全40回(昨年度 29回) 毎週木曜日 19:00-20:30

実施：オンライン

学習者：延べ224名(昨年度 160名)

カ. その他民間助成金による活動（宗教法人真如苑 市民防災減災助成金）

活動名：多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業

内容：子育て世代の外国人市民と地域住民を対象とした防災減災事業です。日頃からの地域住民とのつながりをつくるために子育てサークル等との連携強化に取り組みます。

期間：令和3年8月～令和4年7月 単年度事業)

助成金額：50万円

①「親子で学ぶ健康と防災」

日時：11月17日(水)10:00-12:00

会場：ラコルタ

講師：松村直子(防災士)

内容：産婦人科医より女性や子どもの健康セミナーと、防災士による災害時の子どもの命の守り方について学びました。多文化まつり事業の一環として、こあらくらぶと同時開催しました。

参加者：7組

②「防災教室」

日時：1月19日(水)11:00-11:30

会場：ラコルタ

講師：松村直子(防災士)

内容：100円ショップで購入できるものを使って災害時に利用できるペットボトルランタンの作成や簡易トイレの作り方を教えてもらうなど日頃の準備を含めた防災教室を実施しました。こあらくらぶと同時に開催しました。

参加者：9組

③「みんなで考える防災ワークショップ」

日時：2月18日(金)10:00-12:00

会場：ラコルタ 参加者：19名

講師：松村直子(防災士)

内容：ボランティアの日本語学習支援「日本語わいわい」の外国人学習者、ボランティア、行政職員、社会福祉協議会職員等を対象とし、災害時に起こり得る問題についてさまざまな立場の人たちともに解決策を考えるワークショップを開催しました。

#### ④「防災動画撮影」

日時：3月15日(火)13:00-16:30

会場：SIFA

内容：災害時の対応について、上記①～③のイベントで扱った内容の動画を作成しました。(5月中旬に吹田市危機管理室職員へのインタビュー・備蓄倉庫見学、撮影を予定しています。)

参加者：4名(SIFA日本語学習者3名 撮影者：1名)

## IV SIFA賛助会員

協会の事業への理解と支援を得るために、令和2年度活動報告書を作成しました。

	令和3年度	令和2年度
個人会員	438名 (438口)	510名 (521口)
外国人会員	124名 (124口)	96名 (96口)
法人会員	12法人 (12口)	11法人 (11口)
合計	(574口)	(628口)

## V その他

### 【参加・協力】

留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS 設置準備委員会

大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議

大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議

大阪府自治体国際化推進連絡会議

大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議(大阪府教育庁)

外国人相談窓口連絡会(大阪出入国在留管理局)

ネットワークおおさか

国際交流協会オンライン情報交換会(OFIX)

関西大学留学生別科入学式・修了式

吹田市災害支援ネットワーク会議 (主催：吹田市社会福祉協議会)

ひょうご防災リーダー講座フォローアップ研修リアル避難所運営訓練（兵庫県）

近畿ブロック地域国際化連絡会議及び多文化共生地域会議（総務省）

NATS 国際交流協会協議会

#### 【後援】

- ・事業名：第 21 回 2021 多民族共生人権研究集会  
主催団体：第 21 回 2021 多民族共生人権研究集会実行委員会  
開催日：7 月 21 日
- ・事業名：ワークショップ&講座「多言語で育む未来」  
主催団体：(一財) 言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ  
開催日：2 月 20 日（日）
- ・事業名：ワールドキャンパスインターナショナル吹田市訪問事業  
主催団体：吹田国際隣人グループ SING  
開催日（期間）：令和 4 年 7 月から令和 4 年 7 月 14 日まで

#### 【調査研究協力】

社会的結束に関する調査への協力（日本ユニセフ ヨルダン駐在員）

健康保険及び厚生年金保険に係る調査の実施（日本年金機構吹田年金事務所長）

令和 3 年度経済センサス（総務省、経済産業省）

識字・日本語教室ボランティア調査（識字・日本語センター）

#### 【職員研修】

「効果的なイベントをつくる - 企画から周知まで -」

#### 【研修参加】

「令和 3 年度多様性社会を生きる「次世代」の育成～外国につながりを持つ子どもたちへの  
学習支援」（公財）全国市町村研修財団

「SDG s オンラインワークショップ」

「地域における漢字学習支援研修」（ダイバーシティ研究所）

「相談員・通訳者向研修会」（大阪府国際交流財団）

「やさしい日本語研修」（大阪府国際交流財団）

「弁護士研修会」（ネットワークおおさか）

「相談に関する研修会」（ネットワークおおさか）

「こどもひろば」・外国にルーツをもつ子ども支援ネットワークオンライン研修会（大阪国  
際交流センター）

「パワーハラスメント発生防止セミナー」

【発表等】

- 「新型コロナウイルス感染症ワクチンの情報の整理」多文化共生マネージャーサロン  
「吹田市の広域連携の事例について」『災害時における広域連携について』大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議  
東南アジア学会『東南アジアにルーツをもつ子どもたち』 コメンテーター

【令和3年度吹田市財政援助団体等監査】

- ・ 事前監査  
日時： 9月14日（火）10:00 から 17:00  
場所： SIFA
- ・ 本監査： 10月27日（水）13:00 から 14:00  
場所： 本庁監査委員事務局

【理事会・評議員会など】

ア. 理事会・評議員会

- ・ 第1回通常理事会：令和3年5月10日
  - 議案第1号 令和2年度（2020年度）公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告及び決算の承認について
  - 議案第2号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算書の承認について
  - 議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事及び監事の任期満了に伴う次期候補者の推薦について
  - 議案第4号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会定時評議員会の招集について
  - 報告第1号 次期評議員の選考結果について
  - 報告第2号 理事長・副理事長職務執行状況報告
- ・ 定時評議員会：令和3年3月25日（みなし決議）
  - 議案第1号 令和2年度公益財団法人吹田市国際交流協会決算の承認について
  - 議案第2号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算の承認について
  - 議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事8名と監事1名の選任について
  - 報告第1号 令和2年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告について
  - 報告第2号 評議員選定委員会の選考結果について

- ・第1回臨時理事会：令和3年5月25日
  - 議案第5号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事長並びに副理事長及び専務理事の選定について
- ・第2回臨時理事会：令和3年8月9日（みなし決議）
  - 議案第6号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会の補正予算の承認について
  - 議案第7号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会臨時評議員会のみなし決議について
- ・第2回通常理事会：令和4年3月8日
  - 議案第8号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書(案)について
  - 議案第9号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書(案)について
  - 議案第10号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて
  - 議案第11号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会第2回臨時評議員会の招集について
  - 議案第12号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会事務局長任免について
  - 報告第3号 理事長及び副理事長職務執行状況報告
- ・第2回臨時評議員会：令和4年3月22日
  - 議案第5号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書（案）について
  - 議案第6号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書（案）について
  - 議案第7号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて
  - 報告第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会事務局長の任免について

イ. 公認会計士による決算監査の実施

- ・令和2年度決算監査：令和3年4月27日

ウ. 監事監査の実施

・令和2年度決算監査：令和3年4月28日

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月  
公益財団法人 吹田市国際交流協会

令和3年度  
(2021年度)

決算書  
(財務諸表等)

公益財団法人 吹田市国際交流協会

# 貸借対照表

令和04年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,904,018	26,429,141	△11,525,123
未収金	82,000	1,523,531	△1,441,531
前払金	28,749	201,500	△172,751
流動資産合計	15,014,767	28,154,172	△13,139,405
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	199,705,453	199,667,061	38,392
定期預金	294,547	332,939	△38,392
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
民間助成金事業積立資産	180,937	0	180,937
特定資産合計	180,937	0	180,937
固定資産合計	200,180,937	200,000,000	180,937
資産合計	215,195,704	228,154,172	△12,958,468
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,594,062	5,428,491	△834,429
前受金	7,685,650	7,375,501	310,149
預り金	296,431	304,682	△8,251
賞与引当金	480,183	850,518	△370,335
流動負債合計	13,056,326	13,959,192	△902,866
負債合計	13,056,326	13,959,192	△902,866
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
吹田市出捐金	200,000,000	200,000,000	0
補助金等	180,937	0	180,937
指定正味財産合計	200,180,937	200,000,000	180,937
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(180,937)	(0)	(180,937)
2. 一般正味財産	1,958,441	14,194,980	△12,236,539
正味財産合計	202,139,378	214,194,980	△12,055,602
負債及び正味財産合計	215,195,704	228,154,172	△12,958,468

# 正味財産増減計算書

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益			
基本財産受取利息	394,392	403,438	△9,046
事業収益			
語学教室事業収益	17,684,193	14,486,628	3,197,565
受託事業収益	2,504,480	3,393,677	△889,197
その他の事業収益	321,200	174,900	146,300
受取会費			
受取賛助会員会費	1,244,000	1,344,000	△100,000
受取補助金等			
受取吹田市補助金	8,000,000	8,000,000	0
受取民間助成金	319,063	153,120	165,943
受取国庫助成金	560,228	5,770,839	△5,210,611
受取負担金			
受取負担金	225,000	186,000	39,000
受取寄付金			
受取寄付金	41,994	6,512	35,482
雑収益			
受取利息	237	1,440	△1,203
雑収益	520,142	267,347	252,795
経常収益計	31,814,929	34,187,901	△2,372,972
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	3,877,774	3,971,645	△93,871
賃金	8,673,185	9,462,382	△789,197
臨時雇賃金	5,784,694	4,834,715	949,979
賞与引当金繰入額	451,174	819,982	△368,808
法定福利費	2,279,703	2,436,477	△156,774
福利厚生費	561,996	569,825	△7,829
会議費	0	1,262	△1,262
旅費交通費	1,123,802	1,007,049	116,753
通信運搬費	678,624	629,546	49,078
消耗什器備品費	20,460	82,072	△61,612
消耗品費	495,039	462,410	32,629
修繕費	114,400	149,715	△35,315
印刷製本費	510,682	746,660	△235,978
水道光熱費	589,424	556,815	32,609
賃借料	2,081,138	2,094,347	△13,209
使用料	234,400	133,300	101,100
保険料	260,570	130,500	130,070
報償費	9,993,100	10,679,075	△685,975
諸謝金	863,900	1,334,700	△470,800
租税公課	956,400	833,900	122,500
支払負担金	694,877	678,334	16,543

# 正味財産増減計算書

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託費	1,122,000	583,000	539,000
支払手数料	151,226	137,518	13,708
管理費			
給料手当	204,094	201,967	2,127
賃金	458,177	533,376	△75,199
賞与引当金繰入額	29,009	30,536	△1,527
法定福利費	120,006	126,394	△6,388
福利厚生費	23,778	23,699	79
会議費	2,000	1,024	976
旅費交通費	43,381	40,211	3,170
通信運搬費	45,670	29,466	16,204
消耗品費	25,599	22,000	3,599
修繕費	28,600	37,675	△9,075
印刷製本費	25,853	16,860	8,993
水道光熱費	65,492	61,868	3,624
賃借料	402,886	404,353	△1,467
諸謝金	291,100	288,800	2,300
租税公課	0	600	△600
支払負担金	671,797	670,865	932
支払手数料	95,458	84,879	10,579
経常費用計	44,051,468	44,909,802	△858,334
当期経常増減額	△12,236,539	△10,721,901	△1,514,638
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△12,236,539	△10,721,901	△1,514,638
一般正味財産期首残高	14,194,980	24,916,881	△10,721,901
一般正味財産期末残高	1,958,441	14,194,980	△12,236,539
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	394,392	403,438	△9,046
受取補助金等			
受取民間助成金	500,000	0	500,000
一般正味財産への振替	△713,455	△403,438	△310,017
当期指定正味財産増減額	180,937	0	180,937
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,180,937	200,000,000	180,937
III 正味財産期末残高	202,139,378	214,194,980	△12,055,602

# 正味財産増減計算書内訳表

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益			
基本財産受取利息	0	394,392	394,392
事業収益			
語学教室事業収益	17,684,193	0	17,684,193
受託事業収益	2,504,480	0	2,504,480
その他の事業収益	321,200	0	321,200
受取会費			
受取賛助会員会費	622,000	622,000	1,244,000
受取補助金等			
受取吹田市補助金	8,000,000	0	8,000,000
受取民間助成金	319,063	0	319,063
受取国庫助成金	560,228	0	560,228
受取負担金			
受取負担金	225,000	0	225,000
受取寄付金			
受取寄付金	41,994	0	41,994
雑収益			
受取利息	0	237	237
雑収益	520,142	0	520,142
経常収益計	30,798,300	1,016,629	31,814,929
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	3,877,774	0	3,877,774
賃金	8,673,185	0	8,673,185
臨時雇賃金	5,784,694	0	5,784,694
賞与引当金繰入額	451,174	0	451,174
法定福利費	2,279,703	0	2,279,703
福利厚生費	561,996	0	561,996
旅費交通費	1,123,802	0	1,123,802
通信運搬費	678,624	0	678,624
消耗什器備品費	20,460	0	20,460
消耗品費	495,039	0	495,039
修繕費	114,400	0	114,400
印刷製本費	510,682	0	510,682
水道光熱費	589,424	0	589,424
賃借料	2,081,138	0	2,081,138
使用料	234,400	0	234,400
保険料	260,570	0	260,570
報償費	9,993,100	0	9,993,100
諸謝金	863,900	0	863,900
租税公課	956,400	0	956,400
支払負担金	694,877	0	694,877
委託費	1,122,000	0	1,122,000
支払手数料	151,226	0	151,226

# 正味財産増減計算書内訳表

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
管理費			
給料手当	0	204,094	204,094
賃金	0	458,177	458,177
賞与引当金繰入額	0	29,009	29,009
法定福利費	0	120,006	120,006
福利厚生費	0	23,778	23,778
会議費	0	2,000	2,000
旅費交通費	0	43,381	43,381
通信運搬費	0	45,670	45,670
消耗品費	0	25,599	25,599
修繕費	0	28,600	28,600
印刷製本費	0	25,853	25,853
水道光熱費	0	65,492	65,492
賃借料	0	402,886	402,886
諸謝金	0	291,100	291,100
支払負担金	0	671,797	671,797
支払手数料	0	95,458	95,458
経常費用計	41,518,568	2,532,900	44,051,468
当期経常増減額	△10,720,268	△1,516,271	△12,236,539
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△10,720,268	△1,516,271	△12,236,539
一般正味財産期首残高	—	—	14,194,980
一般正味財産期末残高	—	—	1,958,441
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	394,392	394,392
受取補助金等			
受取民間助成金	500,000		500,000
一般正味財産への振替	△319,063	△394,392	△713,455
当期指定正味財産増減額	180,937	0	180,937
指定正味財産期首残高	—	—	200,000,000
指定正味財産期末残高	—	—	200,180,937
III 正味財産期末残高	—	—	202,139,378

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

公益法人会計基準(平成 20 年 4 月 11 日、平成 21 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券(基本財産)・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	199,667,061	38,392		199,705,453
定期預金	332,939		38,392	294,547
小計	200,000,000	38,392	38,392	200,000,000
特定資産				
民間助成金事業積立資産		500,000	319,063	180,937
小計	0	500,000	319,063	180,937
合計	200,000,000	538,392	357,455	200,187,937

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	199,705,453	(199,705,453)	(0)	—
定期預金	294,547	(294,547)	(0)	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	—
特定資産				
民間助成金事業積立資産	180,937	(180,937)	(0)	—
小 計	180,937	(180,937)	(0)	(0)
合 計	200,180,937	(200,180,937)	(0)	(0)

### 4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第455回大阪府公募公債	99,729,504	98,902,100	△827,404
第14回北海道公募公債	99,975,949	100,681,700	705,751
合 計	199,705,453	199,583,800	△121,653

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
吹田市国際交流協会事業補助金	吹田市	0	8,000,000	8,000,000	0	—
多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業	宗教法人真如苑	0	500,000	319,063	180,937	指定正味財産
緊急雇用安定助成金	大阪労働局	0	560,228	560,228	0	—
合 計		0	9,060,228	8,879,291	180,937	—

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	394,392
民間助成金	319,063
事業積立資産取崩額	
合 計	713,455

7 その他

(1) 退職給付関係

中小企業退職金共済制度を採用している。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	199,667,061	38,392		199,705,453
	定期預金	332,939		38,392	294,547
	基本財産計	200,000,000	38,392	38,392	200,000,000
特定資産	民間助成金事業積立資産		500,000	319,063	180,937
	特定資産計		500,000	319,063	180,937

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	850,518	480,183	850,518	0	480,183

## 財産目録

令和4年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
( 流動資産 )	現金預金	普通預金			
		りそな銀行・千里支店	運転資金として	7,183,473	
		池田泉州銀行・南千里支店	運転資金として	219,768	
		ゆうちょ銀行	振替口座として	2,404,346	
		りそな銀行・千里支店	預り金として	296,431	
		定期預金			
		りそな銀行・千里支店	運転資金として	1,800,000	
	池田泉州銀行・南千里支店	運転資金として	3,000,000		
	未収金	事業費に係る未収額	AIG保険令和3年度保険料精算未収額等	82,000	
	前払金	事業費に係る前払額	ボランティア活動支援、コミュニティ通訳同行事業等に係る前払額	28,749	
流動資産合計			15,014,767		
( 固定資産 )	基本財産	投資有価証券	第455回 大阪府公募公債		
			野村証券・梅田支店	運用益を管理費の財源として使用	99,729,504
			第14回北海道公募公債		
			野村証券・梅田支店	運用益を管理費の財源として使用	99,975,949
	定期預金				
		りそな銀行・千里支店	運用益を管理費の財源として使用	294,547	
基本資産合計			200,000,000		
特定資産					
	民間助成金事業積立資産	普通預金りそな銀行千里支店	受取民間助成金(防災事業)(宗教法人真如苑)	180,937	
特定資産合計			180,937		
固定資産合計			200,180,937		
資産合計			215,195,704		
( 流動負債 )	未払金	事業費、管理費に係る未払額	令和4年3月分語学教室講師料、令和3年度消費税等	4,594,062	
		前受金	事業費に係る前受額	令和4年度 語学教室受講料、賛助会費	7,685,650
		預り金	健康保険料、厚生年金保険料	職員の給与に係る健康保険料、厚生年金保険料	296,431
		賞与引当金	職員に対するもの	職員に対する夏期手当の支払いに備えたもの	480,183
		流動負債合計			13,056,326
負債合計			13,056,326		
正味財産			202,139,378		

## 監査報告書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

理事長 近藤 佐知彦 殿

作成日 令和4年4月27日

事務所 大阪市北区天神橋2-5-25  
若杉グランドビル本館5F

公認会計士

佃 隆

### 1. 監査の概要

私は、公益財団法人吹田市国際交流協会の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日）における会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について監査を行った。

### 2. 監査の意見

監査の結果、貴法人の採用する会計処理の原則及び手続きは、公益法人会計基準に準拠し、かつ前事業年度と同一の基準に従って継続して適用されており、また計算書類の表示方法も適正に表示されていた。

よって私は、上記の計算書類が公益財団法人吹田市国際交流協会の正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産の状態を正しく表示しているものと認める。

### 3. 利害関係

公益財団法人吹田市国際交流協会と私との間には、公認会計士法上記載すべき利害関係はありません。

以上

## 監査報告書

令和4年4月28日

公益財団法人 吹田市国際交流協会  
理事長 近藤 佐知彦 殿

監事 大枝 正人

監事 瀬川 昇

私は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上



報告第6号

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和4年5月26日

吹田市長 後藤圭二

(1)

令和4年度事業計画の実施にあたっては、地域における新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によって、事業を部分的に停止又は、インターネットの活用等によるweb会議及びリモート対応等の手段や方法等を検討し、実施可能なものを適切に行います。

## 1 介護老人保健施設事業

吹田市から指定管理者として委任を受けた事業として、施設サービス（長期入所）、短期入所療養介護及び通所リハビリテーション並びに訪問リハビリテーションの居宅サービス（介護予防サービスを含む。）を行います。また、これら事業に付随する介護保険に関する事業も行います。

### （1）基本方針

吹田市介護老人保健施設の基本理念のもと、次の目標を掲げ、利用者に心のこもった温かい看護・介護、一人ひとりの状態にあわせた機能訓練等を行い、在宅復帰・在宅生活を支援します。

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>一、利用者の意思、人格を尊重し、自立した生活を営むことができるよう支援します。</li> <li>一、利用者の身体能力、精神能力を高めるようなケア、リハビリに積極的に取り組みます。</li> <li>一、利用者の視点に立ったサービスに努め、地域に開かれた施設を目指します。</li> </ul>
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>一、利用者の課題とニーズを的確に捉え、ケアプランの充実を図り、きめ細かい良質なサービスの提供を行います。</li> <li>一、在宅復帰率の更なる向上を目指します。</li> <li>一、地域の介護保険事業者やボランティア等との連携強化に努め、地域包括ケアシステムの一翼を担い、在宅生活支援の充実を図ります。</li> </ul>

### （2）事業種別

次に掲げる事業を行います。

事業種別	内 容
施設サービス (長期入所)	利用者個々の心身の状態に応じた施設サービス計画に基づき、入所者の要介護状態の軽減又は悪化防止に資するよう、医師・看護師・介護職員・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・介護支援専門員・支援相談員が、日常生活全般の看護・介護やリハビリテーション・その他必要な医療等を行い、在宅復帰に向けて支援します。
短期入所療養介護 (介護予防サービスを含む)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者の介護者が冠婚葬祭や介護疲れ等で一時的に介護ができなくなった場合に、居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく期間の入所受入れにより支援します。
通所リハビリテーション (介護予防サービスを含む)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者が自立した日常生活を営むことができるよう、居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく機能訓練、入浴、食事、レクリエーション等を行い、心身機能の維持・回復を図ります。

事業種別	内 容
訪問リハビリテーション (介護予防サービスを含む)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、理学療法、作業療法及びその他必要なリハビリテーションを居宅への訪問によって行い、利用者の心身の機能の維持・回復を図ります。
要介護認定調査	市区町村からの委託による要介護等認定に必要な認定調査を行います。
主治医意見書作成	要介護等認定の申請に必要な主治医意見書を作成します。
介護認定審査会への参画	吹田市の介護認定審査会に職員を派遣します。

### (3) 重点項目

項 目	内 容
新型コロナウイルス感染症の感染防止策の徹底	利用者の重症化リスクやクラスター発生が危惧されていることから、基本的な感染症予防対策（3密を避ける、手指及び環境消毒の実施等）の徹底を図り、万が一、クラスターが発生した場合に備えたゾーニングや適切な対応を行えるよう実地訓練を実施します。 また、利用者及びその御家族には、面会の制限や日々の検温実施等の協力をお願いし、職員にあっては気の緩みの出ないよう定期的な指導・研修を行い、施設内でクラスターが発生することのないように努め、必要なワクチン接種についても積極的に実施します。
在宅復帰施設としての役割	介護保険制度における介護老人保健施設の役割は、積極的なリハビリテーション、適切な医療、心のこもった介護、適切な食事の提供等により、住み慣れた地域への在宅復帰を果たすこととされています。このため、脳卒中、生活不活発病（廃用症候群）、認知症等による個々の状態を的確にアセスメントし、多職種からなるチームケアを行うことで、早期に在宅復帰できるように努め、在宅復帰率60%以上を目指します。
在宅生活支援の充実	自立した在宅生活を送ることができるよう、利用者に対して良質できめ細かなサービスを提供し、他の介護・福祉サービス機関とも連携を図りながら総合的に在宅生活への支援を行います。 短期入所の利用を促進し、御家族等の介護負担の軽減に努めます。 訪問リハビリテーションを活用し、通所困難な要介護者や要支援者に対して、医師の指示に基づき、理学療法士又は作業療法士が自宅を訪問し、必要なリハビリテーションを実施することで、心身機能の維持・回復を図り、自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

項 目	内 容
支援困難者の受入れ態勢等	<p>尿道留置カテーテル、喀痰吸引等の医療的ケアを必要とする方や、病状がやや不安定で入退院を繰り返すおそれのある方、多種の内服薬を服用されている方等については、介護老人保健施設では敬遠されがちなケースではありますが、入所者の状況に応じて可能な限り受入れを行います。</p> <p>医師の指示のもと、専門的知識を持った看護師や経験豊かな介護職員による適切なケアを行い、緊急時には市立吹田市民病院との連携で、安心した施設生活が送れるように努めます。また、養護者の無い利用者の受入れについても、成年後見人制度等の活用や行政・保健・医療・福祉機関との連携を図る等、公的施設の役割を十分果たせるよう努めます。</p>
医療機関との連携強化	<p>要介護状態にある利用者には、急変時対応や専門医による診察等、医療との連携は不可欠なものです。このため、市立吹田市民病院をはじめ、近隣の医療機関との連携強化を図り、利用者が安心して入所生活を送ることができるよう努めます。</p>
認知症高齢者に対するケアの充実	<p>認知症高齢者は、入所による環境変化に対応できず不安定になる方も多く、対人交流や生活リズムを整えるよう、健康管理、口腔ケア、ボディケア、食事、排せつ、趣味活動の提供等を積極的に行い、その人らしい生活や残存機能を活かした介護を行います。併せて、理学療法士、作業療法士による認知症に対するリハビリテーションを実施することにより、安定した施設生活を送ることができるよう支援します。</p> <p>また、認知症施策推進大綱（令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定）が策定され、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪とする施策が推進されます。施設では、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進、認知症予防等を積極的に行います。</p>
地域との連携	<p>介護老人保健施設は、在宅復帰を目的とする施設であり、地域との結び付きは重要です。このため、吹田市における地域ケア会議や自立支援型ケアマネジメント会議等に参画し、地域のニーズを的確に把握することで、本施設におけるサービス内容の充実を図り、地域包括ケアシステムの一翼を担います。</p> <p>また、多くのボランティアの方々には、様々な分野で継続した活動ができるよう積極的に支援します。近隣の幼稚園児や保育園児との交流、中学生による職業体験学習の受入れ、介護相談員との意見交換等を行う中で地域に開かれた施設づくりを目指します。</p>

項 目	内 容
地域との連携	当施設職員を各種団体が主催する講座等に講師として派遣し、高齢者介護に関する見識の向上を図り、高齢者介護等に関する知識及び技術の普及啓発に努めます。
地域への貢献	介護老人保健施設の運営にあたっては、地域への貢献を求められていることから、次の取り組みを行います。 (ア) 認知症カフェの開催 (月 1 回) (イ) 回想法ボランティアの養成と活動支援 (年 1 回) (ウ) 住民と大和大学学生との地域交流回想法の開催 (月 1 回) (エ) 認知症予防等に関する出前講座の開催 (年 5 回) (オ) 認知症サポーターで構成するチームオレンジへの活動支援 (カ) 百歳体操の活動支援 (週 1 回) (キ) 介護福祉士実務者研修への協力 (ク) 周辺道路や片山北ふれあい公園の清掃 (毎週水曜日) (ケ) その他、地域への貢献となる事業の実施
経営の安定化	指定管理者として適切な運営をするためには、サービスの質の向上を図り、かつ、収支状況の安定化を図ることが不可欠です。効率的で適正な事業運営ができるよう、より良い施設づくりに努めます。

#### (4) 具体的な取組

##### ア 計画利用者数

入所者数 (短期入所を含む)	1 日当たり平均 9 2 人以上
通所リハビリテーション利用者数	(月曜日から土曜日) 1 日当たり平均 3 2 人以上 (日曜日) 1 日当たり平均 1 2 人以上
訪問リハビリテーション利用者数	1 日 1 人以上

##### イ 職員配置と勤務形態の適正化

①	国の基準で定められている人員配置を基本とし、常勤職員、非常勤職員、臨時雇用員等による適正な人員配置に努めます。
②	福祉に関わる人材不足の問題がある中、様々な方法により、適切に人材を確保できるように努めます。

##### ウ 支援相談体制の強化

①	吹田市、市立吹田市民病院等の医療機関、居宅介護支援事業所、他の介護保険施設及び地域包括支援センター等との連携を強化し、介護等のサービス調整を円滑に行います。
②	在宅復帰超強化型施設を維持することとし、居宅におけるケアマネジャー等との連携強化、入所者及びその御家族との懇談会の開催等を図り、円滑に在宅復帰を促すことができるよう積極的に支援します。
③	施設利用に関する情報の開示に努めます。
④	入所前利用面接を利用希望者の居宅や入院中の医療機関等で行うことにより、利用希望者及びその御家族の負担軽減を図り、速やかに入所していただけるよう努めます。

(5)

⑤	虐待等がありレスパイト目的での入所利用について、市町村や介護支援専門員との連携のもとで積極的な受入れに努めます。
---	--

エ 看護、介護のサービス向上（入所）

①	利用者の心身の健康管理に努め、疾病の急性増悪や異常の早期発見を図り、必要な医療を行い、市立吹田市民病院や他の近隣医療機関との連携を図り迅速な対応に努めます。
②	吹田市歯科医師会と連携し、訪問口腔ケアを推進するとともに、嚥下体操や口腔ケアを積極的に行い、摂食、嚥下機能の向上に努めます。
③	誤嚥性肺炎を繰り返される利用者に対しては、必要に応じて歯科や耳鼻科との連携を図り嚥下評価等を行い、食事形態及び摂食方法の指導を実施する等、積極的にリスクの軽減に努めます。
④	全ての生活動作を訓練とする「生活リハビリ」を推進し、日常生活機能の維持・向上を図り、在宅復帰を目指します。
⑤	入所者・御家族を対象に排せつ支援や在宅生活を支援するための講座を開催し、円滑な在宅復帰に努めます。
⑥	排せつに介護を要する入所者に対して、必要に応じた適切な介護を行っていますが、特に排せつの状態に改善又は悪化防止が見込まれる方に対しては、特別な支援を行います。
⑦	医療ニーズの高い利用者と療養ニーズの高い利用者との住み分けを促進し、利用者個々に応じたケアを提供できるように努めます。
⑧	利用者の意思を尊重しながら、レクリエーション、クラブ活動及び行事への参加を促進し、内容の充実を図るとともに、個別ケアを推進し、生活の質の向上に努めます。
⑨	利用者一人ひとりに応じた目標と支援計画を策定し、課題の把握と援助の方法について職員間での周知を図り、適切なチームケアを行います。
⑩	認知症利用者の精神的、身体的な状況を理解し、他の利用者との良い関係作りを図ることや落ち着ける空間、居心地の良い環境を整えることにより、安心した入所生活を送れるよう支援します。
⑪	リスクマネジメントを充実させ、転倒等による骨折の予防に努めることで、生活不活発病（廃用症候群）の減少を図ります。
⑫	体圧分散マットの活用や細かな体位交換の実施等により、褥瘡の発生予防に努めます。
⑬	身体拘束は、原則として行いません。ただし、緊急・やむを得ない場合は、十分に検討を行い、御家族に説明し、同意を得た場合のみ実施します。
⑭	寄せられた苦情や要望に対しては、誠意を持って迅速に対応します。
⑮	常日頃より安全に配慮し、インフルエンザやノロウイルス等の感染症予防対策に努め、感染者が発生した場合には施設内での感染拡大を抑制し、重篤化を防ぐため様々な手段を講じます。
⑯	90歳以上の利用者も多数おられ、加齢とともに食事摂取量の減退等がみられる方が増加しています。このようなケースに対して御本人と御家族の希望を聴取し、適切なアセスメントを行ったうえで、看取り可能と判断した場合には施設での看取りを実施します。

オ 看護、介護のサービス向上（通所）

①	利用者及びその御家族並びに居宅におけるケアマネジャー等と施設の医師、看護師、介護職員、理学・作業療法士等によって開催するリハビリテーション会議によって、日常生活動作等の課題を的確に把握し、具体的なリハビリテーション計画の策定を行い、サービス提供を行います。
②	短時間での利用によりリハビリテーションのみを重点的に行うことを希望される方に対しては、2時間から3時間程度の利用を積極的に推進し、利用促進に努めます。
③	利用者個々に応じたクラブ活動や趣味活動を積極的に行い、行事の充実を図ります。
④	利用者個々の心身の状態に応じて、食事、入浴、排せつ等の必要な援助を行い、残存機能の維持・向上に努めます。また、屋外散歩や集団体操等にも積極的に参加できるよう支援し、リハビリスタッフによる専門的な機能訓練だけではなく、看護・介護職員においても生活リハビリを行います。
⑤	口腔ケアの充実を図り、嚥下体操の実施等を積極的に行います。
⑥	御家族や居宅介護支援事業者、他の介護保険サービス事業者と積極的に連携を図り、利用者の健康管理や自立した在宅生活を支援します。特に、健康や家族状況等の変化には、居宅介護支援事業者との迅速な情報交換により、早期対応に努めます。
⑦	介護予防に該当する利用者については、利用者自らが継続した健康管理を行い、身体機能の維持・向上が図れるよう、多職種協働で積極的に支援します。また、地域包括支援センター等との協力体制をより一層深めます。
⑧	安全に配慮した環境を整え、安心して過ごせる生活空間づくりに努めます。また、利用者とともに季節を感じられるような飾り付けを行い、明るく楽しい雰囲気作りにも努めます。
⑨	入所部門と通所部門の連携を強化し、利用者の急変に備える等、緊急時における対応の充実を図ります。また、市立吹田市民病院や他の近隣医療機関との連携を図り、迅速な対応に努めます。
⑩	毎月10日、20日、30日には桃の湯やよもぎの湯といった季節の湯を取り入れ、入浴を楽しんでいただきます。

カ リハビリテーション機能の充実

①	医師、看護師、介護職員等との連携を図り、入所者、通所者それぞれ個別に作成されるリハビリテーション計画書に基づき、週3回の個別訓練と必要に応じた集団訓練を実施します。
②	入所日から3か月間は週3回以上の個別訓練を行う短期集中リハビリテーションを積極的に実施します。
③	入所における認知症高齢者に対しては、入所日から3か月間、認知症短期集中リハビリテーションを積極的に実施します。また、知的活性化訓練として、小集団活動を用いた回想法、園芸療法、調理療法等も併せて行います。
④	通所利用者に対しては、利用開始から3か月間は、積極的なリハビリテーションの必要な方に対し、短期集中リハビリテーション及び認知症短期集中リハビリテーションを実施します。

⑤	在宅復帰が円滑にできるよう、入所時、退所前・後訪問を実施し、居宅ケアマネジャーとの連携を図り生活環境の整備等を行います。
⑥	通所利用開始時から 1 か月以内に訪問指導を行い、在宅生活の状況を把握することでリハビリテーションの目標を明確にし、継続した在宅支援を実施します。また、必要なりハビリテーションを行い、利用者の社会参加等も支援します。
⑦	訪問リハビリテーション利用者に対しては、その者の自宅において必要な検査、リハビリテーションを実施し、心身機能の維持・回復を図ります。
⑧	要支援高齢者に対して、地域包括支援センターとの連携を図りながら、機能向上を目的とした訓練を実施します。

キ 食事提供体制の強化

①	ミキサー、刻み、あんかけ等、摂取しやすい食事形態により、嚥下困難者に対してきめ細かな対応を行います。また、可能な限り利用者への個別対応を行います。
②	低栄養状態にある方や体重減少がみられる方に対して、主食量の増量、摂取量を増やすよう嗜好を考慮した対応、効率よく栄養補給できるものの提供等、栄養ケアの充実を図ります。
③	発熱等の体調不良により、食欲が一時的に低下し通常の献立内容では対応できない方に対しては、高栄養で摂取しやすいもの（回復食）を提供します。
④	にぎり寿司やお好み焼き等の実演を伴ったイベント食や行事食等の充実を図ります。
⑤	適時、適温で提供するよう徹底します。
⑥	調理クラブでは季節感のあるものや栄養知識が身に付く簡単なメニューを取り入れる等、内容を充実します。

(5) 行事計画

次の行事を実施します。

実施月	行事名
4月	演芸会
5月	菖蒲湯
6月	開設記念行事
7月	七夕
9月	吹老祭
10月	文化展
11月	文化展
12月	もちつき ゆず湯 クリスマス
1月	新年会
2月	節分
3月	ひな祭り

(6) 地域との交流

項 目	内 容
各種市民団体、行政機関等主催の見学会等の受入れ	地区福祉委員、民生委員等の市民団体、他市町村、他の介護保険事業所等からの見学を積極的に受け入れます。
中学校生徒の介護体験・ボランティアの受入れ	近隣地域の中学校生徒の介護体験ボランティアを1回につき2日間程度の期間で受入れを行います。
幼稚園・保育園児との交流	近隣幼稚園や保育園の園児とゲームや歌、体操などのレクリエーションを通じて交流を図ります。
ボランティアの受入れ	レクリエーション、行事、コーラスクラブなどのクラブ活動に対する各種団体ボランティアの受入れを行い、また、高齢者福祉に関心のある方や介護支援サポーター等の個人ボランティアの受入れも積極的に行い、きめ細かいサービスが提供できるように努めます。
介護相談員の受入れ	月2回程度、介護相談員の受入れを行い、サービス向上に資するよう努めます。

2 その他の事業

定款第4条に掲げる次の事業を積極的に行います。

(1) 高齢者等の保健、医療に関する調査研究事業

項 目	内 容
施設内研修	施設職員による勉強会や外部講師を招いた研修会を月例で開催し、知識の蓄積と技術の習得によって更なる資質向上に努めます。
外部研修	全国老人保健施設協会、大阪介護老人保健施設協会、その他専門学会等が開催する研修会等に職員を派遣し、職員の資質向上を図ります。 研修に参加した職員は、他の職員に対して伝達研修を実施し、知識・技術の習得によって、より良質なサービス提供ができるように努めます。

(2) 高齢者等の保健、福祉に関する事業

項 目	内 容
地域における新型コロナウイルス感染症への対応	介護者が陽性となり介護者不在となった要介護高齢者に対して必要なケアを実施するため、吹田市及び吹田市介護事業者連絡会と協力し、適切なサービスが提供できるよう相談窓口となってサービス調整を行い、支援します。
ボランティア研修会	施設で活動されているボランティアに対する研修会及びボランティア相互や施設職員との意見交換会を行い、ボランティア活動を支援します。
地域支援講座	近隣地域の高齢者等を対象として、回想法を取り入れた講座を地区公民館等と共催して開催することで、介護予防、閉じこもり予防につながるよう支援します。

項 目	内 容
認知症支援啓発事業の実施	ボランティア団体等が主体となる事業に協力して、市民を対象にした認知症予防などの講座開催、施設や地域で活動していただける回想法ボランティアの養成講座やキャラバンメイト活動として認知症サポーター養成講座の実施等、認知症の予防や支援活動に積極的に協力します。
認知症カフェの開催	認知症高齢者及びその御家族に対し、活動できる場の提供や介護相談等の支援を行います。また、片山・岸部ブロック介護者支援の会で開催する認知症カフェにも協力します。
地域交流回想法の開催	本施設で養成した回想法ボランティアの地域活動として、近隣地区在住の高齢者を対象とし、大和大学学生の協力を得て、参加者同士・世代間交流を目的とした、地域交流回想法を開催します。
百歳体操の実施	近隣地域の住民と共催して百歳体操を実施します。

### (3) 施設での教育・実習事業

実習生・介護職員初任者研修受講者等を受入れ、看護、介護、機能訓練等の専門職員による知識、技能の習得等を行い、人材育成のための指導を行います。

項 目	学校名
看護実習	大阪府立大学 千里金蘭大学 梅花大学
理学療法士実習	大阪保健医療大学 大和大学
作業療法士実習	大阪府立大学 大和大学
介護福祉士実習	大阪人間科学大学
社会福祉体験	大阪歯科大学
介護職員初任者研修のための介護実習	新大阪歯科衛生士専門学校

### (4) その他の事業

その他の事業として、次に掲げる事業を行います。

①	自助具、補装具等の展示販売事業
②	インフルエンザワクチン予防接種
③	肺炎球菌ワクチン予防接種
④	新型コロナワクチン予防接種
⑤	その他、理事長が必要と認める事業

令和4年度（2022年度） 収入支出の予算

令和4年度 収入支出予算は、次に定めるところによる。

（収入支出の予算）

第1条 収入支出予算は、収入574,002,416円、支出の部573,836,892円と定める。

2 収入支出の予算の勘定科目の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表 収入支出の予算」による。

第1表 収入支出の予算

## 収 支 予 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	400,000	800,000	△ 400,000
基本財産受取利息	400,000	800,000	△ 400,000
特定資産運用益	0	350,000	△ 350,000
特定資産受取利息	0	350,000	△ 350,000
事業収益	573,482,416	568,491,143	4,991,273
介護老人保健施設収益	442,889,465	438,616,526	4,272,939
短期入所療養介護収益	24,471,490	24,278,587	192,903
通所リハビリテーション収益	103,302,513	102,772,732	529,781
訪問リハビリテーション収益	2,264,948	2,269,298	△ 4,350
自主事業収益	554,000	554,000	0
受取補助金等	10,000	10,000	0
受取補助金等	10,000	10,000	0
受取寄付金	10,000	10,000	0
受取寄付金	10,000	10,000	0
雑収益	100,000	100,000	0
受取利息	10,000	10,000	0
雑収益	90,000	90,000	0
経常収益計	574,002,416	569,761,143	4,241,273
(2) 経常費用			
事業費	572,737,492	562,346,397	10,391,095
常勤役員報酬	11,949,000	11,949,000	0
給料手当	211,679,026	196,595,694	15,083,332
非常勤職員報酬	6,360,755	8,972,920	△ 2,612,165
臨時雇賃金	74,357,332	84,931,162	△ 10,573,830
賞与引当金繰入額	16,188,757	15,837,709	351,048
退職給付費用	13,058,874	13,980,854	△ 921,980
法定福利費	46,676,656	45,076,890	1,599,766
福利厚生費	1,737,000	1,703,400	33,600
旅費	148,000	148,000	0
会議費	10,000	10,000	0
通信運搬費	1,182,881	1,141,763	41,118
消耗什器備品費	400,000	500,000	△ 100,000
消耗品費	19,543,095	20,074,527	△ 531,432
販売物品仕入費	100,000	100,000	0
委託費	109,711,241	107,755,803	1,955,438
修繕費	1,000,000	1,000,000	0
印刷製本費	396,000	396,000	0
燃料費	1,452,000	1,452,000	0
光熱水費	41,184,000	34,056,000	7,128,000

(12)

賃借料	7,262,225	7,255,625	6,600
手数料	1,111,000	1,111,000	0
保険料	679,550	679,550	0
負担金	368,000	368,000	0
交通費	0	1,056,000	△ 1,056,000
研修費	289,600	339,600	△ 50,000
広告料	50,000	200,000	△ 150,000
減価償却費	0	12,400	△ 12,400
租税公課	442,500	442,500	0
寄付金	5,400,000	5,200,000	200,000
管理費	1,099,400	1,208,600	△ 109,200
役員等報酬	380,400	489,600	△ 109,200
福利厚生費	50,000	50,000	0
会議費	20,000	20,000	0
委託費	519,000	519,000	0
広告料	20,000	20,000	0
租税公課	100,000	100,000	0
雑費	10,000	10,000	0
経常費用計	573,836,892	563,554,997	10,281,895
評価損益等調整前当期経常増減額	165,524	6,206,146	△ 6,040,622
当期経常増減額	165,524	6,206,146	△ 6,040,622
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	165,524	6,206,146	△ 6,040,622
一般正味財産期首残高	126,419,800	120,213,654	6,206,146
一般正味財産期末残高	126,585,324	126,419,800	165,524
II 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	126,585,324	126,419,800	165,524

令和3年度（2021年度）一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団事業報告

1 介護老人保健施設事業

吹田市から指定管理者として委任を受けた事業として、施設サービス（長期入所）、短期入所療養介護、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の事業を行いました。

(1) 施設サービス（長期入所）

利用者個々の心身の状態に応じた施設サービス計画に基づき、入所者の要介護状態の軽減又は悪化防止に資するよう、医師・看護師・介護職員・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・介護支援専門員・支援相談員等は、日常生活全般の看護・介護やリハビリテーション・その他必要な医療を行い、また、季節を感じさせる行事等を行いました。

ア 入退所等の状況

区 分	令和3年度	令和2年度
入所者数	117人	97人
退所者数	116人	101人
延べ在所者数	30,950人	30,990人
平均在所日数	236.5日	229.7日
1日平均在所者数	84.8人	84.9人
平均要介護度	2.84	2.71

イ 退所者の状況

退 所 先	令和3年度		令和2年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
家庭	45	38.8	37	36.6
医療機関	52	44.8	42	41.6
介護老人保健施設	0	0.0	1	1.0
特別養護老人ホーム	14	12.1	8	7.9
その他	3	2.6	4	4.0
死亡（看取り含む）	2	1.7	9	8.9
合計	116	100.0	101	100.0

ウ 介護報酬算定要件における在宅復帰の状況

月	退所者数(人)	うち在宅退所者数(人)	在宅復帰率(%)
4月	11	7	63.6
5月	4	2	50.0
6月	7	3	42.9
7月	7	3	42.9
8月	10	2	20.0
9月	8	2	25.0
10月	15	3	20.0
11月	8	1	12.5
12月	15	4	26.7
1月	12	2	16.7
2月	4	1	25.0
3月	12	1	8.3
合計	113	31	27.4

(14)

※退所者数には死亡及び入院後7日以内に再入所した退所者は含みません。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により在宅復帰率に低下がみられますが、入退所の一部制限措置の届け出を行っているため、在宅復帰超強化型施設の取扱いは継続しています。

エ 特別なケアを要する利用者数

項目	人数(人)
膀胱留置カテーテル	8
喀痰吸引	3
胃瘻	1

オ 所定疾患施設療養費の算定状況

病名	件数(件)	治療日数(日)	処置内容
尿路感染症	28	129	血液・尿検査、抗生剤(点滴・内服)投与、点滴による水分補給)

カ 個別対応のリハビリテーション実施状況

項目	実施実人数(人)	実施延べ人数(人)	内容
短期集中リハビリテーション	75	3,008	入所日から起算して3月以内に集中的なリハビリテーションを実施
認知症短期集中リハビリテーション	24	561	認知症である方に対し、入所日から起算して3月以内に集中的なリハビリテーションを実施

キ 訪問等実施状況

項目	実施件数(件)	内容
入所前後訪問	0	入所前後に居宅を訪問し、施設サービス計画の策定及び診療方針の決定にあたり、生活機能の具体的な改善目標を定めるとともに退所後の生活に係る支援計画を策定
退所前後訪問	6	退所後に生活する居宅を訪問し、療養上の指導を行う
退所前連携	36	居宅支援事業者と連携して退所後の居宅サービス等の利用調整を行う

ク 看取りに関する加算の算定状況

加算名	件数(件)
ターミナルケア加算	2

ケ イベント食の実施状況

月	内容
4月	にぎり寿司、和菓子(桜の花)
5月	にぎり寿司、和菓子(柏餅風生和菓子・赤のカーネーション)
6月	松花堂弁当(赤飯・てんぷら等)、和菓子(黄のバラ)
7月	七夕そうめん、うなぎ丼、和菓子(願いの星)
8月	和菓子(夏空の花)
9月	松花堂弁当(赤飯・和菓子等)、月見膳、栗ご飯、和菓子(満月のうさぎ)

月	内 容
10月	にぎり寿司、和菓子（かぼちゃランタン）
11月	にぎり寿司、和菓子（和風モンブラン）
12月	南瓜いところ煮、クリスマスメニュー、年越しそば、ぜんざい、イチゴケーキ、和菓子（サンタ饅頭、冬柚香）
1月	お雑煮、松花堂弁当（赤飯・和菓子等）、七草粥、小豆粥、ちらし寿司
2月	巻き寿司、和菓子（梅うぐいす・バレンタインハート）、ぜんざい
3月	ちらし寿司、和菓子（男雛・女雛）、おはぎ

コ 全体行事实施状況（入所、通所フロア別 小規模実施）

実施月	行 事 名
4月	春の演芸会
7月	開設記念行事
9月	お楽しみ会（吹老祭）
12月	もちつき大会

サ 入所者の御家族支援

新型コロナウイルス感染症により面会制限を実施していることから、面会の機会が大幅に減少し、生活状況を御覧いただけないため、入所者様の普段の様子を写真に収めたお便りを送りました。

シ 施設管理関係

- (ア) 介護老人保健施設事業功労者として1名が厚生労働大臣表彰を受賞しました。
- (イ) 大阪介護老人保健施設協会から2名が20年永年勤続表彰を受賞しました。

(2) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

介護者が冠婚葬祭や介護疲れ等で介護ができなくなった場合に、居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく期間の受入れを行いました。

ア 入退所等の状況

(ア) 短期入所療養介護

区 分	令和3年度	令和2年度
利用者数	207人	151人
延べ在所者数	1,173人	974人
平均在所日数	5.6日	6.5日
1日平均在所者数	3.2人	2.7人
平均要介護度	2.69	2.67

(イ) 介護予防短期入所療養介護

区 分	令和3年度	令和2年度
利用者数	0人	2人
延べ在所者数	0人	22人
平均在所日数	0日	11日
1日平均在所者数	0人	0.06人

イ 個別対応のリハビリテーション実施状況

項目	実施実人数 (人)	実施延べ人数 (人)	内容
個別リハビリテーション	43	437	個別リハビリテーション計画に基づき、リハビリテーションを実施

(3) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づき、機能訓練、入浴、食事、レクリエーション等を行い、心身機能の維持回復を図りました。

ア 利用の状況

区分	令和3年度	令和2年度
実利用者数	110人	125人
延べ利用者数 (うち介護予防)	6,135人 (554人)	6,909人 (543人)
1日平均利用者数	17.2人 (月曜日から土曜日) 20.1人 (日曜日) 0.0人	19.3人 (月曜日から土曜日) 22.4人 (日曜日) 0.0人
平均要介護度	2.20	2.31

※令和3年5月16日から5月25日までの10日間は、新型コロナウイルス感染症により吹田市保健所からの指導を受け、事業を休止しました。

イ 体験利用の状況

利用人数	26人
うち利用継続人数	15人

(4) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

理学療法、作業療法、その他必要なリハビリテーションを居宅への訪問によって行い、利用者の心身機能の維持回復を図りました。

ア 利用の状況

区分	令和3年度	令和2年度
実利用者数	10人	6人
延べ利用者数 (うち介護予防)	211人 (39人)	207人 (15人)

イ リハビリテーション実施状況

項目	実施実人数 (人)	実施延べ人数 (人)	内容
短期集中リハビリテーション	5	51	退所日から起算して3月以内に集中的なリハビリテーションを実施

(5) 主治医意見書の作成

要介護等認定の申請に必要な主治医意見書を作成しました。

作成件数：22件

- (6) 介護認定審査会への参画  
吹田市の介護認定審査会に職員を派遣しました。  
出席回数：3回

- (7) その他関係会議への出席（web 会議含む）  
ア 吹田市介護保険事業者連絡会  
イ 吹田市片山・岸部ブロック別地域ケア会議  
ウ 片山・岸部ブロック介護者支援の会  
エ 大阪介護老人保健施設協会

## 2 その他の事業

定款第4条に掲げる次の事業を実施しました。

- (1) 高齢者等の保健、医療に関する調査研究事業

職員の資質向上を図り、知識及び技術の習得・向上に資するために次の研修を実施しました。

### ア 施設内研修

実施日	テーマ	人数(人)
令和3年6月15日	科学的介護情報システム（L I F E）について	15
令和3年7月15日	介護現場におけるハラスメント対策	22
令和3年9月1日	新型コロナウイルス感染症における感染予防・福祉施設における備え	12
令和3年10月27日	リスク集計・苦情対応の実際と施設からの視点	9
令和3年12月22日	S様ケーススタディ	24
令和4年3月11日	成年後見制度・成年後見登記制度（書面開催）	全職員
令和4年3月11日	褥瘡予防のためのスキンケア（書面開催）	全職員
令和4年3月11日	虐待防止の理解と対応（書面開催）	全職員
令和4年3月11日	各委員会の振返り報告と次年度の目標（書面開催）	全職員
令和4年3月23日	自立支援促進加算について	17

### イ 外部研修会

開催日	研修名	開催場所	参加職種	人数(人)
令和3年4月16日	排泄ケアオンラインセミナー（web開催）	—	介護職員	1
令和3年4月26日 ～5月22日	介護老人保健施設リスクマネージャー資格認定制度養成講座（web開催）	—	介護支援専門員	1
令和3年6月18日	介護現場におけるクレームや介護事故への対応について	大阪市	看護師	1

開催日	研修名	開催場所	参加職種	人数(人)
令和3年7月19日	介護職のための接遇とマナー	大阪市	介護職員	1
令和3年7月21日	介護職のための新人職員研修	大阪市	介護職員	1
令和3年8月25日	排泄の基礎知識(web開催)	—	看護師	1
令和3年9月16日	排泄ケア研修会	大阪市	介護職員	1
令和3年11月15日 令和3年12月16日	身体拘束ゼロ推進員養成研修	大阪市	介護職員	1
令和3年12月1日	医療安全講習会 新型コロナウイルス感染症(web開催)	—	看護師 介護職員	11
令和3年12月17日	公正採用選考人権啓発推進員研修会(web開催)	—	事務職員	1
令和4年1月5日	職員基礎研修会(web開催)	—	介護職員	1
令和4年1月20日	認知症予防に良い話(web開催)	—	医師 看護師 介護職員 作業療法士	9
令和4年1月22日	認知症に関する講習会	大阪市	介護職員	1
令和4年2月9日	認知症キャラバンメイト養成研修	大阪市	介護職員	2
令和4年2月26日 ～2月27日	厚生労働省指定臨床実習指導者講習会(web開催)	—	作業療法士	1

(2) 高齢者等の保健、福祉に関する事業

ア 地域における新型コロナウイルス感染症への対応

介護者が陽性となり介護者不在となった要介護高齢者に対して必要なケアを実施するため、吹田市及び吹田市介護事業者連絡会と協力し、適切なサービスが提供できるよう、相談窓口となってサービス調整を行い、支援しました。

相談・対応件数：5件

イ 地域との連携

(ア) 当事者移動カフェ事業への協力

吹田市認知症カフェ交流会が開催する認知症カフェに当施設の駐車場の一部を開放し、事業協力を実施しました。

開催日：(1回目) 令和3年6月28日

(2回目) 令和3年10月20日

(イ) 地域との連携

近隣住民との関係性が途絶えないよう、コロナ禍における健康に関する情報を発信する「ろうけん便り」を発行しました。また、認知症カフェ再開に向けたニーズ把握を目的とし

たアンケート調査（２回目）を実施しました。回収率は72.5%で、昨年度同様に再開に向けた期待は80%以上という結果でした。

(ウ) 認知症サポーター養成講座

開催日	参加者数(人)	備考
令和3年7月8日	15	大阪信用金庫職員
令和4年3月19日	10	web開催

(エ) オンライン回想法

コロナ禍における今後の展開を検討し、回想法ボランティアを中心に、市民の方等を対象としたオンラインによる回想法を開催しました。

開催日	参加者数(人)
令和3年6月18日	7
令和3年7月7日	7
令和3年9月8日	6
令和3年10月22日	8
令和3年11月24日	7
令和3年12月22日	10
令和4年3月30日	9

全国の施設や個人を対象とした「回想ラジオ」へ通所利用者とオンラインで参加しました。

開催日	参加者数(人)
令和4年2月4日	3
令和4年3月4日	6

ウ 職員講師派遣

実施日	内容	主催団体	派遣職員(職種)
令和3年9月28日	吹田市オレンジフェア	吹田市認知症地域支援推進員	佐上雅宣(作業療法士)
令和3年11月7日	オンライン介護フェア	吹田市介護保険事業者連絡会	佐上雅宣(作業療法士)

(3) 施設での教育・実習事業

ア 看護実習

(ア) 博士前期課程授業

名称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
大阪府立大学大学院	令和3年6月4日	1	1

(イ) 老年看護学実習(web実習)

名称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
梅花女子大学	令和3年9月8日	100	100

(ウ) 生活支援看護実習(web実習)

名称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
大阪府立大学	令和3年5月10日～6月25日	22	44
	令和4年1月11日～1月28日	10	20

イ 社会医学実習(web実習)

名称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
関西医科大学	令和3年8月2日～8月7日	12	12

(4) その他の事業

ア インフルエンザワクチン予防接種

区 分	接種人数(人)
入所者	80
職 員	42
合 計	122

イ 肺炎球菌ワクチン予防接種

区 分	接種人数(人)
入所者	1
合 計	1

ウ 新型コロナワクチン予防接種

区 分	1回目 接種人数 (人)	2回目 接種人数 (人)	3回目 接種人数 (人)
入所者	87	88	78
通所者	0	0	53
職 員	60	60	64
合 計	147	148	195

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応

ア 感染症対策委員会の開催回数：20回

イ 対応の経過（概要）

月	対 応 の 概 要
4	まん延防止重点措置又は緊急事態宣言時の対応 ・施設における対応マニュアルに沿った対応を実施
5	・職員1名の陽性確認 ・吹田市保健所による立ち入り調査 ・入退所の停止（10日間） ・通所、訪問リハビリの停止（10日間） ・入所者全員と職員のPCR検査を実施（複数回実施したがいずれも陰性を確認）
6	まん延防止等重点措置時の対応 ・施設における対応マニュアルに沿った対応を実施
8	緊急事態宣言時の対応 ・施設における対応マニュアルに沿った対応を実施
9	・職員出勤停止基準を改正
11	・感染予防策の徹底を継続

月	対 応 の 概 要
1	まん延防止等重点措置時の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設における対応マニュアルに沿った対応を実施</li> <li>・職員（複数人）の陽性確認</li> <li>・吹田市保健所からの対応指示を実施（濃厚接触者該当なし）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員（複数人）の陽性確認</li> <li>・吹田市保健所からの対応指示を実施（濃厚接触者該当なし）</li> </ul>
3	感染予防対策の徹底を継続

(6) 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、次の事業は中止しました。

- ・ボランティア活動と支援
- ・介護相談員の受入れ
- ・幼稚園児等との交流
- ・回想法ボランティア養成講座
- ・認知症カフェ（屋外での実施を除く）
- ・見学受入れ
- ・学生実習の受入れ（オンラインでの実施を除く）
- ・中学生の職業体験学習

### 3 公益目的支出計画（特定寄付）

公益目的支出計画に基づく吹田市への特定寄付は、新型コロナウイルス感染症の影響による財政状況の悪化に伴い、今年度は実施していません。

### 4 その他

令和3年度事業報告附属明細書は記載する事項が無いため作成しません。

## 令和3年度（2021年度）決算書

# 貸借対照表

令和4年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	62,814,768	72,268,783	△ 9,454,015
事業未収金	78,216,013	80,712,380	△ 2,496,367
未収金	290,274	384,780	△ 94,506
立替金	93,484	77,100	16,384
流動資産合計	141,414,539	153,443,043	△ 12,028,504
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	95,640,000	98,660,000	△ 3,020,000
普通預金	3,825,000	3,825,000	0
基本財産合計	99,465,000	102,485,000	△ 3,020,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			
有価証券	0	79,768,000	△ 79,768,000
普通預金	53,725,360	2,911,079	50,814,281
特定資産合計	53,725,360	82,679,079	△ 28,953,719
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
その他固定資産合計	1	1	0
固定資産合計	153,190,361	185,164,080	△ 31,973,719
資産合計	294,604,900	338,607,123	△ 44,002,223
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	42,008,390	53,820,929	△ 11,812,539
預り金	3,770,664	3,654,501	116,163
賞与引当金	16,024,732	14,703,140	1,321,592
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	61,873,786	72,248,570	△ 10,374,784
2. 固定負債			
退職給付引当金	142,807,190	146,144,899	△ 3,337,709
固定負債合計	142,807,190	146,144,899	△ 3,337,709
負債合計	204,680,976	218,393,469	△ 13,712,493
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	89,923,924 (99,465,000)	120,213,654 (102,485,000)	△ 30,289,730 (△3,020,000)
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	89,923,924	120,213,654	△ 30,289,730
負債及び正味財産合計	294,604,900	338,607,123	△ 44,002,223

# 正味財産増減計算書

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	400,000	957,809	△ 557,809
基本財産受取利息	400,000	957,809	△ 557,809
特定資産運用益	407,000	960,000	△ 553,000
特定資産受取利息	407,000	960,000	△ 553,000
事業収益	514,780,935	513,651,776	1,129,159
介護老人保健施設収益	425,289,502	418,484,943	6,804,559
短期入所療養介護収益	17,751,722	14,989,064	2,762,658
通所リハビリテーション収益	67,747,437	77,520,630	△ 9,773,193
訪問リハビリテーション収益	1,735,180	1,523,678	211,502
自主事業収益	2,257,094	1,133,461	1,123,633
受取補助金等	3,102,000	6,785,500	△ 3,683,500
受取寄付金	0	0	0
雑収益	48,040	4,030	44,010
雑収益	48,040	4,030	44,010
経常収益計	518,737,975	522,359,115	△ 3,621,140
(2) 経常費用			
事業費	544,692,465	539,980,829	4,711,636
管理費	767,190	753,206	13,984
経常費用計	545,459,655	540,734,035	4,725,620
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 26,721,680	△ 18,374,920	△ 8,346,760
基本財産評価損益等	△ 3,020,000	△ 781,000	△ 2,239,000
特定資産評価損益等	△ 548,050	4,120,000	△ 4,668,050
評価損益等計	△ 3,568,050	3,339,000	△ 6,907,050
当期経常増減額	△ 30,289,730	△ 15,035,920	△ 15,253,810
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 30,289,730	△ 15,035,920	△ 15,253,810
一般正味財産期首残高	120,213,654	135,249,574	△ 15,035,920
一般正味財産期末残高	89,923,924	120,213,654	△ 30,289,730
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	89,923,924	120,213,654	△ 30,289,730

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

令和4年3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準

当財団は「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法について

① 其他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 什器備品・・・定額法

(4) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額（令和4年6月末支給分）のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、職員の期末自己都合要支給額の100%を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	98,660,000	0	3,020,000	95,640,000
普通預金	3,825,000	0	0	3,825,000
小 計	102,485,000	0	3,020,000	99,465,000
特定資産				
退職給付引当資産				
有価証券	79,768,000	0	79,768,000	0
普通預金	2,911,079	79,219,950	28,405,669	53,725,360
小 計	82,679,079	79,219,950	108,173,669	53,725,360
合 計	185,164,079	79,219,950	111,193,669	153,190,360

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	95,640,000	0	95,640,000	0
普通預金	3,825,000	0	3,825,000	0
小計	99,465,000	0	99,465,000	0
特定資産				
退職給付引当資産				
有価証券	0	0	0	0
普通預金	53,725,360	0	0	53,725,360
小計	53,725,360	0	0	53,725,360
合計	153,190,360	0	99,465,000	53,725,360

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	480,000	479,999	1
合計	480,000	479,999	1

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
新型コロナウイルス感染症PCR検査実施支援事業補助金	吹田市	0	2,640,000	2,640,000	0	
新型コロナウイルス感染症サービス提供体制確保事業補助金	吹田市	0	372,000	372,000	0	—
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金	大阪府	0	90,000	90,000	0	
合計		0	3,102,000	3,102,000	0	

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	有価証券	98,660,000	0	3,020,000	95,640,000
	普通預金	3,825,000	0	0	3,825,000
	基本財産計	102,485,000	0	3,020,000	99,465,000
特定資産	退職給付引当資産				
	有価証券	79,768,000	0	79,768,000	0
	普通預金	2,911,079	79,219,950	28,405,669	53,725,360
	特定資産計	82,679,079	79,219,950	108,173,669	53,725,360

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	14,703,140	16,024,732	14,703,140	0	16,024,732
退職給付引当金	146,144,899	13,523,226	16,860,935	0	142,807,190

# 財産目録

令和4年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	76,483	
	預金	当座預金	運転資金として	34,225,659	
		ゆうちょ銀行 普通預金	運転資金として	28,512,626	
		三菱UFJ銀行 吹田支店			
	事業未収金		事業に係る未収分	78,216,013	
	未収金		労働保険料等未収金	290,274	
	立替金		利用者理髪代立替等	93,484	
流動資産合計				141,414,539	
(固定資産)	基本財産	有価証券 普通預金	利付国庫債券174	95,640,000	
			三菱UFJ銀行 吹田支店	3,825,000	
	特定資産	退職給付引当資産 普通預金		職員の退職金支払いに備えたもの	53,725,360
			三菱UFJ銀行 吹田支店	53,725,360	
その他固定資産	什器備品	介護用リフト2台		1	
固定資産合計				153,190,361	
資産合計				294,604,900	
(流動負債)	未払金			42,008,390	
	預り金			3,770,664	
	源泉所得税			480,342	
	住民税			894,100	
	健康保険料			803,292	
	厚生年金保険料			1,348,710	
	介護保険料			95,620	
	理髪代			148,600	
	賞与引当金		職員の賞与支払いに備えたもの	16,024,732	
	職員賞与費			15,664,306	
	非常勤賞与費			360,426	
未払法人税等			70,000		
流動負債合計				61,873,786	
(固定負債)	退職給付引当金		職員退職金要支給額	142,807,190	
固定負債合計				142,807,190	
負債合計				204,680,976	
正味財産				89,923,924	

## 独立監査人の監査報告書

令和 4 年 4 月 19 日

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団  
理事長 春 藤 尚 久 殿

晴連監査法人

代表社員 公認会計士  
業務執行社員

村上弘之

### 〈財務諸表監査〉

当監査法人は、一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの令和元年度の財務諸表、即ち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録について監査を行った。

### 財務諸表に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続きが実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意思表示の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団と当監査法人、又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 令和3年度 監査報告書

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団  
理事長 春藤尚久 殿

私たち監事は、当法人の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の主たる事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

### (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認めます。

令和4年4月21日

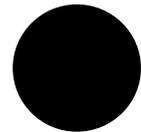
監事

宮本 修



監事

岡松 道哉





報告第7号

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和4年5月26日

吹田市長 後藤圭二

(1)

令和4年度（2022年度）  
公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団事業計画

令和4年度におきましては、コロナ禍を経て市民の健康への意識がさらに高まり、行動変容が予想されます。多様化する市民ニーズを踏まえ、循環器病の予防など、現代社会の課題に即応した健康づくり事業を推進しながら、「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援できるよう、次のような事業を推進して参ります。

- 1 みんなの健康展 9月10日（土）・11日（日）
- 2 レディース健康フェスティバル 令和5年3月4日（土）
- 3 吹田市民健康づくりフェスティバル
  - (1) てくてくウォーク&ノルディック  
5月22日（日） 雨天の場合 5月29日（日）
  - (2) 2022チャレンジDAY ～みんなでからだを動かそう～  
11月6日（日） 雨天の場合 11月13日（日）
- 4 各種教室等の開催
  - (1) ヘルストレーニング教室（毎週月・木曜日）
  - (2) レディースヘルストレーニング教室（毎週水・金曜日）
  - (3) シェイプアップ体操教室（毎週水曜日）
  - (4) ヘルシーウォーキング教室（毎週火曜日）
  - (5) ウォーキング会員事業
  - (6) 健康づくり実践教室
    - ① 休養に関する健康講座（9月予定）
    - ② ロコモティブシンドローム予防教室（11月予定）
    - ③ 健康な食生活応援事業（年2回開催）
    - ④ フタバボウルとの共催事業「ボウリングで健康づくり（ボウリング同好会）」毎週火曜日
    - ⑤ ウォーキング・ノルディックウォーキング講習会等（開催日未定）
- 5 健康まちづくり支援事業  
吹田市の2地区（モデル地区）で実施 通年
- 6 市民サポーター制度におけるコーディネート  
産学官民連携により生み出された健都発の製品・サービス等を利用し、開発側へ実証データを提供するとともに市民ニーズを提案する地域実証の場として構築された市民サポーター制度の運用に向けて、企業・研究機関・市民等をコーディネートする。

(2)

- 7 健康情報の収集と提供
  - (1) 情報誌「健康すいた」の市内全戸配布
  - (2) 健康パンフレット等の配布
  - (3) その他
- 8 健康づくり調査研究
- 9 研修
  - 健康運動指導士・健康運動実践指導者登録更新認定講習会参加
  - 職員の公益法人協会による公益財団法人研修会への参加
- 10 賛助会員制度の普及及び会員の増員を図る
- 11 関係団体との連携強化を図る

以 上

## 令和4年度（2022年度）収入支出の予算

令和4年度 収入支出の予算は、次の定めるところによる。

(収入支出の予算)

- 第1条 一般正味財産増減の部、指定正味財産増減の部の収支予算の総額は、収益の部を40,370,000円、費用の部を44,646,000円と定める。
- 2 収入支出の予算の勘定科目の区分及び当該区分ごとの合計は「第1表 収支予算書」による。

## 第1表

## 収支予算書

令和4年04月01日 から 令和5年03月31日 まで

単位(円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	861,000	880,000	△19,000
基本財産受取利息	861,000	880,000	△19,000
受取会費	283,000	238,000	45,000
団体賛助会員受取会費	265,000	210,000	55,000
個人賛助会員受取会費	18,000	28,000	△10,000
事業収益	2,673,000	3,077,000	△404,000
補助事業収益	0	45,000	△45,000
2021チャレンジDAY参加料	0	45,000	△45,000
自主事業収益	2,673,000	3,032,000	△359,000
ヘルストレーニング教室受講料	475,000	583,000	△108,000
レディースヘルス教室受講料	842,000	777,000	65,000
シェイプアップ体操教室受講料	496,000	624,000	△128,000
ヘルシーウォーキング教室受講料	684,000	768,000	△84,000
ウォーキング会員登録料	106,000	100,000	6,000
健康づくり実践教室参加料	70,000	180,000	△110,000
受取吹田市補助金	34,553,000	34,680,000	△127,000
吹田市健康づくり活動推進事業補助金	34,553,000	34,680,000	△127,000
受取委託料	2,000,000	0	2,000,000
受取委託料	2,000,000	0	2,000,000
雑収益	0	80,000	△80,000
受取広告料	0	80,000	△80,000
経常収益計	40,370,000	38,955,000	1,415,000

収支予算書

令和4年04月01日 から 令和5年03月31日 まで

単位(円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異
(2)経常費用			
事業費	41,237,000	41,353,000	△116,000
給料手当	19,377,000	18,495,000	882,000
臨時雇賃金	1,214,000	349,000	865,000
福利厚生費	3,844,000	3,454,000	390,000
賞与引当金繰入額	790,000	1,216,000	△426,000
食糧費	0	550,000	△550,000
旅費交通費	171,000	168,000	3,000
通信運搬費	590,000	653,000	△63,000
消耗品什器備品費	250,000	350,000	△100,000
消耗品費	1,181,000	1,292,000	△111,000
印刷製本費	2,736,000	3,060,000	△324,000
燃料費	109,000	109,000	0
賃借料	2,676,000	2,470,000	206,000
保険料	199,000	186,000	13,000
諸謝金	3,081,000	4,003,000	△922,000
支払手数料	86,000	70,000	16,000
租税公課	26,000	26,000	0
支払負担金	2,526,000	2,383,000	143,000
委託費	2,381,000	2,519,000	△138,000
管理費	3,409,000	3,340,000	69,000
役員報酬	975,000	1,008,000	△33,000
給料手当	599,000	572,000	27,000
福利厚生費	109,000	106,000	3,000
賞与引当金繰入額	24,000	37,000	△13,000
会議費	15,000	38,000	△23,000
旅費交通費	25,000	25,000	0
通信運搬費	79,000	79,000	0
消耗品費	37,000	37,000	0
印刷製本費	10,000	10,000	0
燃料費	10,000	10,000	0
光熱水料費	150,000	112,000	38,000
賃借料	334,000	347,000	△13,000
保険料	50,000	50,000	0
諸謝金	553,000	470,000	83,000
支払手数料	20,000	20,000	0
租税公課	26,000	26,000	0
支払負担金	150,000	150,000	0
委託費	73,000	73,000	0
支払広告料	120,000	120,000	0
雑費	50,000	50,000	0
経常費用計	44,646,000	44,693,000	△47,000
当期経常増減額	△4,276,000	△5,738,000	1,462,000

(6)

収支予算書

令和4年04月01日 から 令和5年03月31日 まで

単位(円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除去損	0	0	0
ソフトウェア除去損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△4,276,000	△5,738,000	1,462,000
一般正味財産期首残高	30,906,000	28,428,000	2,478,000
一般正味財産期末残高	26,630,000	22,690,000	3,940,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	226,630,000	222,690,000	3,940,000

(7)

**令和3年度(2021年度)**  
**吹田市健康づくり推進事業団 事業報告**

## 1. みんなの健康展

### 【目標】

実行委員会を構成する各団体の企画によって、市民が健康についてより一層の関心を高め、実践できるような健康情報を提供する。

### 【概要】

- メインテーマ 「元気にいきいき！こころとからだの健康生活！」
- 内 容
  - 1) Web 健康展
    - 開催方法 吹田市健康づくり推進事業団ホームページで動画等を配信
    - 開催期間 令和3年11月1日(月)～令和4年3月31日(木)
    - 開催内容
      - ①講演(吹田市健康づくり推進事業団設立30周年記念講演)  
テーマ:「心臓病の予防と最新治療」  
講 師:国立循環器病研究センター  
理事長 大津 欣也 氏
      - ②参加団体による健康づくりのための情報発信  
参加団体(17団体):医師会、歯科医師会、薬剤師会、鍼灸師会、  
栄養士会、臨床検査技師会、看護協会、社会福祉協議会、  
母子会、理学療法士会、千里金蘭大学、  
吹田ホスピス市民塾、助産師会、消防本部、高齢福祉室、  
健康まちづくり室、保健センター
  - 2) 健康展記事の市内配布
    - 開催方法 「健康すいた」(1月号)で特集記事の掲載
    - 発行日 令和4年1月1日(土)
    - 掲載団体(20団体):上記15団体(保健センター、消防本部除く)、  
母親大会連絡会、歯科衛生士会、歯科技工士会、  
吹田市保健所、国民健康保険課
- 実行委員会(22団体)
  - ・医師会 ・歯科医師会 ・薬剤師会 ・鍼灸師会 ・栄養士会 ・臨床検査技師会
  - ・看護協会 ・社会福祉協議会 ・母子会 ・母親大会連絡会 ・歯科衛生士会
  - ・消防本部 ・歯科技工士会 ・吹田ホスピス市民塾 ・助産師会 ・理学療法士会
  - ・千里金蘭大学 ・吹田市保健所 ・高齢福祉室 ・健康まちづくり室
  - ・国民健康保険課 ・保健センター
- 視聴件数 6,154件  
(令和3年11月1日～令和4年3月31日現在 ホームページ閲覧件数)

## 2. レディース健康フェスティバル

### 【目標】

女性特有の健康問題に目を向け、主体的に健康づくりを実践することで、生涯を通じて健康で明るく過ごすことができるように支援することを目的として、講演やブースを企画し啓発する。

### 【概要】

- 開催日 令和4年3月6日(日)
- 会場 吹田市立勤労者会館、さんくす夢広場
- サブタイトル 「～美しく健康的に!!～」
- 内容
  - ①講演(吹田市立勤労者会館 研修室)  
 テーマ:「飛び出せわたし!女性の健康問題、マルっと解決します」  
 講師:田辺レディースクリニック  
 院長 田辺 晃子 氏
  - ②美と健康講座(吹田市立勤労者会館 練習室)  
 内容:「ピラティス体験」～自分のからだと向き合おう～  
 講師:BAS Iピラティス  
 インストラクター Ray 氏
  - ③女性の健康啓発ブース(さんくす夢広場)  
 内容:ビレッジマート吹田に女性の健康啓発ブースを出展  
 骨密度測定、血管年齢測定、肌年齢測定、体組成測定、  
 お薬相談、乳がん検診啓発、栄養相談、野菜摂取量チェック  
 協力:吹田市薬剤師会、大和大学看護学科、吹田地区栄養士会 他
- 参加人数
  - ①講演会 63人
  - ②ピラティス 24人
  - ③健康啓発ブース

	参加人数	スタッフ数
骨密度測定	172人	28人
血管年齢測定	170人	
肌年齢測定	130人	
体組成測定	106人	
お薬相談	7人	3人
栄養相談	48人	23人
乳がん検診啓発	83人	5人
野菜摂取量チェック	100人	
合計(のべ人数)	816人	59人

### 3. 吹田市民健康づくりフェスティバル

#### 【目標】

家族や仲間と一緒に体を動かすことで、参加者が自らの健康づくりに日常生活の中で主体的に取り組もうとする意識変容に繋げることを目的として、運動の機会を提供する。

#### 【概要】

##### 1) 2021チャレンジDAY

- 開催日 令和3年11月7日(日)
- 会場 千里北公園一帯
- 参加人数 総数1,621人(来場者1,462人、スタッフ159人)
- 種目・参加人数

種目	参加人数	種目	参加人数
グラウンドゴルフ	500人	親子で運動あそび	50人
親子ジョギング	71人	ヘキサスロン	50人
シャトルゴルフ	404人	楽しくダンス	321人
モルック	599人	楽しく親子で体力測定	333人
ストラックアウト	435人	親子で丸太切り	418人
輪投げ	1,071人	わくわくクイズ	729人
キックターゲット	621人	わくわくサキツ	701人
ダブルダッチ	425人	フードモデルを使った食育	307人
親子ペアヨガ	12人		
合計		(延べ参加人数)	7,047人

##### 2) てくてくウォーク&ノルディックEXPO

- 開催日 令和3年12月12日(日)
- 会場 万博記念公園
- 参加人数

種目	参加人数	スタッフ数	合計
ウォーキング	18人	5人	23人
ノルディックウォーキング	44人	13人	57人
合計	62人	18人	80人

## 4. 各種教室等の開催

### 【目標】

健康増進、体力づくりの各種教室や健康づくりの意識向上を図るための講演会等を実施し、自分自身の健康のために日常の生活を改善し、実践する市民の増加を図る。

### 【概要】

※下記(1)～(4)の教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の為、4月最終週から6月、8月～9月末まで休講

#### (1) ヘルストレーニング教室

- 開催日 令和3年4月～令和4年3月  
週2回 月曜日・木曜日 2部制 18:00～19:30・18:45～20:15
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下は除く
- 平均参加人数 15人/1回 延904人/62回開催  
(昨年度:14人/1回 延622人/46回開催)

#### (2) レディースヘルストレーニング教室

- 開催日 令和3年4月～令和4年3月  
週2回 水曜日・金曜日 10:00～11:30
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下は除く
- 平均参加人数 27人/1回 延1,667人/61回開催  
(昨年度:27人/1回 延1,320人/50回開催)

#### (3) シェイプアップ体操教室

- 開催日 令和3年4月～令和4年3月  
週1回 水曜日 13:30～15:00
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下は除く
- 平均参加人数 25人/1回 延738人/30回開催  
(昨年度:22人/1回 延543人/25回開催)

#### (4) ヘルシーウォーキング教室

- 開催日 令和3年4月～令和4年3月  
週1回 火曜日 A班9:10～10:40、B班9:30～11:00
- 会場 総合運動場
- 対象者 中学生以下は除く
- 平均参加人数 44人/1回 延1,199人/27回開催  
(昨年度:45人/1回 延1,016人/23回開催)

#### (5) ウォーキング会員事業

- 実施期間 令和3年4月～令和4年3月
- 対象者 吹田市民(中学生以下は除く)  
\*自分目標達成者に「達成証」と「記念品」を授与
- 登録者数 212人(昨年度:422人)

## (6) 健康づくり実践教室

### 1) 休養に関する健康講座

- 開催日 10月2日(土)
- 会場 吹田市立勤労者会館 研修室
- テーマ 「今ここのころのケアを!!笑いの効果を学ぼう」  
～仕事は楽しく・人生はおもしろく～
- 講師 NPO法人健康笑い塾 主宰 中井 宏次 氏
- 参加者数 65人

### 2) ロコモティブシンドローム予防教室

- 開催日 10月8日(金)・10月22日(金)の2回連続講座
- 会場 健都ライブラリー、健都レールサイド公園
- 講師 ①ロコモティブシンドロームについての講義と実技指導  
ダイナミックスポーツ医学研究所  
顧問 土井 龍雄 氏  
②ロコモ予防のための食事についての講義  
吹田地区栄養士会さんくらぶ  
管理栄養士 捧 園子 氏
- 参加人数 23人

### 3) イオン店舗における健康な食生活応援事業

- ①イオン北千里における栄養相談
- 開催日 10月31日(日) 11:00~13:00
- 会場 イオン北千里店
- 内容 「はつらつ元気レシピ」を使っての栄養相談  
講師 吹田地区栄養士会さんくらぶ 管理栄養士3名
- 参加人数 27人
- ②イオン吹田店における栄養相談
- 開催予定日 3月21日(月・祝) 11:00~13:00
- 会場 イオン吹田店
- 内容 「はつらつ元気レシピ」を使っての栄養相談  
講師 吹田地区栄養士会さんくらぶ 管理栄養士3名
- 参加人数 21人

### 4) フタバボウルとの共催事業「ボウリングで健康づくり」

#### ボウリング同好会

- 開催日 毎週火曜日 午前10時~12時(祝日を除く)
- 会場 関大前フタバボウル
- 参加人数 延べ238名

### 5) 歩く達人講習会

- 開催日 講習会 7月より6回。測定日 7月より3回
- 会場 総合福祉会館、片山体育館 他
- 参加人数 28人

## 5. 健康まちづくり支援事業

### 【目標】

健康寿命の延伸ならびに循環器病予防のまちづくりを目標に、地域の団体等と連携し、運動・健康講座等、地域の実情に即した健康づくりを推進する。

### 【概要】

#### (1) ノルディックウォーキング講習会

ディオス北千里ステージ前で、準備運動・歩き方練習を行った後、順番にスタートし無理せず自分のペースで歩く。途中休憩時間を用いて、歩くために必要な筋力トレーニングやバランス力の実践を行う。

- 1) 開催日 7月16日(金) 10時～11時30分  
場 所 ディオス北千里～藤白台方面～ディオス北千里  
参加人数 14人
- 2) 開催日 7月30日(金) 10時～11時30分  
場 所 ディオス北千里～青山台方面～ディオス北千里  
参加人数 15人
- 3) 開催日 11月12日(金) 10時～11時30分  
場 所 ディオス北千里～千里北公園～水遠池～ディオス北千里  
参加人数 15人

#### (2) ディオス北千里「マルシェ+ (プラス)」

ディオス北千里のマルシェに買い物に来た人をターゲットとして、大学や事業者と協力して健康の啓発を行う。

- 開催日 10月23日(土)
- 場 所 ディオス北千里ステージ及びステージ前広場
- 参加人数 延べ40名
- 内 容 事業団—ウォーキングナビ測定・ロコモチェック(立ち上がりテスト)  
千里金蘭大学—健康相談・栄養相談  
ビタレーザラボ—ストレッチ・筋力トレーニング  
TIS株式会社—ウォーキングアプリ紹介

#### (3) 地域交流研究会で情報の収集及び情報の発信

ディオス北千里事業者、千里金蘭大学、北千里高校、グローバルビレッジ(サラヤ)などニュータウンのまちづくりに意欲のある団体・個人が参加(自由出席)

- 開催日 月1回開催していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため隔月開催に変更。(4月～8月は中止)  
9月2日(木)・11月4日(木)・1月6日(木) 各19時～21時
- 場 所 ディオス北千里一番館会議室
- 参加人数 9月2日—15人 11月4日—13人 1月6日—18人

## 6. 健康情報の収集と提供

### 【目標】

市民一人ひとりが健康を意識した取り組みを続けるために、健康に関する情報を発信する。

### 【概要】

#### 1) 情報紙「健康すいた」の市内全戸配布

○ 発行回数 年1回(1月1日)

○ 配布部数 12ページ 184,261部 ※健康展の特集記事4ページを掲載

#### 2) 健康パンフレット等の配布(事業参加者等)

- ・「日本列島縦断に挑戦」
- ・「健康ウォーキングガイド」
- ・「吹田さんちのお買い物便利帳」

#### 3) その他

- ・事業ごとのパンフレット、ポスター、チラシ等の配布
- ・事業団ホームページに「新型コロナ感染予防」の記事、Web健康展ならびに各事業の案内・報告等を随時掲載

## 7. 健康づくり調査研究

- (1) 健康づくり事業の進め方についての調査研究
- (2) その他

## 8. 研修

- ・健康運動指導士講習会・・・1名
- ・健康運動実践指導者講習会・・・0名
- ・歩き方セミナー 1名

## 9. 賛助会員制度の普及及び会員の増員を図る

- ・団体賛助会員・・・・・・・・・・28団体
- ・個人賛助会員・・・・・・・・・・8名

## 10. 関係団体との連携強化を図る

### (1) 市内各大学等との連携

- ・千里金蘭大学・・・「健康展」「健康まちづくり支援事業」への参加協力
- ・大和大学・・・「レディース健康フェスティバル」での展示催し参画
- ・北千里高校・・・「チャレンジDAY」での生徒企画の種目運営ならびにボランティア協力

### (2) ノルディックウォーキング普及に向けた地域スポーツ関係団体との連携

- ・スポーツ推進委員会、社会体育リーダー協議会等との連携

### (3) 地域住民の健康づくりの取組に向けた地域団体や地域事業者等との連携

- ・「レディース健康フェスティバル」にて、ビレッジマートに出展し、地域NPO法人「じやない吹田」と連携
- ・「健康まちづくり支援事業」において、ディオス北千里、ビタレーザラボ等と連携

### (4) その他

- ・健都指定管理者主催の大型イベント内で、歩き方測定を実施し、健都ライブラリーと連携

## 11. 吹田市健康づくり推進事業団設立30周年事業

- (1) Web健康展にて、設立30周年記念講演として、国立循環器病研究センター理事長大津欣也氏による講演動画を配信

- (2) 事業団設立30年をまとめた「30周年記念冊子」を発行

発行部数 32ページ 300部

発行日 令和4年3月

令和3年度 決算書  
(2021年度)

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団

# 貸借対照表

令和4年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	14,988,618	19,472,683	△4,484,065
前払金	301,570	248,800	52,770
立替金	3,490	562	2,928
流動資産合計	15,293,678	19,722,045	△4,428,367
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	211,647	442,517	△230,870
投資有価証券	216,788,353	216,557,483	230,870
基本財産合計	217,000,000	217,000,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	5,358,193	5,558,193	△200,000
固定資産購入引当資産	780,550	780,550	0
30周年記念事業準備資金	0	1,400,000	△1,400,000
特定資産合計	6,138,743	7,738,743	△1,600,000
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	1	1	0
什器備品	87,148	87,148	0
電話加入権	74,984	74,984	0
リサイクル預託金	10,020	10,020	0
その他固定資産合計	172,153	172,153	0
固定資産合計	223,310,896	224,910,896	△1,600,000
資産合計	238,604,574	244,632,941	△6,028,367
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,037,272	10,787,679	△3,750,407
前受金	771,100	788,900	△17,800
預り金	395,638	511,669	△116,031
賞与引当金	814,000	993,000	△179,000
流動負債合計	9,018,010	13,081,248	△4,063,238
負債合計	9,018,010	13,081,248	△4,063,238
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	200,000,000	200,000,000	0
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	29,586,564	31,551,693	△1,965,129
(うち基本財産への充当額)	(17,000,000)	(17,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,138,743)	(7,738,743)	(△1,600,000)
正味財産合計	229,586,564	231,551,693	△1,965,129
負債及び正味財産合計	238,604,574	244,632,941	△6,028,367

# 正味財産増減計算書

経理区分 全体

令和3年04月01日 から 令和4年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	881,180	881,180	0
基本財産受取利息	881,180	881,180	0
特定資産運用益	66	74	△8
特定資産受取利息	66	74	△8
受取会費	283,000	238,000	45,000
団体賛助会員受取会費	265,000	210,000	55,000
個人賛助会員受取会費	18,000	28,000	△10,000
事業収益	1,793,590	1,216,800	576,790
自主事業収益	1,793,590	1,216,800	576,790
ヘルストレーニング教室受講料	292,158	205,200	86,958
レディースヘルス教室受講料	523,224	385,200	138,024
シェイプアップ体操教室受講料	321,124	216,000	105,124
ヘルシーウォーキング教室受講料	474,600	410,400	64,200
ウォーキング会員登録料	106,000	0	106,000
健康づくり実践教室参加料	76,484	0	76,484
受取補助金等	29,047,954	28,444,758	603,196
受取吹田市補助金	29,047,954	28,444,758	603,196
雑収益	89,196	85,119	4,077
受取利息	46	69	△23
受取広告料	0	80,000	△80,000
雑収益	89,150	5,050	84,100
経常収益計	32,094,986	30,865,931	1,229,055
(2) 経常費用			
各種事業費	31,936,073	32,196,294	△260,221
役員報酬	0	2,910,000	△2,910,000
給料手当	17,390,749	13,920,453	3,470,296
臨時雇賃金	434,730	1,949,324	△1,514,594
福利厚生費	3,120,503	3,897,492	△776,989
賞与引当金繰入額	790,000	964,000	△174,000
会議費	0	3,474	△3,474
旅費交通費	11,510	16,070	△4,560
通信運搬費	333,732	348,736	△15,004
減価償却費	0	144,380	△144,380
消耗什器備品費	360,492	33,000	327,492
消耗品費	674,687	386,440	288,247
印刷製本費	2,660,328	2,454,838	205,490
燃料費	51,253	38,368	12,885
賃借料	821,553	35,200	786,353
保険料	192,710	196,390	△3,680
諸謝金	1,889,587	1,453,174	436,413

(18)

# 正味財産増減計算書

経理区分 全体

令和3年04月01日 から 令和4年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
手数料	140,486	80,135	60,351
租税公課	12,300	12,300	0
支払負担金	189,509	198,479	△8,970
委託費	2,861,944	3,154,041	△292,097
管理費	2,124,042	2,897,053	△773,011
役員報酬	159,600	384,000	△224,400
給料手当	538,632	430,489	108,143
福利厚生費	99,970	742,317	△642,347
賞与引当金繰入額	24,000	29,000	△5,000
会議費	4,954	5,194	△240
旅費交通費	1,200	1,860	△660
通信運搬費	48,032	43,122	4,910
消耗品費	5,332	20,414	△15,082
修繕費	0	118,800	△118,800
印刷製本費	360	0	360
光熱水料費	106,692	111,983	△5,291
賃借料	330,000	333,744	△3,744
保険料	47,470	47,150	320
諸謝金	511,150	397,570	113,580
支払手数料	24,750	3,110	21,640
租税公課	16,000	16,000	0
支払負担金	90,900	87,300	3,600
支払広告料	110,000	110,000	0
雑費	5,000	15,000	△10,000
経常費用計	34,060,115	35,093,347	△1,033,232
当期経常増減額	△1,965,129	△4,227,416	2,262,287
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△1,965,129	△4,227,416	2,262,287
一般正味財産期首残高	31,551,693	35,779,109	△4,227,416
一般正味財産期末残高	29,586,564	31,551,693	△1,965,129
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	229,586,564	231,551,693	△1,965,129

# 正味財産増減計算書内訳表

経理区分 全体

令和3年04月01日 から 令和4年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公益事業			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	7,310	873,870	0	881,180
基本財産受取利息	7,310	873,870	0	881,180
特定資産運用益	0	66	0	66
特定資産受取利息	0	66	0	66
受取会費	141,500	141,500	0	283,000
団体賛助会員受取会費	132,500	132,500	0	265,000
個人賛助会員受取会費	9,000	9,000	0	18,000
事業収益	1,607,590	186,000	0	1,793,590
自主事業収益	1,607,590	186,000	0	1,793,590
ヘルストレーニング教室受講料	292,158	0	0	292,158
レディースヘルス教室受講料	523,224	0	0	523,224
シェイプアップ体操教室受講料	221,124	100,000	0	321,124
ヘルシーウォーキング教室受講料	388,600	86,000	0	474,600
ウォーキング会員登録料	106,000	0	0	106,000
健康づくり実践教室参加料	76,484	0	0	76,484
受取補助金等	29,047,954	0	0	29,047,954
受取吹田市補助金	29,047,954	0	0	29,047,954
雑収益	39,100	50,096	0	89,196
受取利息	0	46	0	46
雑収益	39,100	50,050	0	89,150
経常収益計	30,843,454	1,251,532	0	32,094,986
(2) 経常費用				
各種事業費	31,936,073	0	0	31,936,073
給料手当	17,390,749	0	0	17,390,749
臨時雇賃金	434,730	0	0	434,730
福利厚生費	3,120,503	0	0	3,120,503
賞与引当金繰入額	790,000	0	0	790,000
旅費交通費	11,510	0	0	11,510
通信運搬費	333,732	0	0	333,732
消耗什器備品費	360,492	0	0	360,492
消耗品費	674,687	0	0	674,687
印刷製本費	2,660,328	0	0	2,660,328
燃料費	51,253	0	0	51,253
賃借料	821,553	0	0	821,553
保険料	192,710	0	0	192,710
諸謝金	1,889,587	0	0	1,889,587

(20)

# 正味財産増減計算書内訳表

経理区分 全体

令和3年04月01日 から 令和4年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公益事業			
手数料	140,486	0	0	140,486
租税公課	12,300	0	0	12,300
支払負担金	189,509	0	0	189,509
委託費	2,861,944	0	0	2,861,944
管理費	0	2,124,042	0	2,124,042
役員報酬	0	159,600	0	159,600
給料手当	0	538,632	0	538,632
福利厚生費	0	99,970	0	99,970
賞与引当金繰入額	0	24,000	0	24,000
会議費	0	4,954	0	4,954
旅費交通費	0	1,200	0	1,200
通信運搬費	0	48,032	0	48,032
消耗品費	0	5,332	0	5,332
印刷製本費	0	360	0	360
光熱水料費	0	106,692	0	106,692
賃借料	0	330,000	0	330,000
保険料	0	47,470	0	47,470
諸謝金	0	511,150	0	511,150
支払手数料	0	24,750	0	24,750
租税公課	0	16,000	0	16,000
支払負担金	0	90,900	0	90,900
支払広告料	0	110,000	0	110,000
雑費	0	5,000	0	5,000
経常費用計	31,936,073	2,124,042	0	34,060,115
当期経常増減額	△1,092,619	△872,510	0	△1,965,129
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△1,092,619	△872,510	0	△1,965,129
他会計振替額	200,000	△200,000	0	0
当期一般正味財産増減額	△892,619	△1,072,510	0	△1,965,129
一般正味財産期首残高	21,691,622	9,860,071	0	31,551,693
一般正味財産期末残高	20,799,003	8,787,561	0	29,586,564
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	200,000,000	0	200,000,000

(21)

## 正味財産増減計算書内訳表

経理区分 全体

令和3年04月01日 から 令和4年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公益事業			
指定正味財産期末残高	0	200,000,000	0	200,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	20,799,003	208,787,561	0	229,586,564

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当ありません。

(3) 固定資産の減価償却の方法

車輛運搬具・・・・・・・・新定額法によっている。

什器備品(食育SATシステム)・・・・新定額法によっている。

什器備品(上記以外)・・・・旧定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

変更ありません。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	442,517	0	230,870	211,647
投資有価証券	216,557,483	230,870	0	216,788,353
小 計	217,000,000	230,870	230,870	217,000,000
特定資産				
減価償却引当資産	5,558,193	0	200,000	5,358,193
固定資産購入引当資産	780,550	0	0	780,550
30周年記念事業準備資金	1,400,000	200,000	1,600,000	0
小 計	7,738,743	200,000	1,800,000	6,138,743
合 計	224,738,743	430,870	2,030,870	223,138,743

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	211,647	(211,647)	(0)	—
投資有価証券	216,788,353	(199,788,353)	(17,000,000)	—
小 計	217,000,000	(200,000,000)	(17,000,000)	—
特定資産				
減価償却引当資産	5,358,193	(0)	(5,358,193)	(0)
固定資産購入引当資産	780,550	(0)	(780,550)	(0)
小 計	6,138,743	(0)	(6,138,743)	(0)
合 計	223,138,743	(200,000,000)	(23,138,743)	(0)

5. 担保に供している資産

該当ありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	1,687,910	1,687,909	1
什器備品(プロジェクター)	232,050	208,845	23,205
什器備品(自動体外式除細動器)	309,750	278,776	30,974
什器備品(自動体外式除細動器)	329,700	296,732	32,968
什器備品(食育SATシステム)	2,887,596	2,887,595	1
什器備品計	3,759,096	3,671,948	87,148
電話加入権	74,984	0	74,984
リサイクル預託金	10,020	0	10,020
合 計	5,532,010	5,359,857	172,153

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当ありません。

8. 保証債務等の偶発債務

該当ありません。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第328回利付国債	99,788,353	100,643,500	855,147
第409回大阪府公募公債	117,000,000	116,817,246	△ 182,754
合 計	216,788,353	217,460,746	672,393

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
受取 吹田市補助金	吹田市	0	29,047,954	29,047,954	0

11. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当ありません。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当ありません。

13. 関連当事者との取引の内容

該当ありません。

14. 重要な後発事象

該当ありません。

## 貸借対照表及び損益計算書の附属明細書

### (1) 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載

### (2) 引当金の明細書

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	993,000	814,000	993,000	0	814,000

# 財 産 目 録

令和4年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>					
	現金預金	普通預金 三菱UFJ銀行吹田支店	運転資金として	660,052	
		普通預金 りそな銀行吹田支店	運転資金として	12,375,644	
		普通預金 北おおさか信用金庫吹田支店	運転資金として	1,952,922	
	前払金 立替金		令和4年度の費用の前払分 令和3年度の立替分	301,570 3,490	
<b>流動資産合計</b>				<b>15,293,678</b>	
<b>(固定資産)</b>					
<b>基本財産</b>					
	預金	普通預金 りそな銀行吹田支店	法人の管理運営に使用している	211,647	
		投資有価証券	国債 第328回利付国債 公債 第409回大阪府公募公債 公債 第409回大阪府公募公債	法人の管理運営に使用している 法人の管理運営に使用している 事業の運営に使用している	99,788,353 100,000,000 17,000,000
	特定資産	減価償却引当資産	普通預金 三菱UFJ銀行吹田支店	什器備品の買い替えの為に 積み立てている	5,358,193
		固定資産購入引当資産	普通預金 北おおさか信用金庫吹田支店	固定資産の購入のため積み 立てている	780,550
<b>その他固定資産</b>					
	車両運搬具	車両 1台	公益目的の保有財産であり 各種事業に使用している	1	
	什器備品	プロジェクター	公益目的の保有財産であり 各種事業に使用している	23,205	
		自動体外式除細動器 2台	公益目的の保有財産であり 各種事業に使用している	63,942	
	食育SATシステム		公益目的の保有財産であり 各種事業に使用している	1	
電話加入権		公益目的の保有財産であり 各種事業に使用している	74,984		
リサイクル預託金	リサイクル預託金	車輛のリサイクル預託金	10,020		
<b>固定資産合計</b>				<b>223,310,896</b>	
<b>資産合計</b>				<b>238,604,574</b>	
<b>(流動負債)</b>					
	未払金		令和3年度の費用等の未払分	7,037,272	
	前受金		令和4年度を受講料の前受分	771,100	
	預り金		社会保険料等の預り分	395,638	
	賞与引当金		令和3年度賞与の引当金	814,000	
<b>流動負債合計</b>				<b>9,018,010</b>	
<b>(固定負債)</b>					
<b>固定負債合計</b>				<b>—</b>	
<b>負債合計</b>				<b>9,018,010</b>	
<b>正味財産</b>				<b>229,586,564</b>	

## 独立監査人の監査報告書

令和4年4月18日

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団  
理事長 三谷 一裕 殿

横田公認会計士事務所  
大阪府大阪市  
公認会計士

横田 穰 治

### <財務諸表等監査>

#### 監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事

実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

#### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計

の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### <財産目録に対する意見>

##### 財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の令和4年3月31日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

##### 財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

##### 財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

##### 利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

令和4年4月15日

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団  
理事長 三谷一裕 殿

監事

井田一雄



監事

山之内一馬



私たち監事は、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団定款第31条の規定に基づき、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上



報告第8号

公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について

公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和4年5月26日

吹田市長 後藤圭二

(1)

## 令和4年度（2022年度）公益財団法人千里リサイクルプラザ事業計画

### 1 公益目的事業（公1）

廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用の促進により天然資源を守り、脱炭素社会を目指し、地球温暖化の防止等を含む循環型社会を構築・推進するなど、地球環境への配慮を視野に入れたよりよき生活環境を形成することは、私たちに課せられた責務といえます。

本法人は、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践する中で環境保全が図られ促進されることを目指し、市民目線に立ち広く人々の参画を得て生活に密着した次の各事業を実施します。

#### (1) 啓発・普及活動に関する事業

SDGs 17の目標の内“(12) つくる責任つかう責任”に軸足を置き、ごみを出さない「もの」づくりをめざして、廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用が人々の生活や社会の仕組みとして定着する循環型社会の構築に向け、ごみをはじめそれに係る環境・資源問題の啓発・普及活動として、次のような事業を行います。

- ア. 市民工房の運営（受託事業）
- イ. 視察・見学者の応対（受託事業）
- ウ. 環境啓発動画コンテスト開催（受託事業）
- エ. 展示等に関する事業（受託・自主事業）
- オ. 市民・企業参画事業の実施（受託・自主事業）
- カ. 環境実践教室の開催（自主事業）
- キ. イベントの開催（自主事業）
- ク. リユース食器に関する事業（自主事業）
- ケ. プラザメイトに関する事業（自主事業）

#### (2) 調査研究・情報提供に関する事業

SDGs 17の目標の内“(17) パートナリーシップで目標を達成しよう”に軸足を置き、循環型社会の構築とよりよき生活環境の形成を目指して、環境に配慮したライフスタイルに関する調査研究活動及び実践活動を展開・促進するため、また、市民研究活動に関する機関紙・研究報告書、情報紙の発行、環境関連図書・雑誌類を公開・貸し出し、その他本法人の活動内容等を広く市民に発信・公開するとともに、受発信による情報の蓄積や積極的活用のため、次のような事業を行います。

- ア. 市民研究員による調査・研究及び実践活動（受託・自主事業）
- イ. 研究報告書の発行（自主事業）

- ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行（自主事業）
- エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行（自主事業）
- オ. HPの公開、情報スタジオの常設及び図書、雑誌等の閲覧コーナーの常設（自主事業）

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

SDGs 17の目標の内“(4)質の高い教育をみんなに”に軸足を置き、廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用や地球温暖化防止などに関する講演や講座を開催するとともに、団体等や学校からの依頼による環境出前講座を実施し、市民や児童・生徒等に対して環境問題に対する意識の向上を図り、啓発・普及させるため、次のような事業を行います。

- ア. 講演会の開催（資源リサイクルセンター30周年記念講演会）（受託事業）
- イ. 入門講座・研修講座の開催（受託・自主事業）
- ウ. 環境出前講座による学習支援（自主事業）
- エ. 環境学習発表会及び展示発表会（広がれ！環境の輪）の開催（自主事業）
- オ. 職場体験・大学関係等の支援（自主事業）

2 収益事業等（収1）

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務について、次のとおり実施します。

(1) 施設の管理運営業務（受託事業）

- ア. 貸室の使用の許可・使用料の徴収及び施設HPの管理に関する業務
- イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務

3 管理事業（法人会計）

公益財団として今後の指定管理受託継続に向け、環境についての職員の知識向上やスキルアップ、自主事業での収益の獲得を目指し、その方策の研究に努めるとともに財団の運営に関わる内部統制に努力していきます。

(1) 財団の管理運営業務（自主事業）

- ア. 環境助成金獲得事業（自主事業）
- イ. 30周年記念誌発行（自主事業）
- ウ. 職員研修（自主事業）
- エ. 財団名変更（自主事業）

# 収支予算書

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益(経常)	18,720,820	18,721,000	△180
特定資産運用益	855	2,000	△1,145
会費収益	60,000	86,000	△26,000
事業収益	56,742,530	57,429,000	△686,470
吹田市受託事業収益	51,760,000	51,524,000	236,000
受講料収益	2,520,280	2,082,000	438,280
工房成果品販売収益	830,400	914,000	△83,600
セカンド品販売収益	180,000	252,000	△72,000
フリーマーケット出店手数料収益	492,000	938,000	△446,000
リユース食器貸出手数料収益	667,150	1,334,000	△666,850
その他事業収益	292,700	385,000	△92,300
雑収益	53,080	90,000	△36,920
経常収益計	75,577,285	76,328,000	△750,715
(2) 経常費用			
事業費	56,931,644	55,806,000	1,125,644
給料手当	17,803,000	17,735,000	68,000
賞与	2,400,000	2,357,000	43,000
臨時雇賃金	9,849,008	9,929,000	△79,992
福利厚生費	4,180,921	4,237,000	△56,079
賞与引当金繰入額	1,066,000	1,065,000	1,000
会議費	10,000	13,000	△3,000
旅費交通費	2,158,930	2,482,000	△323,070
通信運搬費	629,703	666,000	△36,297
減価償却費	1,204,660	338,000	866,660
消耗什器備品費	0	30,000	△30,000
消耗品費	2,222,770	2,118,000	104,770
修繕費	330,000	276,000	54,000
印刷製本費	750,000	300,000	450,000
燃料費	42,000	42,000	0
光熱水料費	80,000	100,000	△20,000
使用料	166,560	328,000	△161,440
賃借料	220,000	306,000	△86,000
支払手数料	6,090	2,000	4,090
保険料	86,000	90,000	△4,000
諸謝金	6,777,500	6,480,000	297,500
租税公課	3,132,952	3,103,000	29,952
支払負担金	17,000	18,000	△1,000
広告宣伝費	340,000	390,000	△50,000
委託費	3,453,550	3,396,000	57,550
雑費	5,000	5,000	0

# 収支予算書

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
管理費	19,767,048	20,481,000	△713,952
役員報酬	2,564,400	2,588,000	△23,600
給料手当	8,080,310	8,051,000	29,310
賞与	1,092,368	1,073,000	19,368
臨時雇賃金	1,482,424	1,565,000	△82,576
福利厚生費	1,991,777	2,036,000	△44,223
賞与引当金繰入額	485,000	484,000	1,000
旅費交通費	624,739	732,000	△107,261
通信運搬費	124,320	124,000	320
減価償却費	212,849	276,000	△63,151
消耗品費	236,580	214,000	22,580
修繕費	20,000	20,000	0
燃料費	48,000	45,000	3,000
使用料	170,876	171,000	△124
賃借料	289,296	218,000	71,296
支払手数料	44,680	32,000	12,680
保険料	67,890	65,000	2,890
諸謝金	235,000	685,000	△450,000
租税公課	1,322,405	1,362,000	△39,595
支払負担金	213,700	216,000	△2,300
広告宣伝費	20,000	20,000	0
委託費	390,434	404,000	△13,566
雑費	50,000	100,000	△50,000
経常費用計	76,698,692	76,287,000	411,692
当期経常増減額	△1,121,407	41,000	△1,162,407
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△1,121,407	41,000	△1,162,407
一般正味財産期首残高	18,544,000	18,503,000	41,000
一般正味財産期末残高	17,422,593	18,544,000	△1,121,407
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益(指定)	18,720,820	18,721,000	△180
一般正味財産への振替	△18,720,820	△18,721,000	180
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	963,280,000	963,280,000	0
指定正味財産期末残高	963,280,000	963,280,000	0
III 正味財産期末残高	980,702,593	981,821,000	△1,118,407

## 令和3年度(2021年度) 公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告書

地球温暖化防止等を含む環境への負荷を少なくする循環型社会の構築に向け、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践し、また環境保全を定着・促進するため、市民の参加のもとに次の事業を計画しました。しかし本年度を通して新型コロナウイルス禍の状況は依然収束には遠く、大阪府全域に対するのべ約120日間にわたる2回の緊急事態宣言発出期間中、第1回目の発出となる4月25日(日)から6月20(日)までの2か月弱の間は、吹田市資源リサイクルセンターは休館となりました。それ以降は約90日間にわたる2回のまん延防止重点措置の発出期間も開館し、行政(吹田市)の指示に基づき感染拡大防止のため、3密回避対策の徹底に努めて以下の通り事業を実施しました。

### (1) 啓発・普及活動に関する事業

#### ア. 市民工房の運営(受託事業)

各市民工房において、来館者が楽しみながらリユース・リサイクルできるように、修理・再生・リフォームの助言・指導を行い、各工房で再生した成果品を展示しました。開館時は消毒はもとより施設内で密集が予想される市民工房には飛沫防止用透明スクリーンの設置によるソーシャルディスタンスの確保等、コロナ3密回避対策を徹底し実施しました。

工 房 名	対象品	見学者数	実技受講者数 (再掲)	成果品展示数
市民工房1	衣類	1,490名	1,413名	65点
市民工房2	紙パック	697名	683名	67点
市民工房4	自転車	316名	239名	94点
市民工房6	家具類	1,290名	998名	240点
合 計		3,793名	3,333名	466点
合 計 (前年度)		3,122名	2,686名	388点

(注) 市民工房3ではガラス工芸、市民工房5では陶芸の実践教室を開催しました。

#### イ. 視察・見学者の対応(受託事業)

開館時は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回の見学人数の制限や中央操作室の入室見合わせ等、3密回避に努め実施しました。

区 分	団 体 数	人 数	前 年 度	
			団 体 数	人 数
小～大学生	27団体	1,840名	9団体	920名
市民団体	5団体	78名	3団体	22名
行 政	2団体	15名	0団体	0名
民間企業	3団体	15名	0団体	0名
海 外	0団体	0名	0団体	0名
計	37団体	1,948名	12団体	942名

#### ウ. 見学ツアーの開催(受託事業)

環境啓発として環境学習施設を見学する親子見学ツアーは、当初8月5日(木)に実施予定でしたが、府外へのバスツアーであること、また3密回避が困難であること等から、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点に照らして、昨年度に引続き本年度も実施を見送りました。

エ. 吹田市が主催等するイベントへの参画(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続きプラザが参画する吹田市の主催、後援するリアル事業は本期間も中止されましたが、第4四半期にWEBで開催した「すいた環境教育フェスタ2022」には事前の運営委員会から参加しました。

オ. 脱温暖化啓発に関する事業(受託事業)

① 原始力発電コーナー

自力で自転車を漕ぎ、イルミネーションを点灯させたり電車の模型を走らせる自家発電体験を提供する原始力発電コーナー及び温暖化防止に関連したエコ人間すごろくは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は撤去しました。

② 環境啓発動画コンテスト

高校生を含む応募作品数が年々増加し、広く環境啓発につながるコンテストとして定着してきました。

実施日	内 容	対象者	応募人数及び作品数	
			本年度	前年度
応募期間 8月1日(土)～ 10月31日(土)	地球温暖化防止、食品ロス、 海洋汚染をテーマとする動画 を募集し、HP上での人気投票 と専門家及び市民研究員、財 団執行役員による審査を実施	市民	応募作品数 42作品	応募作品数 34作品
投票期間 11月16日(火)～ 12月15日(水)				
応募作品審査 12月24日(金)	優秀賞 2作品 奨励賞 2作品		優秀賞 3作品 奨励賞 2作品	
表彰 1月30日(日)	プラザ講義室1にてリモート による表彰式を実施			

カ. 展示等に関する事業(受託・自主事業)

① 展示コーナーの常設(受託事業)

市民工房で再生した成果品や市民研究所の環境出前講座などで使用する教材の一部をホワイエに常設展示しました。またB棟5階展示室において「すいたのごみの歴史展」の他、SDGsの17のゴールを日本語の他、英語、中国語、韓国語に翻訳したものを常設展示しました。

② あげます・もらいますコーナーの利用状況(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のための閉館期間を除き、資源循環を啓発するあげます・もらいます事業の促進に努めました。

品 目		持ち込み品	持ち帰り品
衣 類		9,190点	7,753点
食 器		7,921点	4,350点
合 計		17,111点	12,103点
件 数		624件	1,496件
前 年 度	数 量	12,252点	9,998点
	件 数	430件	1,267件

③ 再生成果品等の販売(自主事業)

再生成果品及びセカンド品を常時販売しました。また、家具は8月に実施した抽選販売で応募のなかったものを随時展示販売し、自転車は毎月の抽選で販売しました。

工房名	対象品	成果品販売数	販売時期	販売品目	内容
市民工房1	衣類	28点	常時	衣類のリフォーム品 紙すき製品 木工小物	市民工房において再生した成果品を販売
市民工房2	紙パック	17点			
市民工房4	自転車	115点	毎月	自転車	毎月1回の抽選販売。売れ残った自転車は随時販売
市民工房6	家具類	177点	9月 3月	家具	家具は抽選販売。売れ残った家具は随時販売
合 計		337点			
合 計 (前年度)		356点			

対象品	販売数	前年度	販売時期	販売品目	内容
セカンド品 (未使用の市民提供品)	1,254点	1,355点	常時	セカンド品	市民から提供を受けた未使用の衣類・食器等を販売。

らっくdeフリマ 出店期間	来室者数	出店数	出店形式	出店内容
第1期 R3. 4～R3. 8	1,419名	52店舗	4段ラック 3段ラック 2段ラック ハンガーラック	市民の方に場所を提供し、使わなくなったものなどリメイク・リユース品を中心に展示し、低額で販売
第2期 R3. 9～R3.10	1,129名	48店舗		
第3期 R3. 11～R4. 1	1,395名	51店舗		
第4期 R4. 1～R4. 3	1,059名	50店舗		
合 計	5,002名	201店舗		
合 計 (前年度)	2,646名	100店舗		

キ. 市民・企業参画事業(受託・自主事業)

① 万博ごみゼロウォーク(受託事業)

市民、事業者、行政、市民研究員、プラザが協働して万博記念公園及びその周辺をウォーキングしながら散在ごみを回収・調査する万博ごみゼロウォークは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度も昨年度に引続き中止しました。

② くるくるアースフェスタ(受託事業)

地球温暖化防止等、環境問題を広く市民に啓発する取り組みであるくるくるアースフェスタは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度も昨年度に引続き中止しました。

ク. 実践教室の開催(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館期間を除き、市民が楽しみながら資源の再使用や再生利用を体験できるように以下の実践教室を実施しました。

教室名	1教室当 開催日数	実施回数	受講者数	延受講者数	前 年 度		
					実施回数	受講者数	延受講者数
(注1) 布 布のリメイク1日	1日	4回	28名	28名	3回	18名	18名
布こもの	1日	2回	7名	7名	1回	1名	1名

(注2)

ガラス工芸	バーナーワーク初心者	1日	118回	57名	57名	74回	34名	34名
	バーナーワーク自由3回	3日		5名	15名		10名	30名
	フュージングアクセサリー	1日		103名	103名		43名	43名
	フュージングオブジェ	1日	70回	61名	61名	42回	12名	12名
	サンドブラスト	1日		24名	24名		16名	16名
	3Dペイント	1日		16名	16名		1名	1名
陶芸	陶芸3回	3日	8回	19名	57名	6回	10名	30名
	陶芸2回	2日	8回	12名	24名	6回	1名	2名
	陶芸形成	1日	5回	41名	41名			
	夏休み陶芸2回	2日	2回	19名	38名	2回	18名	36名
	夏休み陶芸絵付	1日	2回	20名	20名			
木工	木工1日	1日	3回	11名	11名	2回	10名	10名
	夏休みこども木工	1日	4回	68名	68名	4回	44名	44名
手作りおもちゃ	オイル万華鏡	1日	2回	19名	19名	2回	20名	20名
アートクラフト	クレイシルバー3回	3日	10回	19名	57名	6回	6名	18名
	クレイシルバー初心者	1日	10回	3名	3名	6回	3名	3名
クラフト	革小物	1日	22回	24名	24名	6回	7名	7名
その他	ミニソーラーカー工作	1日				1回	78名	78名
	廃ダンボール工作	1日	4回	61名	61名	1回	18名	18名
	尾舞鳥工作	1日	1回	10名	10名			
施設見学後体験	布体験	1日	4回	41名	41名			
	木工体験	1日	3回	29名	29名			
	紙すき体験	1日	6回	101名	101名			
くるくる体験	布体験	1日	7回	54名	54名	6回	57名	57名
	陶芸体験(絵付け)	1日	7回	133名	133名	6回	138名	138名
	ガラス工芸体験	1日	5回	143名	143名	6回	171名	171名
	木工体験	1日	7回	88名	88名	6回	80名	80名
	レザークラフト体験	1日	2回	30名	30名			
合計			316回	1,246名	1,363名	186回	796名	867名

(注1) 正式な教室名称は「布のリメイク」となります。

(注2) ガラス工芸は同日の排他的選択実施のため、実施回数は1つにまとめて表記しています。

ケ. イベントの開催(自主事業)

① フェスタ

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、不特定多数の参加者によるフリーマーケット開催等での3密回避が困難な状況を考慮して、本年度のフェスタは全て開催中止としました。

事業名	実施日	内 容	参加者数(注)	前年度参加者数
くるくる 春がきたフェスタ	(当初予定日) 4月 11日(日)	フリーマーケット、各種くるくる体験(リメイク、リサイクル体験)、影絵、絵本の読み聞かせ、ソーラーカー乗車体験を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)とソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、によるくるくるワークショップとして開催しました。	98名	-
くるくるキッズ フェスタ	(当初予定日) 5月2日(日)	ゴールデンウィーク期間に子どもを中心に地球環境保全や3Rの輪を広げるために、フリーマーケット、ソーラーカー乗車体験、また広場を利用した縁日コーナーの開催、地場野菜の販売を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。	-	-
千里 エコフェスタ	(当初予定日) 6月20日(日)	フリーマーケット、ソーラーカー乗車体験、各種くるくる体験、SDGs落語、学生によるブース、ライブステージ等の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。また、同理由により同日開催を予定していた環境問題講演会も9月19日(日)に延期しました。	-	-
くるくる 夏フェスタ	(当初予定日) 8月15日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるとともに、親子で参加しやすい夏休みを利用してフリーマーケットや特別なイベント、各種くるくる体験、ソーラーカー乗車体験、学生によるブース、企業との協働により環境に係る工作体験等を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)とソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、によるくるくるワークショップとして開催しました。	164名	200名
くるくる 秋フェスタ	(当初予定日) 9月19日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、フリーマーケットや各種くるくる体験、ソーラーカー乗車体験、家具市開催による再生家具のオークションを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)とソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、によるくるくるワークショップとして開催しました。	75名	166名
くるくる ハロウィン	(当初予定日) 10月17日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、各種くるくる体験、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、GECsの紙パックランタン作りによるくるくるワークショップとして開催しました。 尚、子どもを対象とするハロウィンのお菓子のすくい取りは使用のお玉杓子の消毒の徹底に努めて実施しました。	112名	158名

くるコレ フェスタ	(当初予定日) 11月21日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、各種くるくる体験、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、によるくるくるワークショップとして開催しました。 尚、くるくるコレクションについては3密回避に注意を払い、単独で表彰式を実施しました。	184名	184名
くるくる クリスマス	(当初予定日) 12月19日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、各種くるくる体験、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、GECsのトイレトペーパー芯を使った獅子舞作りによるくるくるワークショップとして開催しました。	141名	222名
くるくる 春フェスタ	(当初予定日) 3月14日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、各種くるくる体験、パナソニックLED親子あかり工作教室(あかりのエコ講義及びLED家ライト工作)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、クラフトマンエッセンスの廃段ボール工作、尾舞鳥工作によるくるくるワークショップとして開催しました。	109名	141名
合 計			883名	1,071名

(注) 参加者数は当日の来館者実数を記載。

## ② おもちゃ病院

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館期間にかかる5月、6月を除きおもちゃ病院を閉院し、市民が持ち込んだ壊れたおもちゃを、おもちゃドクターが即日又は入院修理し、リユースの啓発活動を行いました。

実 施 日		修 理 件 数	前年度修理件数
第1回	4月 11日(日)	5件	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第2回	(当初予定日) 5月 2日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第3回	(当初予定日) 6月20日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第4回	7月18日(日)	16件	31件
第5回	8月15日(日)	11件	22件
第6回	9月19日(日)	8件	7件
第7回	10月18日(日)	12件	8件
第8回	11月15日(日)	9件	4件

第9回	12月13日(日)	14件	12件
第10回	1月17日(日)	16件	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第11回	2月21日(日)	13件	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第12回	3月14日(日)	14件	7件
合 計		118件	91件

コ. リユース食器貸出に関する事業(自主事業)

	件数	食器類	箸等	前 年 度		
				件数	食器類	箸等
貸出	吹田市内	0件	0点	0点	0点	0点
	吹田市外	3件	775点	500点	0件	0点
合 計		3件	775点	500点	0件	0点
洗浄作業受託(注)	(2社)	5,844点	0点			
総 計			6,619点	500点		

(注)他の法人・団体が有するリユース食器の洗浄作業を受託するもので、件数欄には依頼した法人・団体数を記載しています。

サ. 会員(プラザメイト)に関する事業(自主事業)

ごみ問題や地球温暖化などの環境問題をより多くの人々に理解してもらい、つながりを広げてゆくため会員(プラザメイト)を募集しました。会員には、財団が発行する情報紙や、各種催しの案内を送付しました。

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

ア. 研究報告書の発行に関する事業(受託事業)

令和2年度の市民研究所各プロジェクトの研究成果等を研究報告書としてまとめ、7月に発行しました。

イ. 市民研究員による調査・研究及び実践活動(自主事業)

市民研究員がテーマごとにプロジェクトチームを組織し、生活者の視点で調査・研究を行うとともに、啓発・普及のための実践活動の実施を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度も引き続き制限された中での活動を行いました。

プロジェクト名	活 動 内 容	開催数
エコ体験	<p>小学生及び一般市民への環境問題啓発方法の研究を行う。 ～新しい教材開発として「プラスチックごみの話」</p> <p>(上半期) 新市民研究員への研修も兼ねて、作業工程や役割分担を定例会で確認。また今後の進め方についても協議した。併せて使用器具の整備等も行った。</p> <p>(下半期) 来年度に「紙すき体験と環境」アクションチームとして再編成するため、紙すきとエコゲームにしぼった環境出前講座の準備に取りかかった。また新たなメンバーに実技研修を行いチームの活性化に努めた。</p>	14回

<p>手作りおもちゃと環境</p>	<p>廃品を再利用した手作りおもちゃの指導を通して、ごみの減量化と環境問題の啓発・意識の向上を図る。</p> <p>(上半期) くるくるワークショップでのおもちゃ作りを3回、施設見学後の体験活動を1回実施。ごみを減らす意識を持ってもらえるように導入時の説明内容の充実に努めた。またチームの情報発信のため動画作成の学習会に参加し準備を進めた。</p> <p>(下半期) 「手作りおもちゃと環境」アクションチームとして、活動を支える有効な人員配置やメンバーに対する実技研修に努めた。</p>	<p>31回</p>
<p>市民とお店をエコでつなぐ</p>	<p>「食品ロス削減」は社会の大きな問題でもあり引き続き研究し、新テーマとして「プラスチックごみ」(食品トレー)を取り上げる。</p> <p>(上半期) 施設見学後の体験活動を1回実施。また、定例会では出前講座の動画作りやリモート授業にむけ、具体的な方法や内容を検討した。動画作成については学習会も実施し、具体的な作業を開始した。また、プラスチックごみに対する取組みを調査するため、他市の見学を計画した。</p> <p>(下半期) プラスチックごみの削減について、3年計画として、まず資料収集を実施。環境出前講座については、食品ロスすごろくの改訂版を作成。 家庭から出るプラスチックごみを各メンバーが持ち寄り、分析調査した。プラスチックごみの視覚化による、環境問題啓発の手法を検討。また、環境出前講座「ふろしきの包み方」の動画も作成に取りかかった。</p>	<p>22回</p>
<p>吹田ごみゼロシステム研究</p>	<p>平成7年発行の「吹田ごみ物語」改訂版を作成し発行。その後、行政と情報交換し「捨てるをなくす」ごみゼロに向けての仕組(システム)を研究。</p> <p>(上半期) 「吹田ごみ物語」のまとめ冊子について、内容と作業手順について協議した。また各個人の研究テーマについて、主担研究員と意見交換を行い深めた。これまでにアップしたブログ集を「吹田ごみペディア」と題して、印刷製本し関係者に配付した。また、毎月の定例会を対面型とリモート型を併用して実施し、各メンバーの取組みの進捗状況を報告しあい、情報交流に努めた。</p> <p>(下半期) チーム内でまとめたプラスチック関連についての質問をZoom会議で環境政策室に回答いただいた。「市民とお店PT」もアドバイザーとして同席。次年度も年間2回環境政策室との会議を設定し、提案型の会議として有効に活用する。</p>	<p>25回</p>
<p>身近な環境を調べよう</p>	<p>吹田市及びその周辺地区の河川や池の環境を調べ、特にごみ減量のための啓発活動を行う。</p> <p>(上半期) 昨年度の調査の反省をふまえ、調査項目を見直し、機材等も整備し春の糸田川フィールドワークを実施。定例会では、樹木の基礎マップを作成し四季の変化を調査することとした。 8月のフィールドワークでは、専門家を招き、特に植物について貴重な話を聞いた。中でも外来生物について、今後も注目し調査を進める。また、動画作成については学習会に参加し、シナリオ作りから開始。</p> <p>(下半期) 連携を予定していた学校の状況を把握し、実施要項を確認した。また、糸田川沿いのフィールドワークを実施し、環境調査の試行として、マップの確認、チェックシートの記入などを実施。2月に主担研究員に同行してもらい、現地調査を敢行。新メンバーも迎えて令和4年度はチーム発足3年目になるので、糸田川調査マップの完成や動画作成に向けて協議を進行中である。</p>	<p>20回</p>

SDGs啓発プログラム作成	SDGs啓発のためのプログラムを作成する。	17回
	(上半期) SDGs啓発のため、まず情報共有の方法を考え、項目の選択や運営、活用について検討した。また9月に千里第三小学校での授業を実施するにあたり、授業の内容を定例会で検討し協議し準備を進めてきたが、学校の事情で中止になった。 (下半期) 定例会では、今後の方向性を話し合いゲーム形式での啓発を進めるために、積極的に研修会などに参加し情報収集することを決定した。 次年度から、「SDGs啓発プロジェクトチーム」と改名して再スタートの協議を開始。特に、くるくるワークショップや環境出前講座において、子供たちにわかりやすくSDGsを理解してもらえる内容の出前講座の準備に取りかかった。	
合 計		129回
合 計 ( 前 年 度 )		127回

くるくるつながり広場	(上半期) 9月4日(土)、代表者会の後にSDGs啓発プログラム作成プロジェクトチームの活動報告を実施。SDGs説明のコンテンツや小学校で予定していた授業を紹介。	3回
	(下半期) 新規PTの「SDGs啓発プログラム作成PT」、「身近な環境をしらべようPT」の発表、報告及び「吹田ごみ物語改訂版編集PT」の成果発表及びSDGsカードゲームの体験を実施。	(3回)

( )内は前年度

ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行(自主事業)

市民研究員の調査・研究、実践活動を中心とした機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行及びホームページへの掲載を行いました。

号 数	No.	発行部数	配 布 先
2021年5月号	303号	各850部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
2021年7月号	304号		
2021年9月号	305号		
2021年11月号	306号		
2022年1月号	307号		
2022年3月号	308号		

エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行(自主事業)

一般市民で構成したスタッフが情報収集し編集した、環境問題に関する身近で役立つ情報を中心とした情報紙「くるくるプラザ」を次のとおり発行し、ホームページにも掲載しました。

号数	発行月	発行部数	配布先
89号	7月	各1,500部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
90号	11月		
91号	3月		

オ. 図書・雑誌等の閲覧コーナーの常設・貸し出し及びホームページの公開(自主事業)

図書・雑誌などの閲覧コーナーについては、新型コロナウイルス禍による休館時を除き、開館時に貸し出しを行いました。また財団ホームページの公開を行いました。

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

ア. 講演会の開催(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1四半期の6月20日に予定していた講演会は9月19日に実施しました。

事業名	実施日	内容	対象者	参加者数	会場
環境問題講演会	9月19日(日)	(テーマ) 冷蔵庫収納家の福田かずみ氏による「SDGsと食品ロスを出さない冷蔵庫収納」の講演会	一般市民	27名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
計		1回	(注)	27名	( - )

(注)第2四半期報告にはスタッフも含めていましたが、通期の事業報告には含めない ( )内は前年度ものとします。

イ. 入門講座・研修講座の開催(受託・自主事業)

(受託事業)

事業名	実施日	内容	対象者	参加者数	会場
くるくるキッズ環境スクール	7月18日(日)	開講式、工房体験(サンドブラスト)、紙バックを使ったおもちゃ作り	受講者	12名	プラザ講義室1 プラザ市民工房3 プラザ講義室2
	(当初予定日) 8月5日(木)	親子見学バスツアー	受講者	中止	(当初予定) 伊丹市昆虫館、 兵庫県立人と自然の博物館
			[スタッフ]		
	8月18日(水)	工房体験(木工、紙すき)	受講者	13名	プラザ市民工房2 プラザB棟ホール
		[スタッフ]	[5名]		
11月13日(土)	ミニ万博ごみゼロウォーク(プラザからパナソニックスタジアム周辺までの区間のごみ拾い)、及び閉校式	受講者	8名	万博公園周辺 プラザB棟ホール	
		[スタッフ]	[3名]		
計		3回	のべ 受講者数	33名	( - )

(注)参加者数には保護者数も含む

( )内は前年度

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は期間を短縮し9月に開校したくるくる環境スクールは6回の連続講座として実施し、市民研究員研修講座は1回開催しました。

(自主事業)

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくる環境スクール	7月10日(土)	開講式と木工体験	受講者	16名	プラザ講義室2 プラザB棟ホール
			[スタッフ]	[5名]	
	8月25日(水)	金子泰純主担研究員 特別講義「ごみとつきあう」	受講者	15名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
	9月19日(日)	環境問題講演会聴講「SDGsと食品ロスを出さない冷蔵庫収納」	受講者	14名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
	9月25日(土)	兵庫県立一庫公園及び川西市黒川地区の散策と自然観察	受講者	14名	川西市黒川地区
[スタッフ]			[5名]		
10月3日(日)	「市民研究所プロジェクト体験1」 柚山事務局長による、市民研究所のあゆみについての講義と、PT体験(3つのPTの活動紹介)	受講者	14名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[14名]		
10月24日(日)	「市民研究所プロジェクト体験2」 PT体験(3つのPTの活動紹介)とグループワークのディスカッション及び発表	受講者	13名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[10名]		
12月11日(土)	各PTと受講者による、環境問題とボランティア活動についてのグループ討議、及び閉校式	受講者	11名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[13名]		
計	7回		のべ 受講者数	97名	(6回 90名)
市民研究員 研修講座	8月25日(水)	金子泰純主担研究員 特別講義「ごみとつきあう」	受講者	11名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[5名]	
	9月19日(日)	環境問題講演会聴講「SDGsと食品ロスを出さない冷蔵庫収納」	受講者	12名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[7名]	
11月20日(土)	神戸大学名誉教授で吹田自然観察会の武田義明氏による吹田の外来生物についての講義	受講者	12名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[3名]		
1月15日(土)	SDGs de 地方創生カードゲームの公認ファシリテーター川辺 友之氏による「SDGsカードゲームで学ぼう」体験	受講者	16名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[4名]		
計	4回		のべ 受講者数	51名	(1回 28名)
合計	(注) 11回		のべ 受講者数	148名	(7回 118名)

(注)8月25日(水)、9月19日(日)の特別講義と環境問題講演会は環境スクールと市民研究員研修講座の両方で実施回数に数える。ただし受講者数は二重に数えない。( )内は前年度

ウ. 環境出前講座の実施(自主事業)

市民研究員による環境出前講座は「くるくるワークショップ」「施設見学後の体験」を交えて実施しました。また外部へ出向く講座としては、公民館での2件の実施を除き、小中学校の授業・クラブ活動、環境学習等を対象とした実施、支援は本年度は要請がなく実施しませんでした。

実施日	内容	対象者	参加者数	会場
4月11日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (二連風車)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザB棟ホール
6月24日(木)	【施設見学後の体験】 ふるしきの活用	吹田第三小学 校4年生	6名	プラザB棟会議室
6月24日(木)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田第三小学 校4年生	19名	プラザ講義室1
8月15日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (水車ボート)	事前予約の 4才～小学生	14名	プラザB棟ホール
9月19日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (サイコロキューブ)	事前予約の 4才～小学生	12名	プラザマルチホール
10月17日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (マスカレードマスク)	事前予約の 4才～小学生	14名	プラザマルチホール
10月22日(金)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	高野台小学校 4年生	14名	プラザ講義室2
10月22日(金)	【施設見学後の体験】 ふるしきの包み方	高野台小学校 4年生	6名	プラザ講義室1
11月5日(金)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	江坂大池小学校 4年生	20名	プラザ講義室2
11月5日(金)	【施設見学後の体験】 ふるしきの活用	江坂大池小学校 4年生	9名	プラザ講義室1
11月21日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (からくり屏風)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
11月25日(木)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田第一小学 校 4年生	20名	プラザ講義室1
12月9日(木)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	岸部第一小学 校 4年生	17名	プラザ講義室1
12月19日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (UFOぶんぶんゴマ)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール

2月2日(水)	ふろしきの活用	はばたこう塾 塾生	11名	南千里中央公民館
2月16日(水)	ふろしきの活用	はばたこう塾 塾生	9名	南千里中央公民館
3月13日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (ヘリコプター)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
合 計	17 回	231名	(5回 335名)	

( )内は前年度

エ. 環境学習発表会及び展示発表会の開催(自主事業)

教室からの発信「広がれ！環境の輪」と題して、小中学校等で取り組まれている環境学習の成果を発表、交流しあう発表会と展示発表会は新型コロナウイルス感染拡大防止のためWEB開催とし、片山小学校、東山田小学校、豊津第一小学校、大商学園高等学校の4校が参加しました。

オ. 職場体験・大学関係等の支援(自主事業)

吹田市立中学校・インターンシップ学生の受入れは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度も昨年度に引続き中止しました。

2. 収益事業等として、次の事業を実施しました。(収1)

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務を、次のとおり実施しました。

(1) 施設の管理運営

ア. 貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務(受託事業)

貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務を行いました。使用件数、使用者数及び使用料の徴収額は下記のとおりでした。

開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額	前年度			
				開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額
247日	454件	8,133名	424,100円	212日	512件	8,281名	272,350円

イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務(受託事業)

指定された建物部分及び貸与備品等の管理業務を行いました。

附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補則する重要な事項」がないので作成しません。

# 令和3年度 決算書

公益財団法人 千里リサイクルプラザ

## 貸借対照表

会計区分 全体

令和04年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高	329,241	274,270	54,971
普通預金	20,842,765	12,280,958	8,561,807
通常貯金	1,405,112	1,390,472	14,640
定額貯金	5,500,000	5,500,000	0
現金預金合計	28,077,118	19,445,700	8,631,418
貯蔵品	19,840	22,264	△2,424
未収金	15,838	0	15,838
前払金	53,120	53,693	△573
前払費用	54,714	77,846	△23,132
流動資産合計	28,220,630	19,599,503	8,621,127
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,280,000	3,280,000	0
投資有価証券	1,177,376,000	1,223,216,000	△45,840,000
基本財産合計	1,180,656,000	1,226,496,000	△45,840,000
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	3,420,849	6,004,264	△2,583,415
30周年記念事業積立資産	0	800,000	△800,000
実践教室運営資産取得資金	1,600,000	1,600,000	0
特定資産合計	5,020,849	8,404,264	△3,383,415
(3) その他固定資産			
什器備品	4,731,230	844,737	3,886,493
ソフトウェア	264,600	415,800	△151,200
長期前払費用	0	54,714	△54,714
その他固定資産合計	4,995,830	1,315,251	3,680,579
固定資産合計	1,190,672,679	1,236,215,515	△45,542,836
資産合計	1,218,893,309	1,255,815,018	△36,921,709
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,601,509	3,315,259	4,286,250
未払消費税等	1,178,700	1,260,000	△81,300
預り金	2,368,561	1,642,783	725,778
前受金	69,200	47,200	22,000
賞与引当金	1,415,000	1,378,000	37,000
流動負債合計	12,632,970	7,643,242	4,989,728
負債合計	12,632,970	7,643,242	4,989,728

(20)

## 貸借対照表

会計区分 全体

令和04年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	1,180,656,000	1,226,496,000	△45,840,000
出捐金	1,180,656,000	1,226,496,000	△45,840,000
(うち基本財産への充当額)	(1,180,656,000)	(1,226,496,000)	(△45,840,000)
2. 一般正味財産	25,604,339	21,675,776	3,928,563
(うち特定資産への充当額)	(5,020,849)	(8,404,264)	(△3,383,415)
正味財産合計	1,206,260,339	1,248,171,776	△41,911,437
負債及び正味財産合計	1,218,893,309	1,255,815,018	△36,921,709

## 正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益(経常)	18,720,328	18,720,493	△165
投資有価証券受取利息(経常)	18,720,000	18,720,000	0
預貯金受取利息(経常)	328	493	△165
特定資産運用益	805	616	189
会費収益	45,000	64,000	△19,000
事業収益	51,865,461	51,912,071	△46,610
吹田市受託事業収益	49,738,610	50,407,291	△668,681
受講料収益	811,100	494,600	316,500
工房成果品販売収益	563,850	544,350	19,500
セカンド品販売収益	173,000	212,300	△39,300
フリーマーケット出店手数料収益	322,800	160,000	162,800
リユース食器貸出手数料収益	63,591	0	63,591
その他事業収益	192,510	93,530	98,980
受取寄付金	0	5,000	△5,000
雑収益	27,395	14,180	13,215
経常収益計	70,658,989	70,716,360	△57,371
(2) 経常費用			
事業費	49,289,890	49,280,903	8,987
給料手当	18,037,002	17,737,426	299,576
賞与	2,358,936	2,166,453	192,483
臨時雇賃金	8,516,188	8,086,635	429,553
福利厚生費	4,246,654	4,155,440	91,214
賞与引当金繰入額	973,097	920,228	52,869
会議費	880	0	880
旅費交通費	1,786,468	1,649,816	136,652
通信運搬費	398,687	623,814	△225,127
減価償却費	328,609	190,791	137,818
消耗什器備品費	874,970	216,200	658,770
消耗品費	1,963,222	3,610,145	△1,646,923
修繕費	81,730	264,730	△183,000
印刷製本費	151,800	312,400	△160,600
燃料費	8,607	9,340	△733
光熱水料費	39,490	79,998	△40,508
使用料	146,020	225,400	△79,380
賃借料	77,000	71,500	5,500
支払手数料	1,623	1,166	457
保険料	42,490	42,920	△430
諸謝金	3,878,780	3,117,370	761,410

(22)

## 正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
租税公課	1,789,817	1,865,406	△75,589
広告宣伝費	230,000	280,000	△50,000
委託費	3,344,400	3,653,675	△309,275
雑費	13,420	50	13,370
管理費	17,440,536	18,502,320	△1,061,784
役員報酬	1,668,000	1,634,800	33,200
給料手当	8,191,026	8,304,750	△113,724
賞与	1,071,244	1,077,705	△6,461
臨時雇賃金	1,087,833	1,507,980	△420,147
福利厚生費	2,043,647	2,070,479	△26,832
賞与引当金繰入額	441,903	457,772	△15,869
旅費交通費	584,946	625,124	△40,178
通信運搬費	114,300	124,843	△10,543
減価償却費	359,396	423,494	△64,098
消耗什器備品費	0	243,360	△243,360
消耗品費	73,205	153,059	△79,854
燃料費	23,778	19,581	4,197
使用料	145,476	62,390	83,086
賃借料	223,663	212,357	11,306
支払手数料	46,520	75,136	△28,616
保険料	63,780	62,840	940
諸謝金	200,925	320,535	△119,610
租税公課	605,433	546,344	59,089
支払負担金	151,105	156,105	△5,000
広告宣伝費	20,000	20,000	0
委託費	299,166	403,666	△104,500
雑費	25,190	0	25,190
経常費用計	66,730,426	67,783,223	△1,052,797
当期経常増減額	3,928,563	2,933,137	995,426
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,928,563	2,933,137	995,426
一般正味財産期首残高	21,675,776	18,742,639	2,933,137
一般正味財産期末残高	25,604,339	21,675,776	3,928,563

## 正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益(指定)	18,720,328	18,720,493	△165
投資有価証券受取利息(指定)	18,720,000	18,720,000	0
預貯金受取利息(指定)	328	493	△165
基本財産評価損	△45,840,000	△46,128,000	288,000
投資有価証券評価損	△45,840,000	△46,128,000	288,000
一般正味財産への振替	△18,720,328	△18,720,493	165
一般正味財産への振替(投資有価証券受取利息)	△18,720,000	△18,720,000	0
一般正味財産への振替(預貯金受取利息)	△328	△493	165
当期指定正味財産増減額	△45,840,000	△46,128,000	288,000
指定正味財産期首残高	1,226,496,000	1,272,624,000	△46,128,000
指定正味財産期末残高	1,180,656,000	1,226,496,000	△45,840,000
III 正味財産期末残高	1,206,260,339	1,248,171,776	△41,911,437

## 正味財産増減計算書内訳表

会計区分 全体

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
	(公1)	(収1)			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益(経常)	11,213,476	0	7,506,852	0	18,720,328
投資有価証券受取利息(経常)	11,213,280	0	7,506,720	0	18,720,000
預貯金受取利息(経常)	196	0	132	0	328
特定資産運用益	482	0	323	0	805
会費収益	45,000	0	0	0	45,000
事業収益	36,671,825	2,661,595	12,532,041	0	51,865,461
吹田市受託事業収益	34,544,974	2,661,595	12,532,041	0	49,738,610
受講料収益	811,100	0	0	0	811,100
工房成果品販売収益	563,850	0	0	0	563,850
セカンド品販売収益	173,000	0	0	0	173,000
フリーマーケット出店手数料収益	322,800	0	0	0	322,800
リユース食器貸出手数料収益	63,591	0	0	0	63,591
その他事業収益	192,510	0	0	0	192,510
雑収益	15,713	0	11,682	0	27,395
経常収益計	47,946,496	2,661,595	20,050,898	0	70,658,989
(2) 経常費用					
事業費	46,628,295	2,661,595	0	0	49,289,890
給料手当	16,966,898	1,070,104	0	0	18,037,002
賞与	2,218,984	139,952	0	0	2,358,936
臨時雇賃金	8,516,188	0	0	0	8,516,188
福利厚生費	4,015,758	230,896	0	0	4,246,654
賞与引当金繰入額	915,365	57,732	0	0	973,097
会議費	880	0	0	0	880
旅費交通費	1,720,651	65,817	0	0	1,786,468
通信運搬費	398,687	0	0	0	398,687
減価償却費	328,609	0	0	0	328,609
消耗什器備品費	703,370	171,600	0	0	874,970
消耗品費	1,410,481	552,741	0	0	1,963,222
修繕費	81,730	0	0	0	81,730
印刷製本費	33,000	118,800	0	0	151,800
燃料費	8,607	0	0	0	8,607
光熱水料費	39,490	0	0	0	39,490
使用料	74,740	71,280	0	0	146,020
賃借料	77,000	0	0	0	77,000
支払手数料	1,623	0	0	0	1,623
保険料	16,130	26,360	0	0	42,490
諸謝金	3,878,780	0	0	0	3,878,780
租税公課	1,668,704	121,113	0	0	1,789,817
広告宣伝費	230,000	0	0	0	230,000
委託費	3,309,200	35,200	0	0	3,344,400
雑費	13,420	0	0	0	13,420

## 正味財産増減計算書内訳表

会計区分 全体

令和03年04月01日 から 令和04年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
	(公1)	(収1)			
管理費	0	0	17,440,536	0	17,440,536
役員報酬	0	0	1,668,000	0	1,668,000
給料手当	0	0	8,191,026	0	8,191,026
賞与	0	0	1,071,244	0	1,071,244
臨時雇賃金	0	0	1,087,833	0	1,087,833
福利厚生費	0	0	2,043,647	0	2,043,647
賞与引当金繰入額	0	0	441,903	0	441,903
旅費交通費	0	0	584,946	0	584,946
通信運搬費	0	0	114,300	0	114,300
減価償却費	0	0	359,396	0	359,396
消耗品費	0	0	73,205	0	73,205
燃料費	0	0	23,778	0	23,778
使用料	0	0	145,476	0	145,476
賃借料	0	0	223,663	0	223,663
支払手数料	0	0	46,520	0	46,520
保険料	0	0	63,780	0	63,780
諸謝金	0	0	200,925	0	200,925
租税公課	0	0	605,433	0	605,433
支払負担金	0	0	151,105	0	151,105
広告宣伝費	0	0	20,000	0	20,000
委託費	0	0	299,166	0	299,166
雑費	0	0	25,190	0	25,190
経常費用計	46,628,295	2,661,595	17,440,536	0	66,730,426
当期経常増減額	1,318,201	0	2,610,362	0	3,928,563
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,318,201	0	2,610,362	0	3,928,563
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,318,201	0	2,610,362	0	3,928,563
一般正味財産期首残高	△2,658,694	0	24,334,470	0	21,675,776
一般正味財産期末残高	△1,340,493	0	26,944,832	0	25,604,339
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益(指定)	11,213,476	0	7,506,852	0	18,720,328
投資有価証券受取利息(指定)	11,213,280	0	7,506,720	0	18,720,000
預貯金受取利息(指定)	196	0	132	0	328
基本財産評価損	△27,458,160	0	△18,381,840	0	△45,840,000
投資有価証券評価損	△27,458,160	0	△18,381,840	0	△45,840,000
一般正味財産への振替	△11,213,476	0	△7,506,852	0	△18,720,328
一般正味財産への振替(投資有価証券受取利息)	△11,213,280	0	△7,506,720	0	△18,720,000
一般正味財産への振替(預貯金受取利息)	△196	0	△132	0	△328
当期指定正味財産増減額	△27,458,160	0	△18,381,840	0	△45,840,000
指定正味財産期首残高	731,376,384	0	495,119,616	0	1,226,496,000
指定正味財産期末残高	703,918,224	0	476,737,776	0	1,180,656,000
III 正味財産期末残高	702,577,731	0	503,682,608	0	1,206,260,339

(26)

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券以外の有価証券のうち市場価格のあるものについては、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、有形・無形ともに定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金は、職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,280,000	0	0	3,280,000
投資有価証券	1,223,216,000	0	45,840,000	1,177,376,000
小 計	1,226,496,000	0	45,840,000	1,180,656,000
特定資産				
減価償却引当資産	6,004,264	463,083	3,046,498	3,420,849
30周年記念事業積立資産	800,000	0	800,000	0
実践教室運営資産取得資金	1,600,000	0	0	1,600,000
小 計	8,404,264	463,083	3,846,498	5,020,849
合 計	1,234,900,264	463,083	49,686,498	1,185,676,849

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,280,000	(3,280,000)	(0)	—
投資有価証券	1,177,376,000	(1,177,376,000)	(0)	—
小 計	1,180,656,000	(1,180,656,000)	(0)	—
特定資産				
減価償却引当資産	3,420,849	(0)	(3,420,849)	—
30周年記念事業積立資産	0	(0)	(0)	—
実践教室運営資産取得資金	1,600,000	(0)	(1,600,000)	—
小 計	5,020,849	(0)	(5,020,849)	—
合 計	1,185,676,849	(1,180,656,000)	(5,020,849)	—

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	11,272,299	6,541,069	4,731,230
ソフトウェア	3,706,500	3,441,900	264,600
合 計	14,978,799	9,982,969	4,995,830

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については財務諸表に対する注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,378,000	1,415,000	1,378,000	0	1,415,000

# 財 産 目 録

令和04年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>				
現金預金 現金手元有高 普通預金 通常貯金 定額貯金 貯蔵品 未収金 前払金 前払費用	手元保管 小口払い・釣銭用 収入等一時保管	運転資金	329,241	
			124,431	
			204,810	
	りそな銀行吹田支店 北おおさか信用金庫吹田支店	運転資金	20,821,702	
		同 上	21,063	
	ゆうちょ銀行（通常口座） ゆうちょ銀行（振替口座）	同 上	1,107,124	
		同 上	297,988	
	ゆうちょ銀行	同 上	5,500,000	
	<b>&lt;現金預金計&gt;</b>			<b>28,077,118</b>
	手元保管	郵便切手等	19,840	
	日本マイクロソフト(株)他	リユース食器洗浄料他	15,838	
	ザ・ニュー・インテ`ィア・アシュアランス・カンパ`ニー・リミテッド`大阪支店	施設賠償責任保険	26,360	
	吹田商工会議所	特定退職金共済掛金	16,000	
	(株)リブホーム	ボランティア保険	10,560	
	国税庁	印刷機保守契約印紙	200	
<b>&lt;前払金計&gt;</b>			<b>53,120</b>	
富士テレコム(株)	サーバ・ネットワーク機器保守費用（令和4年度分）	54,714		
<b>流動資産合計</b>			<b>28,220,630</b>	
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	定期預金	北おおさか信用金庫吹田支店	3,280,000	
			1,964,720	
			1,315,280	
	投資有価証券	大和証券(株)梅田支店(20年国債)	182,976,000	
			109,602,624	
			73,373,376	
	SMB C日興証券(株)	大阪公益法人営業部(30年国債)	994,400,000	
			595,645,600	
			398,754,400	
	<b>&lt;基本財産計&gt;</b>			<b>1,180,656,000</b>
特定資産	減価償却引当資産	<定期預金> 北おおさか信用金庫吹田支店	3,420,849	
	実践教室運営資産取得資金	同 上	1,600,000	
<b>&lt;特定資産計&gt;</b>			<b>5,020,849</b>	
その他固定資産	什器備品	プロジェクター1台	1	
		食器洗浄機1台	1	
		食器消毒保管庫1台	1	
		印刷機(カラー刷り)1台	1	
		印刷機(多機能カラー刷り)1台	1	

# 財 産 目 録

令和04年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	サーバ(共通) 1台	(共用財産) うち公益目的事業用59.9% うち管理運営40.1%	381,650 228,608 153,042
	ソフトウェア	財務会計ソフト(予算作成機能追加) 管理運営に使用	<什器備品計> 4,731,230 264,600
<b>固定資産合計</b>			<b>1,190,672,679</b>
<b>資産合計</b>			<b>1,218,893,309</b>
(流動負債)	未払金	役員 嘱託職員 臨時雇用員 吹田年金事務所 大阪労働局 西日本電信電話(株) 日本郵便(株) (株)大塚商会他 リコージャパン(株) 主担研究員他 (公社)吹田市シルバー人材センター他 NECネットアイ(株) (株)ジェイシービー 伊丹産業(株) アジェンダ21すいた (株)KDDIエボルバ 理想科学工業(株)	役員報酬 112,000 役付手当他 241,278 臨時雇賃金他 989,208 社会保険料 411,983 労働保険料 75,645 電話代 3,108 郵送料 14,980 事務所用他消耗品 602,301 コピー機賃借料 375 謝金 376,100 業務委託費 312,750 ZOOMライセンス料 26,400 軽自動車ガソリン代 5,381 燃料代 602 年会費 5,000 市民研究員弔電 1,100 印刷機 4,423,298  <未払金計> 7,601,509
	未払消費税等 預り金	国税庁 嘱託職員他 嘱託職員 嘱託職員他 嘱託職員 嘱託職員 らっくdeフリマ出店者 吹田市	1,178,700  源泉所得税 59,771 住民税 48,600 雇用保険料 16,170 健康保険料 139,355 厚生年金保険料 215,025 らっくdeフリマ売上金 104,250 指定管理委託料返還金 1,785,390  <預り金計> 2,368,561
	前受金	らっくdeフリマ出店者	らっくdeフリマ出店手数料 69,200
	賞与引当金	嘱託職員	公益目的事業及び管理運営事業 の業務に従事する職員の賞与の 引当金 1,415,000
<b>流動負債合計</b>			<b>12,632,970</b>
<b>負債合計</b>			<b>12,632,970</b>
<b>正味財産</b>			<b>1,206,260,339</b>

# 独立監査人の監査報告書

令和4年4月26日

公益財団法人 千里リサイクルプラザ

理事長 門脇 則子 殿

晴連監査法人

代表社員

業務執行社員

公認会計士

村上弘之

## 〈財務諸表監査〉

当監査法人は、公益財団法人千里リサイクルプラザの令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の財務諸表、即ち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録について監査を行った。

## 財務諸表に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続きが実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意思表示の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

公益財団法人千里リサイクルプラザと当監査法人、又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

# 監査報告書

公益財団法人 千里リサイクルプラザ  
理事長 門脇 則子 様

令和4年4月28日

監事

原田 憲



監事

上田 康雄



私たち監事は、当財団の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

損害賠償額の決定に関する専決処分について

市長の専決処分事項指定の議決に基づき次のとおり専決処分したので、地方自治法第180条第2項の規定により報告します。

令和4年5月26日

吹田市長 後藤圭二

専決処分 年月日	損害賠償額	事 故 の 概 要
令和4年 5月2日	385,000円	令和4年3月17日午後0時45分頃、福祉部障がい福祉室職員運転の軽自動車は、障害者支援交流センターの駐車場において、方向転換のため後進したところ、駐車中の相手方個人所有の軽乗用車に接触し、同車が損傷したものです。



損害賠償額の決定に関する専決処分について

市長の専決処分事項指定の議決に基づき次のとおり専決処分したので、地方自治法第180条第2項の規定により報告します。

令和4年5月26日

吹田市長 後藤圭二

専決処分 年月日	損害賠償額	事 故 の 概 要
令和4年 5月2日	209,255円	令和4年1月25日午後6時5分頃、吹田南小学校南側付近の吹田市南吹田4丁目13番32号先の市道において、建物火災の消火活動中の東消防署職員が、放水の準備のため消火栓を開放したところ、小型タンク車の中継口から漏水し、噴出した多量の水が相手方個人及び同人所有の電動自転車にかかり、同自転車が転倒し、同自転車及び相手方個人所有の物品が損傷したものです。



損害賠償額の決定に関する専決処分について

市長の専決処分事項指定の議決に基づき次のとおり専決処分したので、地方自治法第 1 8 0 条第 2 項の規定により報告します。

令和 4 年 5 月 2 6 日

吹田市長 後 藤 圭 二

専決処分 年月日	損害賠償額	事 故 の 概 要
令 和 4 年 5 月 1 1 日	36,877円	令和 4 年 3 月 2 5 日 午 前 1 0 時 3 3 分 頃、西消防署職員運転の救急車が、傷病者を救急搬送中、南千里中学校南側付近の吹田市春日 4 丁目 1 3 番先の交差点を南から東へ右折しようとしたところ、一時停止義務に違反して同交差点を北から南へ直進しようとした相手方個人所有の軽乗用車と接触し、同車が損傷したものです。



議案第50号

吹田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定  
について

吹田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を次のとおり制定  
します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

吹田市条例第 号

吹田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（案）

（吹田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正）

第1条 吹田市一般職の職員の給与に関する条例（昭和26年吹田市条例第165号）の一部を次のように改正する。

第28条第2項中「100分の127.5」を「100分の120」に改め、同条第3項中「100分の127.5」を「100分の120」に、「100分の72.5」を「100分の67.5」に改め、同条第4項中「100分の127.5」を「100分の120」に、「100分の167.5」を「100分の162.5」に改める。

（吹田市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正）

第2条 吹田市特別職の職員の給与に関する条例（昭和26年吹田市条例第166号）の一部を次のように改正する。

第2条第4項中「100分の220」を「100分の212.5」に改め、同条第5項中「第28条第6項」を「第28条第7項」に改める。

（吹田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正）

第3条 吹田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（平成20年吹田市条例第19号）の一部を次のように改正する。

第7条第2項中「100分の220」を「100分の212.5」に改める。

附 則

（1）

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第1条中吹田市一般職の職員の給与に関する条例第28条第4項の改正規定及び第2条中吹田市特別職の職員の給与に関する条例第2条第5項の改正規定は、令和4年10月1日から施行する。

(令和4年6月に支給する期末手当に関する特例措置)

- 2 令和4年6月に支給する一般職の職員の期末手当の額は、第1条の規定による改正後の吹田市一般職の職員の給与に関する条例第28条第2項(同条第3項の規定により読み替えて適用する場合を含む。)及び吹田市一般職の職員の給与に関する条例第9条の2第3項、第11条第1項から第3項まで、第5項若しくは第6項若しくは第28条第4項から第6項まで、吹田市職員の公益的法人等への派遣に関する条例(平成14年吹田市条例第6号)第4条又は吹田市職員の外国の地方公共団体の機関等への派遣に関する条例(平成19年吹田市条例第9号)第5条第1項の規定にかかわらず、これらの規定により算定される期末手当の額から、令和3年12月に支給された期末手当の額に、同月1日における次の各号に掲げる職員の区分ごとに、それぞれ当該各号に定める割合を乗じて得た額を減じた額とする。

(1) 再任用職員(地方公務員法(昭和25年法律第261号)第28条の4第1項、第28条の5第1項又は第28条の6第1項若しくは第2項の規定により採用された職員をいう。次号において同じ。)以外の職員 127.5分の15

(2) 再任用職員 72.5分の10

- 3 令和4年6月に支給する特別職の職員の期末手当の額は、第2条の規定による改正後の吹田市特別職の職員の給与に関する条例第2条第4項及び吹田市特別職の職員の給与に関する条例第2条第5項の規定にかかわらず、これらの規定により算定される期末手当の額から、令和3年12月に支給された期末手当の額に220分の15を乗じて得た額を減じた額とする。

- 4 令和4年6月に支給する吹田市議会議員の期末手当の額は、第3条の規定による改正後の吹田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例第7条第2項の規定にかかわらず、同項の規定により算定される期末手当の額から、令和3年12月に支給された期末手当の額に220分の15を乗じて得た額を減じた額とする。

(提案理由)

職員等の期末手当の改定等を行うため必要があるので、本案を提出するものです。

(2)

議案第 5 1 号

吹田市成長産業特別集積区域における成長産業の集積の促進及び国際競争力の強化に資する事業計画の認定並びに市税の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

吹田市成長産業特別集積区域における成長産業の集積の促進及び国際競争力の強化に資する事業計画の認定並びに市税の特例に関する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定します。

令和 4 年 5 月 2 6 日提出

吹田市長 後 藤 圭 二

吹田市条例第 号

吹田市成長産業特別集積区域における成長産業の集積の促進及び国際競争力の強化に資する事業計画の認定並びに市税の特例に関する条例の一部を改正する条例（案）

吹田市成長産業特別集積区域における成長産業の集積の促進及び国際競争力の強化に資する事業計画の認定並びに市税の特例に関する条例（平成 2 5 年吹田市条例第 6 号）の一部を次のように改正する。

第 8 条第 3 号中「（連結所得に対する法人税についてこれらの規定の適用を受けている場合を除く。）」を削り、「第 3 2 1 条の 8 第 2 5 項」を「第 3 2 1 条の 8 第 4 9 項」に改める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の吹田市成長産業特別集積区域における成長産業の集積の促進及び国際競争力の強化に資する事業計画の認定並びに市税の特例に関する条例第 8 条第 3 号の規定の適用については、当分の間、同号中「法人税法（昭和 4 0 年

法律第34号)第135条第1項、第2項若しくは第5項の規定の適用を受けている場合」とあるのは、「法人税法(昭和40年法律第34号)第135条第1項、第2項若しくは第5項の規定の適用を受けている場合(令和4年4月1日前に開始した事業年度に係る連結所得に対する法人税についてこれらの規定の適用を受けている場合を除く。)」とする。

(提案理由)

地方税法等の一部改正に伴う規定整備を行うため必要があるので、本案を提出するものです。

(2)

議案第52号

吹田市立吹田第一小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立吹田第一小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工事名 吹田市立吹田第一小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）
- 2 工事概要
- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 3棟    |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上3階               |
| 延床面積  | 1,144㎡                       |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |
| 6棟    |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上3階               |
| 延床面積  | 908㎡                         |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |
| 11棟   |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上1階               |
| 延床面積  | 22㎡                          |
| 工事内容  | 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事        |
- 3 工事場所 吹田市元町30番35号

(1)

- 4 工 期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和4年11月15日
- 5 請 負 金 額 152,149,800円
- 6 請 負 者 吹田市金田町5番10号  
株式会社関根工務店  
代表取締役 橋 本 一 郎

(2)

議案第53号

吹田市立千里第一小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立千里第一小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立千里第一小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
- 2 工 事 概 要
- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 2棟    |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上2階               |
| 延床面積  | 691㎡                         |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |
| 12棟   |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上3階               |
| 延床面積  | 1,628㎡                       |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |
| 13棟   |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上3階               |
| 延床面積  | 802㎡                         |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |

(1)

20棟（屋内運動場）

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階  
延床面積 755㎡  
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

21棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階  
延床面積 37㎡  
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

23棟

構造・階数 鉄骨造 地上1階  
延床面積 72㎡  
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事及び建具改修工事

24棟

構造・階数 鉄骨造 地上3階  
延床面積 35㎡  
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事及び防水改修工事

27棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階  
延床面積 95㎡  
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

3 工事場所 吹田市片山町4丁目32番10号

4 工期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和4年12月1日

5 請負金額 329,817,400円

6 請負者 吹田市岸部中1丁目7番18号  
カネイチ株式会社  
代表取締役 金村 勇 大

(2)

議案第54号

吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）
- 2 工 事 概 要
  - 6棟  
構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階  
延床面積 1,803㎡  
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
  - 7棟  
構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階  
延床面積 3,551㎡  
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
  - 8棟  
構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階  
延床面積 190㎡  
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 3 工 事 場 所 吹田市岸部中2丁目19番1号

(1)

- 4 工 期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和4年11月15日
- 5 請 負 金 額 225,375,700円
- 6 請 負 者 吹田市垂水町3丁目30番13号  
株式会社ライブエステート  
代表取締役 西 尾 義 則

(2)

議案第55号

吹田市立岸部第二小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）及び吹田市立岸部第二小学校給食調理室雨水排水改修工事請負契約の締結について

本市は、吹田市立岸部第二小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）及び吹田市立岸部第二小学校給食調理室雨水排水改修工事の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤 圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立岸部第二小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）及び吹田市立岸部第二小学校給食調理室雨水排水改修工事
- 2 工 事 概 要 及び 工 期 (1) 吹田市立岸部第二小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
- 5 棟
- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上4階               |
| 延床面積  | 333㎡                         |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |
- 7 棟
- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上3階               |
| 延床面積  | 2,101㎡                       |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |

(1)

8棟（屋内運動場）

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階

延床面積 776㎡

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

工期 着工 令和4年5月市議会議決後

完成 令和4年12月1日

(2) 吹田市立岸部第二小学校給食調理室雨水排水改修工事

16棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階

延床面積 86㎡

工事内容 給食調理室床下の排水改修工事

工期 着工 令和4年5月市議会議決後

完成 令和4年8月25日

3 工事場所 吹田市岸部北4丁目12番1号

4 請負金額 262,595,300円

5 請負者 吹田市山田東1丁目35番12号

株式会社ナカイ建設

代表取締役 中井直人

(2)

議案第56号

吹田市立山手小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結  
について

本市は、吹田市立山手小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立山手小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）
- 2 工 事 概 要

16棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
延床面積	1,374㎡
工事内容	外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
30棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
延床面積	1,564㎡
工事内容	外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 3 工 事 場 所 吹田市山手町2丁目15番43号
- 4 工 期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和4年11月15日
- 5 請 負 金 額 154,939,400円

(1)

6 請 負 者 吹田市昭和町1番6号  
三栄建設株式会社  
代表取締役 渡 辺 房 子

(2)

議案第57号

吹田市立津雲台小学校校舎大規模改造2期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立津雲台小学校校舎大規模改造2期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立津雲台小学校校舎大規模改造2期工事（建築工事）
- 2 工 事 概 要
- |       |                              |
|-------|------------------------------|
| 5棟    |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上3階               |
| 延床面積  | 116㎡                         |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |
| 6棟    |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上1階               |
| 延床面積  | 533㎡                         |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |
| 16棟   |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上1階               |
| 延床面積  | 259㎡                         |
| 工事内容  | 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事 |
| 17棟   |                              |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 地上1階               |

(1)

延床面積 259㎡  
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び  
び建具改修工事

18棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階

延床面積 259㎡

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び  
び建具改修工事

19棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階

延床面積 241㎡

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び  
び建具改修工事

3 工事場所 吹田市津雲台4丁目7番1号

4 工期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和4年11月15日

5 請負金額 151,717,500円

6 請負者 吹田市内本町2丁目16番15号  
岩本工業株式会社  
代表取締役 岩本光正

(2)

議案第58号

吹田市立山田中学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結  
について

本市は、吹田市立山田中学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立山田中学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）
- 2 工 事 概 要

7棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上3階
延床面積	916㎡
工事内容	外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
14棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
延床面積	1,532㎡
工事内容	外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
24棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上3階
延床面積	205㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 3 工 事 場 所 吹田市山田市場15番1号

(1)

4 工 期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和4年11月15日

5 請 負 金 額 200,860,000円

6 請 負 者 吹田市昭和町1番6号  
森繁建設株式会社  
代表取締役 木 下 繁

(2)

議案第59号

吹田市立山田東中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立山田東中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立山田東中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
- 2 工 事 概 要 4棟  
構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階  
延床面積 1,018㎡  
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 3 工 事 場 所 吹田市山田東4丁目33番1号
- 4 工 期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和4年11月1日
- 5 請 負 金 額 147,092,000円
- 6 請 負 者 吹田市原町1丁目4番13号  
エフワイ土木株式会社  
代表取締役 寺下 満



議案第60号

吹田市立江坂大池小学校校舎及び吹田市立江坂大池留守家庭児童育成室増築工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立江坂大池小学校校舎及び吹田市立江坂大池留守家庭児童育成室増築工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立江坂大池小学校校舎及び吹田市立江坂大池留守家庭児童育成室増築工事（建築工事）
- 2 工 事 概 要 校舎棟増築に伴う建築工事一式  
構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階  
延床面積 739㎡  
工事内容 増築工事、増築に伴う既存棟改修工事及び植栽工事
- 3 工 事 場 所 吹田市江坂町3丁目13番1号
- 4 工 期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和5年9月29日
- 5 請 負 金 額 204,523,000円
- 6 請 負 者 株式会社ビック  
吹田市岸部中1丁目24番1号  
代表取締役 久須美貴史



議案第61号

重文旧西尾家住宅主屋ほか6棟建造物保存修理工事（I期工事）請負契約  
の締結について

本市は、重文旧西尾家住宅主屋ほか6棟建造物保存修理工事（I期工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 重文旧西尾家住宅主屋ほか6棟建造物保存修理工事（I期工事）
- 2 工 事 概 要 (1) 構造・階数・面積  
主屋 玄関部 木造、建築面積72.22㎡、棧瓦葺  
居 住 部 木造、建築面積285.61㎡、一部2階建て、  
棧瓦 葺、渡廊下・浴室棟・客便所棟附属  
計量部屋部 木造、建築面積140.86㎡、棧瓦葺、西面居  
住部に接続  
米蔵 土蔵造、建築面積39.99㎡、本瓦葺  
納屋（米蔵北） 木造、延べ8.715m、梁間2.985m、本瓦葺  
納屋（北東） 木造、桁行21.27m、梁間1.515m、棧瓦葺  
外塀（旧蔵納屋外壁） 木造、延べ10.8m、雁振瓦葺  
(2) 工事内容  
保存修理工事、耐震対策工事
- 3 工 事 場 所 吹田市内本町2丁目15番11号

(1)

- 4 工 期 着工 令和4年5月市議会議決後  
完成 令和9年3月15日
- 5 請 負 金 額 836,638,000円
- 6 請 負 者 兵庫県神戸市北区山田町小部字惣六畑山2番1  
株式会社中島工務店神戸支店  
支店長 前 田 哲 也

(2)

議案第62号

(仮称)南千里駅前公共公益施設整備事業契約の一部変更について

本市は、(仮称)南千里駅前公共公益施設整備事業契約(平成21年9月28日議決第80号、平成23年12月26日議決第123号、平成24年9月26日議決第88号、平成25年3月27日議決第36号、平成27年3月25日議決第16号、平成28年3月25日議決第24号、平成29年3月22日議決第18号、平成30年3月26日議決第26号、平成31年3月25日議決第16号、令和2年3月23日議決第19号、令和3年3月23日議決第20号、令和4年3月23日議決第16号)の一部を次のとおり変更します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

変更部分

項目	変更前	変更後
5 契約金額	<p>8,428,631,464円が金利変動及び物価変動により改定される額に、消費税及び地方消費税を加算して得た額</p> <p>内 訳 設計・建設に係る対価 5,295,940,787円が金利変動により改定される額に、消費税及び地方消費税を加算して得た額 維持管理・運営に係る対価 3,132,690,677円が物価変動により改定される額に、消費税及び地方消費税を加算して得た額</p>	<p>8,381,207,743円が金利変動及び物価変動により改定される額に、消費税及び地方消費税を加算して得た額</p> <p>内 訳 設計・建設に係る対価 5,248,517,066円が金利変動により改定される額に、消費税及び地方消費税を加算して得た額 維持管理・運営に係る対価 3,132,690,677円が物価変動により改定される額に、消費税及び地方消費税を加算して得た額</p>

変更理由

（仮称）南千里駅前公共公益施設整備事業契約において、設計・建設に係る対価の割賦金利額について、施設の引渡日（平成24年6月30日）の2営業日前の基準金利と、令和4年3月31日の2営業日前の基準金利に差が生じた場合は、金利変動による改定を行う規定を定めているため。

議案第63号

(仮称) 岸部中住宅統合建替事業特定事業契約の一部変更について

本市は、(仮称) 岸部中住宅統合建替事業特定事業契約(平成30年3月26日議決第25号、平成30年12月25日議決第113号、令和元年8月2日議決第70号、令和元年12月19日議決第143号、令和2年6月29日議決第78号、令和3年6月28日議決第65号)の一部を次のとおり変更します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤 圭二

変更部分

項目	変更前	変更後
5 契約金額	2,093,589,099円	2,163,934,319円
	内訳	内訳
	(1) 岸部中住宅等整備に係る対価	(1) 岸部中住宅等整備に係る対価
	2,061,351,099円	2,131,696,319円
	工事出来高の確認時及び完工確認終了時に物価変動率の調整を行う	工事出来高の確認時及び完工確認終了時に物価変動率の調整を行う
	(2) 既存3団地入居者移転支援に係る対価	(2) 既存3団地入居者移転支援に係る対価
	32,238,000円	32,238,000円

変更理由

(仮称) 岸部中住宅統合建替事業特定事業契約において、岸部中住宅等整備に係る対価について、物価変動率に1.5%を超える増減が生じた場合には、物価変動率による調整を行うことが定められているため。



議案第64号

佐竹千里山駅線道路改良工事請負契約の一部変更について

本市は、佐竹千里山駅線道路改良工事請負契約（令和元年10月7日議決第90号、令和2年12月18日議決第142号、令和3年3月23日議決第21号、令和4年3月23日議決第17号）の一部を次のとおり変更します。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二

変更部分

項目	変更前	変更後
5 請負金額	391,636,300円	398,801,700円

変更理由

工事進捗に伴い、工事内容の精査及び掘削を行うなかで、防護柵の仕様に関して見直しが必要であると判断したこと及び撤去予定の既設コンクリート擁壁が当初想定していた形状と異なっていたこと等から工事内容の見直しが必要となったため、請負金額を変更するもの。

あわせて、賃金等の急激な上昇があったことから、工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）の規定に基づき、請負金額を変更するもの。



令和4年度吹田市一般会計補正予算（第1号）

令和4年度吹田市の一般会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ347,017千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ150,765,771千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二



第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
14 国庫支出金		31,961,429	3,965	31,965,394
	3 委託金	220,219	3,965	224,184
18 繰入金		10,380,818	△349,203	10,031,615
	1 基金繰入金	10,380,818	△349,203	10,031,615
19 諸収入		3,025,536	△1,779	3,023,757
	6 雑入	2,308,731	△1,779	2,306,952
歳入合計		151,112,788	△347,017	150,765,771

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 議会費		746,641	△10,972	735,669
	1 議会費	746,641	△10,972	735,669
2 総務費		14,782,053	△70,660	14,711,393
	1 総務管理費	11,354,823	△48,213	11,306,610
	2 徴税費	1,654,430	△12,037	1,642,393
	3 戸籍住民登録費	1,334,493	△7,108	1,327,385
	4 選挙費	309,755	△1,475	308,280
	5 統計調査費	25,876	△254	25,622
	6 監査委員費	102,676	△1,573	101,103
3 民生費		72,751,086	△86,474	72,664,612
	1 社会福祉費	25,336,268	△19,458	25,316,810
	2 児童福祉費	33,342,282	△56,203	33,286,079
	3 生活保護費	11,031,690	△6,376	11,025,314
	5 国民年金費	70,141	△704	69,437
	6 国民健康保険費	2,969,375	△3,733	2,965,642
4 衛生費		15,939,796	△44,622	15,895,174
	1 保健衛生費	9,691,330	△28,591	9,662,739
	2 清掃費	6,248,466	△16,031	6,232,435
5 労働費		201,656	△692	200,964
	1 労働諸費	201,656	△692	200,964
6 農業費		74,022	△771	73,251
	1 農業費	74,022	△771	73,251
7 商工費		2,196,715	△1,756	2,194,959
	1 商工費	2,196,715	△1,756	2,194,959

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
8 土 木 費		16,709,163	△37,561	16,671,602
	1 土 木 管 理 費	1,657,767	△21,354	1,636,413
	3 水 路 費	222,274	△1,284	220,990
	5 都 市 計 画 費	11,340,608	△12,607	11,328,001
	6 住 宅 費	953,729	△2,316	951,413
9 消 防 費		5,151,808	△46,525	5,105,283
	1 消 防 費	5,151,808	△46,525	5,105,283
10 教 育 費		15,852,142	△46,984	15,805,158
	1 教 育 総 務 費	4,287,906	△12,879	4,275,027
	4 幼 稚 園 費	1,083,306	△6,827	1,076,479
	5 社 会 教 育 費	4,412,815	△15,439	4,397,376
	6 保 健 体 育 費	2,731,742	△11,839	2,719,903
歳 出 合 計		151,112,788	△347,017	150,765,771

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 14 国庫支出金

(項) 3 委託金

目	補正前の額	補正額	計
5 教育費委託金	—	3,965	3,965
計	220,219	3,965	224,184

(款) 18 繰入金

(項) 1 基金繰入金

1 財政調整基金繰入金	7,257,090	△ 349,203	6,907,887
計	10,380,818	△ 349,203	10,031,615

(款) 19 諸収入

(項) 6 雑入

3 雑入	2,308,724	△ 1,779	2,306,945
計	2,308,731	△ 1,779	2,306,952

歳入合計	151,112,788	△ 347,017	150,765,771
------	-------------	-----------	-------------

(単位 : 千円)

節		説明
区分	金額	
1 いじめ対策・不登校 支援等推進事業委託 金	3,965	

1 財政調整基金繰入金	△ 349,203	

7 雑入	△ 1,779	

--	--	--

(款) 14 国庫支出金 (項) 3 委託金 ~ (款) 19 諸収入 (項) 6 雑入

( 7 )

## 歳出

(款) 1 議会費  
(項) 1 議会費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 議会費	746,641	△10,972	735,669			
計	746,641	△10,972	735,669			

(款) 2 総務費  
(項) 1 総務管理費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 一般管理費	6,525,201	△46,703	6,478,498			
23 男女共同参画費	163,528	△1,510	162,018			
計	11,354,823	△48,213	11,306,610			

(項) 2 徴税费

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 税務総務費	1,031,151	△12,037	1,019,114			
計	1,654,430	△12,037	1,642,393			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△10,972	3 職員手当等	△10,567	給与改定
	4 共 済 費	△405	給与改定
△10,972			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△46,703	3 職員手当等	△39,328	給与改定
	4 共 済 費	△7,375	給与改定
△1,510	3 職員手当等	△1,264	給与改定
	4 共 済 費	△246	給与改定
△48,213			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△12,037	3 職員手当等	△10,096	給与改定
	4 共 済 費	△1,941	給与改定
△12,037			

(款) 1 議会費 (項) 1 議会費 ~ (款) 2 総務費 (項) 2 徴税費

## (項) 3 戸籍住民登録費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 戸籍住民登録費	1,334,493	△7,108	1,327,385			
計	1,334,493	△7,108	1,327,385			

## (項) 4 選挙費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 選挙管理委員会費	118,958	△1,475	117,483			
計	309,755	△1,475	308,280			

## (項) 5 統計調査費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 統計調査総務費	19,233	△254	18,979			
計	25,876	△254	25,622			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△7,108	3 職 員 手 当 等	△5,945	給与改定
	4 共 済 費	△1,163	給与改定
△7,108			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△1,475	3 職 員 手 当 等	△1,254	給与改定
	4 共 済 費	△221	給与改定
△1,475			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△254	3 職 員 手 当 等	△213	給与改定
	4 共 済 費	△41	給与改定
△254			

(款) 2 総務費 (項) 3 戸籍住民登録費  
～ (款) 2 総務費 (項) 5 統計調査費

## (項) 6 監査委員費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 監査委員費	102,676	△1,573	101,103			
計	102,676	△1,573	101,103			

## (款) 3 民生費

## (項) 1 社会福祉費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 社会福祉総務費	1,341,230	△14,108	1,327,122			
6 交流活動館費	80,208	△494	79,714			
9 総合福祉会館費	207,646	△933	206,713			
10 介護保険特別会計繰出金	4,979,138	△2,804	4,976,334			
15 後期高齢者医療特別会計繰出金	1,195,022	△1,119	1,193,903			
計	25,336,268	△19,458	25,316,810			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源	3 職 員 手 当 等	△1,362	給与改定
	4 共 済 費	△211	給与改定
△1,573			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源	3 職 員 手 当 等	△11,813	給与改定
	4 共 済 費	△2,295	給与改定
△14,108			
△494	3 職 員 手 当 等	△412	給与改定
	4 共 済 費	△82	給与改定
△933	3 職 員 手 当 等	△780	給与改定
	4 共 済 費	△153	給与改定
△2,804	27 繰 出 金	△2,804	繰出金
△1,119	27 繰 出 金	△1,119	繰出金
△19,458			

(款) 2 総務費 (項) 6 監査委員費  
～ (款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費

## (項) 2 児童福祉費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 児童福祉総務費	2,103,988	△12,344	2,091,644			
3 保育園費	3,138,931	△30,433	3,108,498			
10 こども発達支援センター費	716,961	△7,593	709,368			
11 のびのび子育てプラザ費	115,972	△762	115,210			
14 幼保連携型認定こども園費	581,457	△5,071	576,386			
計	33,342,282	△56,203	33,286,079			

## (項) 3 生活保護費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 生活保護総務費	489,135	△6,376	482,759			
計	11,031,690	△6,376	11,025,314			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源	3 職 員 手 当 等	△10,355	給与改定
	4 共 済 費	△1,989	給与改定
△12,344	3 職 員 手 当 等	△25,468	給与改定
	4 共 済 費	△4,965	給与改定
△30,433	3 職 員 手 当 等	△6,344	給与改定
	4 共 済 費	△1,249	給与改定
△7,593	3 職 員 手 当 等	△638	給与改定
	4 共 済 費	△124	給与改定
△762	3 職 員 手 当 等	△4,267	給与改定
	4 共 済 費	△804	給与改定
△5,071			
△56,203			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源	3 職 員 手 当 等	△5,367	給与改定
	4 共 済 費	△1,009	給与改定
△6,376			
△6,376			

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費  
~ (款) 3 民生費 (項) 3 生活保護費

## (項) 5 国民年金費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 国民年金費	70,141	△704	69,437			
計	70,141	△704	69,437			

## (項) 6 国民健康保険費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 国民健康保険 特別会計繰出 金	2,969,375	△3,733	2,965,642			
計	2,969,375	△3,733	2,965,642			

## (款) 4 衛生費

## (項) 1 保健衛生費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 保健衛生総務 費	3,861,065	△28,407	3,832,658			△1,779
5 公害健康被害 補償費	319,673	△184	319,489			
計	9,691,330	△28,591	9,662,739			△1,779

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△704	3 職 員 手 当 等	△590	給与改定
	4 共 済 費	△114	給与改定
△704			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△3,733	27 繰 出 金	△3,733	繰出金
△3,733			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△26,628	3 職 員 手 当 等	△23,945	給与改定
	4 共 済 費	△4,462	給与改定
△184	3 職 員 手 当 等	△154	給与改定
	4 共 済 費	△30	給与改定
△26,812			

(款) 3 民生費 (項) 5 国民年金費  
～ (款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費

## (項) 2 清掃費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 清掃総務費	686,474	△10,188	676,286			
4 塵芥焼却処理費	1,966,864	△4,230	1,962,634			
5 破碎選別処理費	594,144	△1,613	592,531			
計	6,248,466	△16,031	6,232,435			

## (款) 5 労働費

## (項) 1 労働諸費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 労働諸費	78,137	△594	77,543			
3 勤労者福祉共済特別会計繰出金	9,038	△98	8,940			
計	201,656	△692	200,964			

## (款) 6 農業費

## (項) 1 農業費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 農業委員会費	45,571	△478	45,093			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源	3 職 員 手 当 等	△8,512	給与改定
	4 共 済 費	△1,676	給与改定
△10,188	3 職 員 手 当 等	△3,537	給与改定
	4 共 済 費	△693	給与改定
△4,230	3 職 員 手 当 等	△1,348	給与改定
	4 共 済 費	△265	給与改定
△1,613			
△16,031			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源	3 職 員 手 当 等	△497	給与改定
	4 共 済 費	△97	給与改定
△594	27 繰 出 金	△98	繰出金
△98			
△692			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源	3 職 員 手 当 等	△400	給与改定
△478			

(款) 4 衛生費 (項) 2 清掃費 ~ (款) 6 農業費 (項) 1 農業費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
2 農業総務費	23,591	△293	23,298			
計	74,022	△771	73,251			

(款) 7 商工費  
(項) 1 商工費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 商工総務費	128,169	△1,756	126,413			
計	2,196,715	△1,756	2,194,959			

(款) 8 土木費  
(項) 1 土木管理費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 土木総務費	1,173,123	△17,552	1,155,571			
3 開発指導費	258,059	△3,802	254,257			
計	1,657,767	△21,354	1,636,413			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
	4 共 済 費	△78	給与改定
△293	3 職 員 手 当 等	△245	給与改定
	4 共 済 費	△48	給与改定
△771			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△1,756	3 職 員 手 当 等	△1,481	給与改定
	4 共 済 費	△275	給与改定
△1,756			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△17,552	3 職 員 手 当 等	△14,715	給与改定
	4 共 済 費	△2,837	給与改定
△3,802	3 職 員 手 当 等	△3,181	給与改定
	4 共 済 費	△621	給与改定
△21,354			

(款) 6 農業費 (項) 1 農業費  
～ (款) 8 土木費 (項) 1 土木管理費

## (項) 3 水路費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 水路総務費	95,720	△1,284	94,436			
計	222,274	△1,284	220,990			

## (項) 5 都市計画費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 都市計画総務費	456,061	△6,400	449,661			
11 下水道費	2,924,377	△6,207	2,918,170			
計	11,340,608	△12,607	11,328,001			

## (項) 6 住宅費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 住宅管理費	382,399	△2,316	380,083			
計	953,729	△2,316	951,413			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△1,284	3 職員手当等	△1,075	給与改定
	4 共 済 費	△209	給与改定
△1,284			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△6,400	3 職員手当等	△5,395	給与改定
	4 共 済 費	△1,005	給与改定
△6,207	18 負担金、補助及び 交付金	△6,207	下水道事業会計負担金
△12,607			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△2,316	3 職員手当等	△1,935	給与改定
	4 共 済 費	△381	給与改定
△2,316			

(款) 8 土木費 (項) 3 水路費 ~ (款) 8 土木費 (項) 6 住宅費

(款) 9 消防費  
(項) 1 消防費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 常備消防費	3,810,992	△46,525	3,764,467			
計	5,151,808	△46,525	5,105,283			

(款) 10 教育費  
(項) 1 教育総務費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 教育委員会費	1,467,892	△14,679	1,453,213			
2 教育センター費	1,524,948	1,800	1,526,748	3,965		
計	4,287,906	△12,879	4,275,027	3,965		

(項) 4 幼稚園費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 幼稚園費	1,083,306	△6,827	1,076,479			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△46,525	3 職員手当等	△38,976	給与改定
	4 共 済 費	△7,549	給与改定
△46,525			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△14,679	3 職員手当等	△12,332	給与改定
	4 共 済 費	△2,347	給与改定
△2,165	3 職員手当等	△1,812	給与改定
	4 共 済 費	△353	給与改定
	7 報 償 費	942	講師謝礼金ほか
	10 需 用 費	627	消耗品費 82 印刷製本費 545
	12 委 託 料	2,396	健康観察システム開発業務委託料
△16,844			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△6,827	3 職員手当等	△5,737	給与改定
	4 共 済 費	△1,090	給与改定

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費 ~ (款) 10 教育費 (項) 4 幼稚園費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
計	1,083,306	△6,827	1,076,479			

(項) 5 社会教育費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 社会教育総務費	420,011	△6,237	413,774			
4 図書館費	1,441,289	△6,676	1,434,613			
6 青少年クリエイティブセンター費	156,088	△889	155,199			
7 文化財保護費	405,887	△1,637	404,250			
計	4,412,815	△15,439	4,397,376			

(項) 6 保健体育費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 保健体育総務費	712,523	△11,839	700,684			
計	2,731,742	△11,839	2,719,903			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			
△6,827			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			
△6,237	3 職 員 手 当 等	△5,219	給与改定
	4 共 済 費	△1,018	給与改定
△6,676	3 職 員 手 当 等	△5,585	給与改定
	4 共 済 費	△1,091	給与改定
△889	3 職 員 手 当 等	△742	給与改定
	4 共 済 費	△147	給与改定
△1,637	3 職 員 手 当 等	△1,369	給与改定
	4 共 済 費	△268	給与改定
△15,439			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			
△11,839	3 職 員 手 当 等	△9,885	給与改定
	4 共 済 費	△1,954	給与改定
△11,839			

(款) 10 教育費 (項) 4 幼稚園費  
 ~ (款) 10 教育費 (項) 6 保健体育費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
歳出合計	151,112,788	△347,017	150,765,771	3,965		△1,779

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
△349,203			

給 与 費

1 特 別 職

区 分		職 員 数 (人)	給 与		
			報 酬 (千円)	給 料 (千円)	期末手当 (年間支給率) (千円)
補 正 後	長 等	5		51,240	(4.25月) 23,533
	議 員	36	282,480		(4.25月) 115,818
	その他の 特 別 職	2,918	301,608		
	計	2,959	584,088	51,240	139,351
補 正 前	長 等	5		51,240	(4.40月) 25,253
	議 員	36	282,480		(4.40月) 124,292
	その他の 特 別 職	2,918	301,608		
	計	2,959	584,088	51,240	149,545
比 較	長 等				(△0.15月) △ 1,720
	議 員				(△0.15月) △ 8,474
	その他の 特 別 職				
	計				△ 10,194

明 細 書

費			共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
地域手当 (千円)	その他の手当 (千円)	計 (千円)			
6,150		80,923	12,657	93,580	
		398,298	86,713	485,011	
		301,608		301,608	
6,150		780,829	99,370	880,199	
6,150		82,643	12,737	95,380	
		406,772	86,713	493,485	
		301,608		301,608	
6,150		791,023	99,450	890,473	
		△ 1,720	△ 80	△ 1,800	
		△ 8,474		△ 8,474	
		△ 10,194	△ 80	△ 10,274	

## 2 一般職

### (1) 総括

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	2,976(2,236)	2,697,103	10,717,491	9,968,998
補 正 前	2,976(2,236)	2,697,103	10,717,491	10,242,944
比 較	0(0)	0	0	△ 273,946
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	290,482	1,375,848	227,255
	補 正 前	290,482	1,375,848	227,255
	比 較	0	0	0
	区 分	休日勤務手当	管理職手当	期末手当
	補 正 後	130,894	436,812	2,925,419
	補 正 前	130,894	436,812	3,199,365
	比 較	0	0	△ 273,946

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたものの。

費					
	計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考	
	23,383,592	4,512,858	27,896,450		
	23,657,538	4,565,659	28,223,197		
	△ 273,946	△ 52,801	△ 326,747		
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	単身赴任手当	夜間勤務手当	
270,591	100,914	630,398	1,296	9,820	
270,591	100,914	630,398	1,296	9,820	
0	0	0	0	0	
勤勉手当	退職手当	児童手当	管理職員特別勤務手当	初任給調整手当	
1,864,695	1,510,603	169,675	18,298	5,998	
1,864,695	1,510,603	169,675	18,298	5,998	
0	0	0	0	0	

会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	2,589(20)		9,884,648	9,103,357
補 正 前	2,589(20)		9,884,648	9,377,303
比 較	0(0)		0	△ 273,946
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	290,482	1,275,867	227,255
	補 正 前	290,482	1,275,867	227,255
	比 較	0	0	0
	区 分	休日勤務手当	管理職手当	期末手当
	補 正 後	130,664	436,812	2,238,041
	補 正 前	130,664	436,812	2,511,987
	比 較	0	0	△ 273,946

備考 ( )内は、短時間勤務職員について外書きしたもの。

費			備考	
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)		
18,988,005	3,849,837	22,837,842		
19,261,951	3,902,638	23,164,589		
△ 273,946	△ 52,801	△ 326,747		
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	単身赴任手当	夜間勤務手当
230,247	100,211	611,117	1,296	9,820
230,247	100,211	611,117	1,296	9,820
0	0	0	0	0
勤勉手当	退職手当	児童手当	管理職員特別勤務手当	初任給調整手当
1,864,695	1,497,199	165,355	18,298	5,998
1,864,695	1,497,199	165,355	18,298	5,998
0	0	0	0	0

(2) 給料及び職員手当等の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 △ 273,946	制度改正に伴う増減分	千円 △ 273,946

説 明	備 考
期末手当 <span style="float: right;">千円</span> $\Delta$ 273,946	

会計年度任用職員以外の職員

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	<p style="text-align: right;">千円</p> <p style="text-align: center;">△ 273,946</p>	<p style="text-align: center;">制度改正に伴う増減分</p>	<p style="text-align: right;">千円</p> <p style="text-align: center;">△ 273,946</p>

説 明	備 考
千円 期末手当                   △ 273,946	支給月数の改定                   △140,894千円 令和3年度引下げ相当額の調整   △133,052千円

(3)給料及び職員手当等の状況

期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計	加 算 措 置	備 考
	6 月 期	12 月 期			
補 正 後	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有 (無)	
補 正 前	2.225月 (1.175月)	2.225月 (1.175月)	4.45月 (2.35月)	有 (無)	
国 の 制 度	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有	

備考 ( ) 内は、再任用職員の支給率。

令和4年度吹田市一般会計補正予算（第2号）

令和4年度吹田市の一般会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ252,486千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ151,018,257千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費）

第2条 地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰越して使用することができる経費は「第2表 繰越明許費」による。

（債務負担行為の補正）

第3条 債務負担行為の補正は「第3表 債務負担行為補正」による。

（地方債の補正）

第4条 地方債の補正は「第4表 地方債補正」による。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤圭二



第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
14 国庫支出金		31,965,394	8,529	31,973,923
	2 国庫補助金	6,368,075	8,529	6,376,604
15 府支出金		11,155,714	3,258	11,158,972
	2 府補助金	2,105,074	3,258	2,108,332
18 繰入金		10,031,615	120,799	10,152,414
	1 基金繰入金	10,031,615	120,799	10,152,414
20 市債		6,893,300	119,900	7,013,200
	1 市債	6,893,300	119,900	7,013,200
歳入合計		150,765,771	252,486	151,018,257

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
3 民生費		72,664,612	12,206	72,676,818
	2 児童福祉費	33,286,079	12,206	33,298,285
4 衛生費		15,895,174	30,342	15,925,516
	1 保健衛生費	9,662,739	30,342	9,693,081
9 消防費		5,105,283	119,938	5,225,221
	1 消防費	5,105,283	119,938	5,225,221
13 予備費		100,000	90,000	190,000
	1 予備費	100,000	90,000	190,000
歳出合計		150,765,771	252,486	151,018,257

## 第 2 表 繰越明許費

款	項
3 民 生 費	1 社 会 福 祉 費

## 第 3 表 債務負担行為補正

追 加

事 項	期 間
母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入費用	令和 5 年 度 ～ 令 和 8 年 度

## 第 4 表 地方債補正

変 更

起 債 の 的 目 的	補 正 前							
	限度額	起債の 方 法	利 率	償 還 の 方 法				
				区分	償還 期限	据置 期間	償 還 方 法	そ の 他
消 防 防 災 施 設 設 備 整 備 事 業	千円  393,900	普通貸借 または 証券発行	%以内  5.0	政 府  府  銀 行  そ の 他	年以内  20	年以内  3	半年賦元利均 等、年賦元利 均等、当初発 行額の3%以 上半年賦、半 年賦元金均等、 満期一括	市財政の都合に より据置期間お よび償還期限を 短縮し、もしく は繰上償還し、 または低利に借 換えすることが できる。

( 4 )

事業名	金額
介護保険施設管理事業	千円 54,527

限度額	備考
千円 134,792	

補正後							
限度額	起債の方法	利率	償還の方法				
			区分	償還期限	据置期間	償還方法	その他
千円 513,800	普通貸借 または 証券発行	%以内 5.0	政府 府 銀行 その他	年以内 20	年以内 3	半年賦元利均等、年賦元利均等、当初発行額の3%以上半年賦、半年賦元金均等、年賦元金均等、満期一括	市財政の都合により据置期間および償還期限を短縮し、もしくは繰上償還し、または低利に借換えすることができる。

( 5 )

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 14 国庫支出金

(項) 2 国庫補助金

目	補正前の額	補正額	計
2 民生費国庫補助金	1,811,912	5,917	1,817,829
3 衛生費国庫補助金	1,001,330	2,612	1,003,942
計	6,368,075	8,529	6,376,604

(款) 15 府支出金

(項) 2 府補助金

2 民生費府補助金	1,904,234	2,958	1,907,192
3 衛生費府補助金	136,579	300	136,879
計	2,105,074	3,258	2,108,332

(款) 18 繰入金

(項) 1 基金繰入金

1 財政調整基金繰入金	6,907,887	120,799	7,028,686
計	10,031,615	120,799	10,152,414

(款) 20 市債

(項) 1 市債

5 消防債	720,400	119,900	840,300
計	6,893,300	119,900	7,013,200

歳入合計	150,765,771	252,486	151,018,257
------	-------------	---------	-------------

(単位 : 千円)

節		説明
区分	金額	
18 子育て支援対策臨時特例交付金	5,917	基本額 11,834×1/2
6 母子保健衛生費補助金	2,612	基本額 5,224×1/2

19 子育て支援対策臨時特例交付金	2,958	基本額 11,834×1/4
11 母子保健事業費補助金	300	基本額 300×10/10

1 財政調整基金繰入金	120,799	

1 消防防災施設設備整備債	119,900	消防防災施設設備整備事業

--	--	--

(款) 14 国庫支出金 (項) 2 国庫補助金  
～ (款) 20 市債 (項) 1 市債

( 7 )

## 歳出

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 児童福祉総務費	2,091,644	12,206	2,103,850	8,121		
計	33,286,079	12,206	33,298,285	8,121		

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
12 母子保健事業費	837,469	30,342	867,811	3,666		
計	9,662,739	30,342	9,693,081	3,666		

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
4,085	12 委 託 料	12,206	子育て世帯家事・育児支援業務委託料
4,085			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
26,676	2 給 料	1,859	会計年度任用職員給料
	3 職 員 手 当 等	701	地域手当 224
			通勤手当 51
			期末手当 426
	4 共 済 費	562	大市共負担金
	7 報 償 費	300	3歳児健診看護師謝礼金ほか
	12 委 託 料	1,759	妊産婦サポートクーポン作成業務委託料ほか
	13 使用料及び賃借料	2,974	電子クーポンシステム使用料
17 備 品 購 入 費	5,225	視力屈折検査機器購入費ほか	
18 負担金、補助及び交付金	16,962	妊産婦サポートクーポン事業負担金ほか	
26,676			

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費  
 ~ (款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費

(款) 9 消防費  
(項) 1 消防費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
4 災害対策費	461,709	119,938	581,647		119,900	
計	5,105,283	119,938	5,225,221		119,900	

(款) 13 予備費  
(項) 1 予備費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 予備費	100,000	90,000	190,000			
計	100,000	90,000	190,000			

歳出合計	150,765,771	252,486	151,018,257	11,787	119,900	
------	-------------	---------	-------------	--------	---------	--

(単位 : 千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			
38	12 委 託 料	119,938	災害対応オペレーションシステム 構築業務委託料
38			

(単位 : 千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			
90,000	28 予 備 費	90,000	予備費
90,000			
120,799			

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費 ~ (款) 13 予備費 (項) 1 予備費

給 与 費

一 般 職

(1) 総 括

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	2,978(2,236)	2,697,103	10,719,350	9,969,699
補 正 前	2,976(2,236)	2,697,103	10,717,491	9,968,998
比 較	2(0)	0	1,859	701
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	290,482	1,376,072	227,255
	補 正 前	290,482	1,375,848	227,255
	比 較	0	224	0
	区 分	休日勤務手当	管理職手当	期末手当
	補 正 後	130,894	436,812	2,925,845
	補 正 前	130,894	436,812	2,925,419
	比 較	0	0	426

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたもの。

明 細 書

費	共 濟 費		合 計		備 考
	計 (千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
	23,386,152	4,513,420	27,899,572		
	23,383,592	4,512,858	27,896,450		
	2,560	562	3,122		
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	単身赴任手当	夜間勤務手当	
270,642	100,914	630,398	1,296	9,820	
270,591	100,914	630,398	1,296	9,820	
51	0	0	0	0	
勤勉手当	退職手当	児童手当	管理職員特別勤務手当	初任給調整手当	
1,864,695	1,510,603	169,675	18,298	5,998	
1,864,695	1,510,603	169,675	18,298	5,998	
0	0	0	0	0	

会計年度任用職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	389(2,216)	2,697,103	834,702	866,342
補 正 前	387(2,216)	2,697,103	832,843	865,641
比 較	2(0)	0	1,859	701
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	地域手当	通勤手当	特殊勤務手当
	補 正 後	100,205	40,395	703
	補 正 前	99,981	40,344	703
	比 較	224	51	0

備考 ( )内は、会計年度任用の職を占める職員であって、その一週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める職員の一週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員について外書きしたものの。

費					
	計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考	
	4,398,147	663,583	5,061,730		
	4,395,587	663,021	5,058,608		
	2,560	562	3,122		
時間外勤務手当	休日勤務手当	期末手当	退職手当	児童手当	
19,281	230	687,804	13,404	4,320	
19,281	230	687,378	13,404	4,320	
0	0	426	0	0	

(2)給料及び職員手当等の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
給 料	千円 1,859	その他の増減分	千円 1,859
職員手当等	701	その他の増減分	701

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> <p>地域手当 224</p> <p>通勤手当 51</p> <p>期末手当 426</p>	

会計年度任用職員

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
	千円		千円
給 料	1,859	その他の増減分	1,859
職員手当等	701	その他の増減分	701

説 明	備 考
地域手当 224 通勤手当 51 期末手当 426	



議案第 67 号

令和 4 年度吹田市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）

令和 4 年度吹田市の国民健康保険特別会計の補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 3,733 千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 34,934,478 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

令和 4 年 5 月 26 日提出

吹田市長 後 藤 圭 二



## 第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
6 繰入金		2,969,375	△3,733	2,965,642
	1 一般会計繰入金	2,969,375	△3,733	2,965,642
歳入合計		34,938,211	△3,733	34,934,478

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 総務費		540,375	△3,377	536,998
	1 総務管理費	341,826	△1,287	340,539
	2 徴収費	198,181	△2,090	196,091
5 保健事業費		361,668	△356	361,312
	1 特定健康診査等事業費	335,342	△356	334,986
歳出合計		34,938,211	△3,733	34,934,478

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 6 繰入金

(項) 1 一般会計繰入金

目	補正前の額	補正額	計
1 一般会計繰入金	870,882	△ 3,733	867,149
計	2,969,375	△ 3,733	2,965,642

歳入合計	34,938,211	△ 3,733	34,934,478
------	------------	---------	------------

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
1 一般会計繰入金	△ 3,733	

--	--	--

(款) 6 繰入金 (項) 1 一般会計繰入金

( 5 )

## 歳出

(款) 1 総務費

(項) 1 総務管理費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 一般管理費	335,850	△1,287	334,563			△1,287
計	341,826	△1,287	340,539			△1,287

(項) 2 徴収費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 賦課徴収費	198,181	△2,090	196,091			△2,090
計	198,181	△2,090	196,091			△2,090

(款) 5 保健事業費

(項) 1 特定健康診査等事業費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 特定健康診査等事業費	335,342	△356	334,986			△356
計	335,342	△356	334,986			△356

歳出合計	34,938,211	△3,733	34,934,478			△3,733
------	------------	--------	------------	--	--	--------

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
	3 職員手当等	△1,078	給与改定
	4 共 済 費	△209	給与改定

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
	3 職員手当等	△1,747	給与改定
	4 共 済 費	△343	給与改定

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
	3 職員手当等	△299	給与改定
	4 共 済 費	△57	給与改定

--	--	--	--

(款) 1 総務費 (項) 1 総務管理費  
～ (款) 5 保健事業費 (項) 1 特定健康診査等事業費

( 7 )

給 与 費

一 般 職

(1) 総 括

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	39(16)	33,473	127,670	100,733
補 正 前	39(16)	33,473	127,670	103,857
比 較	0(0)	0	0	△ 3,124
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	1,864	15,994	2,764
	補 正 前	1,864	15,994	2,764
	比 較	0	0	0
	区 分	期末手当	勤勉手当	児童手当
	補 正 後	35,616	21,507	1,274
	補 正 前	38,740	21,507	1,274
	比 較	△ 3,124	0	0

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたものの。

明 細 書

費			
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
261,876	54,013	315,889	
265,000	54,622	319,622	
△ 3,124	△ 609	△ 3,733	
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職手当
3,332	360	13,548	3,696
3,332	360	13,548	3,696
0	0	0	0
退職手当			
778			
778			
0			

会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職 員 手 当 等 (千円)
補 正 後	29(0)		113,291	87,868
補 正 前	29(0)		113,291	90,992
比 較	0(0)		0	△ 3,124
職 員 手 当 等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶 養 手 当	地 域 手 当	住 居 手 当
	補 正 後	1,864	14,267	2,764
	補 正 前	1,864	14,267	2,764
	比 較	0	0	0
	区 分	期 末 手 当	勤 勉 手 当	児 童 手 当
	補 正 後	25,736	21,507	1,274
	補 正 前	28,860	21,507	1,274
	比 較	△ 3,124	0	0

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたものの。

費			
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
201,159	43,382	244,541	
204,283	43,991	248,274	
△ 3,124	△ 609	△ 3,733	
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職手当
2,852	360	13,548	3,696
2,852	360	13,548	3,696
0	0	0	0

(2)給料及び職員手当等の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 △ 3,124	制度改正に伴う増減分	千円 △ 3,124

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> 期末手当 <span style="float: right;">△ 3,124</span>	

会計年度任用職員以外の職員

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 △ 3,124	制度改正に伴う増減分	千円 △ 3,124

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> 期末手当 <span style="float: right;">△ 3,124</span>	支給月数の改定 <span style="float: right;">△1,602千円</span> 令和3年度引下げ相当額の調整 <span style="float: right;">△1,522千円</span>

(3)給料及び職員手当等の状況

期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計	加 算 措 置	備 考
	6 月 期	12 月 期			
補 正 後	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有 (無)	
補 正 前	2.225月 (1.175月)	2.225月 (1.175月)	4.45月 (2.35月)	有 (無)	
国 の 制 度	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有	

備考 ( ) 内は、再任用職員の支給率。

令和4年度吹田市勤労者福祉共済特別会計補正予算（第1号）

令和4年度吹田市の勤労者福祉共済特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ98千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ39,283千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後 藤 圭 二



第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2 繰入金		12,808	△98	12,710
	1 一般会計繰入金	9,038	△98	8,940
歳入合計		39,381	△98	39,283

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 福祉共済費		39,381	△98	39,283
	1 福祉共済費	39,381	△98	39,283
歳出合計		39,381	△98	39,283

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 2 繰入金

(項) 1 一般会計繰入金

目	補正前の額	補正額	計
1 一般会計繰入金	9,038	△ 98	8,940
計	9,038	△ 98	8,940

歳入合計	39,381	△ 98	39,283
------	--------	------	--------

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
1 一般会計繰入金	△ 98	

--	--	--

(款) 2 繰入金 (項) 1 一般会計繰入金

( 5 )

## 歳出

(款) 1 福祉共済費

(項) 1 福祉共済費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 福祉共済総務費	12,288	△98	12,190			△98
計	39,381	△98	39,283			△98

歳出合計	39,381	△98	39,283			△98
------	--------	-----	--------	--	--	-----

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源	3 職 員 手 当 等	△83	給与改定
	4 共 済 費	△15	給与改定

--	--	--	--

(款) 1 福祉共済費 (項) 1 福祉共済費

給 与 費

一 般 職

(1) 総 括

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職 員 手 当 等 (千円)
補 正 後	1(0)		4,093	3,073
補 正 前	1(0)		4,093	3,156
比 較	0(0)		0	△ 83
職 員 手 当 等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶 養 手 当	地 域 手 当	住 居 手 当
	補 正 後	150	510	71
	補 正 前	150	510	71
	比 較	0	0	0
	区 分	児 童 手 当		
	補 正 後	92		
	補 正 前	92		
	比 較	0		

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたものの。

明 細 書

費			
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
7,166	1,774	8,940	
7,249	1,789	9,038	
△ 83	△ 15	△ 98	
通勤手当	時間外勤務手当	期末手当	勤勉手当
93	402	970	785
93	402	1,053	785
0	0	△ 83	0

(2)給料及び職員手当等の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 △ 83	制度改正に伴う増減分	千円 △ 83

説 明	備 考
千円 期末手当 △ 83	支給月数の改定 △42千円 令和3年度引下げ相当額の調整 △41千円

(3)給料及び職員手当等の状況

期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計	加 算 措 置	備 考
	6 月 期	12 月 期			
補 正 後	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有 (無)	
補 正 前	2.225月 (1.175月)	2.225月 (1.175月)	4.45月 (2.35月)	有 (無)	
国 の 制 度	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有	

備考 ( ) 内は、再任用職員の支給率。

令和 4 年度吹田市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）

令和 4 年度吹田市の介護保険特別会計の補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 4, 452 千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 30, 745, 990 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

令和 4 年 5 月 26 日提出

吹田市長 後 藤 圭 二



第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
3 国庫支出金		6,978,969	△670	6,978,299
	2 国庫補助金	1,789,355	△670	1,788,685
4 支払基金交付金		7,937,021	△188	7,936,833
	1 支払基金交付金	7,937,021	△188	7,936,833
5 府支出金		4,231,256	△335	4,230,921
	2 府補助金	255,953	△335	255,618
6 繰入金		5,532,946	△3,259	5,529,687
	1 一般会計繰入金	4,979,138	△2,804	4,976,334
	2 基金繰入金	553,808	△455	553,353
歳入合計		30,750,442	△4,452	30,745,990

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 総務費		781,758	△2,469	779,289
	1 総務管理費	399,440	△2,161	397,279
	2 徴収費	96,892	△308	96,584
5 地域支援事業費		1,749,252	△1,983	1,747,269
	1 包括的支援事業・任意事業費	552,598	△1,287	551,311
	2 介護予防・日常生活支援総合事業費	1,193,448	△696	1,192,752
歳出合計		30,750,442	△4,452	30,745,990

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 3 国庫支出金

(項) 2 国庫補助金

目	補正前の額	補正額	計
2 地域支援事業交付金	511,907	△ 670	511,237
計	1,789,355	△ 670	1,788,685

(款) 4 支払基金交付金

(項) 1 支払基金交付金

2 地域支援事業支援交付金	323,090	△ 188	322,902
計	7,937,021	△ 188	7,936,833

(款) 5 府支出金

(項) 2 府補助金

1 地域支援事業交付金	255,953	△ 335	255,618
計	255,953	△ 335	255,618

(款) 6 繰入金

(項) 1 一般会計繰入金

2 一般会計繰入金	781,127	△ 2,469	778,658
3 地域支援事業繰入金	255,953	△ 335	255,618
計	4,979,138	△ 2,804	4,976,334

(項) 2 基金繰入金

1 介護保険給付費準備基金繰入金	553,808	△ 455	553,353
計	553,808	△ 455	553,353

歳入合計	30,750,442	△ 4,452	30,745,990
------	------------	---------	------------

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
1 現年度分	△ 670	

1 現年度分	△ 188	

1 現年度分	△ 335	

1 一般会計繰入金	△ 2,469	
1 現年度分	△ 335	

1 介護保険給付費準備 基金繰入金	△ 455	

--	--	--

(款) 3 国庫支出金 (項) 2 国庫補助金  
～ (款) 6 繰入金 (項) 2 基金繰入金

( 5 )

## 歳出

### (款) 1 総務費

#### (項) 1 総務管理費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 一般管理費	399,440	△2,161	397,279			△2,161
計	399,440	△2,161	397,279			△2,161

#### (項) 2 徴収費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 賦課徴収費	96,892	△308	96,584			△308
計	96,892	△308	96,584			△308

### (款) 5 地域支援事業費

#### (項) 1 包括的支援事業・任意事業費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 包括的支援事業・任意事業費	552,598	△1,287	551,311	△744		△543
計	552,598	△1,287	551,311	△744		△543

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
	3 職員手当等	△1,810	給与改定
	4 共 済 費	△351	給与改定

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
	3 職員手当等	△259	給与改定
	4 共 済 費	△49	給与改定

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一般財源			
	3 職員手当等	△1,074	給与改定
	4 共 済 費	△213	給与改定

(款) 1 総務費 (項) 1 総務管理費  
～ (款) 5 地域支援事業費 (項) 1 包括的支援事業・任意事業費

( 7 )

(項) 2 介護予防・日常生活支援総合事業費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
4 一般介護予防事業費	112,639	△696	111,943	△261		△435
計	1,193,448	△696	1,192,752	△261		△435

歳出合計	30,750,442	△4,452	30,745,990	△1,005		△3,447
------	------------	--------	------------	--------	--	--------

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源	3 職 員 手 当 等	△584	給与改定
	4 共 済 費	△112	給与改定

(款) 5 地域支援事業費 (項) 2 介護予防・日常生活支援総合事業費

給 与 費

一 般 職

(1) 総 括

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	41(38)	61,069	160,669	162,120
補 正 前	41(38)	61,069	160,669	165,847
比 較	0(0)	0	0	△ 3,727
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	4,806	20,582	2,240
	補 正 前	4,806	20,582	2,240
	比 較	0	0	0
	区 分	期末手当	勤勉手当	児童手当
	補 正 後	49,393	29,657	2,274
	補 正 前	53,120	29,657	2,274
	比 較	△ 3,727	0	0

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたものの。

明 細 書

費			
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
383,858	72,080	455,938	
387,585	72,805	460,390	
△ 3,727	△ 725	△ 4,452	
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職手当
3,628	45	28,195	5,952
3,628	45	28,195	5,952
0	0	0	0
退職手当			
15,348			
15,348			
0			

会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	38(0)		155,944	147,924
補 正 前	38(0)		155,944	151,651
比 較	0(0)		0	△ 3,727
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	4,806	20,015	2,240
	補 正 前	4,806	20,015	2,240
	比 較	0	0	0
	区 分	期末手当	勤勉手当	児童手当
	補 正 後	36,184	29,657	2,274
	補 正 前	39,911	29,657	2,274
	比 較	△ 3,727	0	0

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたものの。

費			
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
303,868	59,375	363,243	
307,595	60,100	367,695	
△ 3,727	△ 725	△ 4,452	
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職手当
3,348	45	28,195	5,952
3,348	45	28,195	5,952
0	0	0	0
退職手当			
15,208			
15,208			
0			

(2)給料及び職員手当等の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 △ 3,727	制度改正に伴う増減分	千円 △ 3,727

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> 期末手当 <span style="float: right;">△ 3,727</span>	

会計年度任用職員以外の職員

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 △ 3,727	制度改正に伴う増減分	千円 △ 3,727

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> <p>期末手当                      △ 3,727</p>	<p>支給月数の改定                      △1,996千円</p> <p>令和3年度引下げ相当額の調整                      △1,731千円</p>

(3)給料及び職員手当等の状況

期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計	加 算 措 置	備 考
	6 月 期	12 月 期			
補 正 後	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有 (無)	
補 正 前	2.225月 (1.175月)	2.225月 (1.175月)	4.45月 (2.35月)	有 (無)	
国 の 制 度	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有	

備考 ( ) 内は、再任用職員の支給率。

議案第70号

令和4年度吹田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

令和4年度吹田市の後期高齢者医療特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,119千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6,487,142千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和4年5月26日提出

吹田市長 後藤 圭 二



## 第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
3 繰入金		1,195,022	△1,119	1,193,903
	1 一般会計繰入金	1,195,022	△1,119	1,193,903
歳入合計		6,488,261	△1,119	6,487,142

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
1 総務費		209,980	△1,119	208,861
	1 総務管理費	101,788	△595	101,193
	2 徴収費	108,192	△524	107,668
歳出合計		6,488,261	△1,119	6,487,142

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 3 繰入金

(項) 1 一般会計繰入金

目	補正前の額	補正額	計
1 一般会計繰入金	194,419	△ 1,119	193,300
計	1,195,022	△ 1,119	1,193,903

歳入合計	6,488,261	△ 1,119	6,487,142
------	-----------	---------	-----------

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
1 一般会計繰入金	△ 1,119	

--	--	--

(款) 3 繰入金 (項) 1 一般会計繰入金

( 5 )

## 歳出

(款) 1 総務費

(項) 1 総務管理費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 一般管理費	101,788	△595	101,193			△595
計	101,788	△595	101,193			△595

(項) 2 徴収費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 徴収費	108,192	△524	107,668			△524
計	108,192	△524	107,668			△524

歳出合計	6,488,261	△1,119	6,487,142			△1,119
------	-----------	--------	-----------	--	--	--------

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源	3 職 員 手 当 等	△500	給与改定
	4 共 済 費	△95	給与改定

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源	3 職 員 手 当 等	△440	給与改定
	4 共 済 費	△84	給与改定

--	--	--	--

(款) 1 総務費 (項) 1 総務管理費  
～ (款) 1 総務費 (項) 2 徴収費

給 与 費

一 般 職

(1) 総 括

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	14(0)		50,141	41,029
補 正 前	14(0)		50,141	41,969
比 較	0(0)		0	△ 940
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	1,079	6,373	1,004
	補 正 前	1,079	6,373	1,004
	比 較	0	0	0
	区 分	勤勉手当	児童手当	退職手当
	補 正 後	9,170	727	389
	補 正 前	9,170	727	389
	比 較	0	0	0

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたものの。

明 細 書

費			
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
91,170	19,438	110,608	
92,110	19,617	111,727	
△ 940	△ 179	△ 1,119	
通勤手当	時間外勤務手当	管理職手当	期末手当
1,294	7,358	1,848	11,787
1,294	7,358	1,848	12,727
0	0	0	△ 940

会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	12(0)		47,836	39,907
補 正 前	12(0)		47,836	40,847
比 較	0(0)		0	△ 940
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	1,079	6,096	1,004
	補 正 前	1,079	6,096	1,004
	比 較	0	0	0
	区 分	勤勉手当	児童手当	
	補 正 後	9,170	727	
	補 正 前	9,170	727	
	比 較	0	0	

備考 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書きしたものの。

費			
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
87,743	18,813	106,556	
88,683	18,992	107,675	
△ 940	△ 179	△ 1,119	
通勤手当	時間外勤務手当	管理職手当	期末手当
1,264	7,358	1,848	11,361
1,264	7,358	1,848	12,301
0	0	0	△ 940

(2)給料及び職員手当等の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 △ 940	制度改正に伴う増減分	千円 △ 940

説 明	備 考
期末手当 <span style="float: right;">千円 △ 940</span>	

会計年度任用職員以外の職員

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 △ 940	制度改正に伴う増減分	千円 △ 940

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> <p>期末手当                      △ 940</p>	<p>支給月数の改定                      △500千円</p> <p>令和3年度引下げ相当額の調整                      △440千円</p>

(3)給料及び職員手当等の状況

期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計	加 算 措 置	備 考
	6 月 期	12 月 期			
補 正 後	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有 (無)	
補 正 前	2.225月 (1.175月)	2.225月 (1.175月)	4.45月 (2.35月)	有 (無)	
国 の 制 度	2.15月 (1.125月)	2.15月 (1.125月)	4.3月 (2.25月)	有	

備考 ( ) 内は、再任用職員の支給率。

議案第71号

令和4年度吹田市水道事業会計補正予算(第1号)

(総則)

第1条 令和4年度吹田市水道事業会計補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第2条 令和4年度吹田市水道事業会計予算(以下「予算」という。)第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	支	出	
第1款 水道事業費用	7,051,181 千円	△ 18,785 千円	7,032,396 千円
第1項 営業費用	6,766,606 千円	△ 18,785 千円	6,747,821 千円

(資本的収入及び支出)

第3条 予算第4条本文括弧書中「不足する額 4,210,743 千円」を「不足する額 4,207,708 千円」に、「繰越利益剰余金処分額 997,917 千円」を「繰越利益剰余金処分額 994,882 千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	支	出	
第1款 資本的支出	5,593,093 千円	△ 3,035 千円	5,590,058 千円
第1項 建設改良費	4,949,726 千円	△ 3,035 千円	4,946,691 千円

(1)

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第 4 条 予算第 9 条に定めた議会の議決を経なければ流用することのできない経費  
を次のとおり補正する。

( 科 目 )	( 既決予定額 )	( 補正予定額 )	( 計 )
( 1 ) 職員給与費	1,297,837 千円	△ 21,820 千円	1,276,017 千円

(利益剰余金の処分)

第 5 条 予算第 10 条本文中「繰越利益剰余金のうち 997,917 千円」を「繰越利  
益剰余金のうち 994,882 千円」に改め、利益剰余金の処分額を次のとおり補正する。

	( 既決予定額 )	( 補正予定額 )	( 計 )
( 1 ) 建設改良積立金	997,917 千円	△ 3,035 千円	994,882 千円

令和 4 年 5 月 26 日提出

吹田市長 後 藤 圭 二

予算に関する説明書

令和4年度 吹田市水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出

支 出

款	項	目	既決予定額
1 水道事業費用			7,051,181
	1 営業費用		6,766,606
		1 浄水送水費	3,229,965
		2 配水給水費	693,466
		3 給水工事費	56,855
		4 業務費	476,546
		5 総係費	483,458

資本的収入及び支出

支 出

款	項	目	既決予定額
1 資本的支出			5,593,093
	1 建設改良費		4,949,726
		1 事務費	202,809

(注)本表は、前回の予算実施計画と異同あるもののみを記載しました。

(単位 千円)

補正予定額	計	備 考
△ 18,785	7,032,396	
△ 18,785	6,747,821	
△ 4,790	3,225,175	手 当 等 △ 3,410 賞 与 等 引 当 金 繰 入 額 △ 710 法 定 福 利 費 △ 670
△ 5,177	688,289	手 当 等 △ 3,725 賞 与 等 引 当 金 繰 入 額 △ 719 法 定 福 利 費 △ 733
△ 1,072	55,783	手 当 等 △ 767 賞 与 等 引 当 金 繰 入 額 △ 155 法 定 福 利 費 △ 150
△ 3,063	473,483	手 当 等 △ 2,193 賞 与 等 引 当 金 繰 入 額 △ 441 法 定 福 利 費 △ 429
△ 4,683	478,775	手 当 等 △ 3,356 賞 与 等 引 当 金 繰 入 額 △ 716 法 定 福 利 費 △ 611

(単位 千円)

補正予定額	計	備 考
△ 3,035	5,590,058	
△ 3,035	4,946,691	
△ 3,035	199,774	手 当 等 △ 2,168 賞 与 等 引 当 金 繰 入 額 △ 449 法 定 福 利 費 △ 418

# 給 与 費

## 1 総 括

区 分	職 員 数		給 与	
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)
補正後	1	(17) 136	42,720	533,866
補正前	1	(17) 136	42,720	533,866
比 較	0	0	0	0

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当 (千円)	管理職手当 (千円)	地域手当 (千円)
	補正後	20,094	26,352	69,645
	補正前	20,094	26,352	69,645
	比 較	0	0	0
	区 分	勤勉手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)	特殊勤務手当 (千円)
	補正後	102,280	4,120	1,490
	補正前	102,280	4,120	1,490
	比 較	0	0	0

備考1 ( )内は、短時間勤務職員について外書きしたもの。

2 期末手当・勤勉手当及び法定福利費については、賞与等引当金繰入額（令和

3 退職手当は、退職給付引当金繰入額を含む。

# 明 細 書

費		法定福利費 (千円)	合計 (千円)
手当 (千円)	計 (千円)		
480,095	1,056,681	219,336	1,276,017
498,387	1,074,973	222,864	1,297,837
△ 18,292	△ 18,292	△ 3,528	△ 21,820

通勤手当 (千円)	住居手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)
13,020	14,483	36,600	131,831
13,020	14,483	36,600	150,123
0	0	0	△ 18,292
退職手当 (千円)	管理職員特別勤務手当 (千円)		
60,050	130		
60,050	130		
0	0		

4年12月～同5年3月 計93,716千円) を含む。

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数		給 与	
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)
補正後	1	(1) 136	1,242	533,866
補正前	1	(1) 136	1,242	533,866
比 較	0	0	0	0

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当 (千円)	管理職手当 (千円)	地域手当 (千円)
	補正後	20,094	26,352	69,645
	補正前	20,094	26,352	69,645
	比 較	0	0	0
	区 分	勤勉手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)	特殊勤務手当 (千円)
	補正後	102,280	4,120	1,490
	補正前	102,280	4,120	1,490
	比 較	0	0	0

備考1 ( )内は、短時間勤務職員(地方公務員法(昭和25年法律第261号)第28条の5第1

2 期末手当・勤勉手当及び法定福利費については、賞与等引当金繰入額(令和

3 退職手当は、退職給付引当金繰入額を含む。

費		法定福利費 (千円)	合計 (千円)
手当 (千円)	計 (千円)		
472,304	1,007,412	211,224	1,218,636
490,596	1,025,704	214,752	1,240,456
△ 18,292	△ 18,292	△ 3,528	△ 21,820

通勤手当 (千円)	住居手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)
13,020	14,483	36,600	124,040
13,020	14,483	36,600	142,332
0	0	0	△ 18,292
退職手当 (千円)	管理職員特別勤務手当 (千円)		
60,050	130		
60,050	130		
0	0		

項に規定する短時間勤務の職を占める職員をいう。以下同じ。)を外書きしたもの。  
4年12月～同5年3月 計93,716千円)を含む。

2 給料及び手当の増減額の明細

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)	説明 (千円)
手当	△ 17,912	制度改正に伴う増減分 △ 17,912	期末手当 △ 17,912

備考 特別職を除く（以下の表において同じ）。

ア 会計年度任用職員以外の職員

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)	説明 (千円)
手当	△ 17,912	制度改正に伴う増減分 △ 17,912	期末手当 △ 17,912

備考 支給月数の改定△10,383千円、令和3年度引下げ相当額の調整△7,529千円。

3 給料及び手当の状況

期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	加算措置
	6月(月分)	12月(月分)		
補正後	2.15 (1.125)	2.15 (1.125)	4.3 (2.25)	有 (無)
補正前	2.225 (1.175)	2.225 (1.175)	4.45 (2.35)	有 (無)
一般会計の制度	2.15 (1.125)	2.15 (1.125)	4.3 (2.25)	有 (無)

備考 ( ) 内は、再任用職員の支給状況。

令和4年度 吹田市水道事業補正予定貸借対照表

(令和5年3月31日)

(単位 千円)

借方科目	既決予定額	補正予定額	計
1 固定資産	48,739,796	△ 3,035	48,736,761
(1) 有形固定資産	48,407,807	△ 3,035	48,404,772
2 流動資産	4,351,351	18,630	4,369,981
(1) 現金・預金	3,598,765	18,630	3,617,395
合 計	53,091,147	15,595	53,106,742

貸方科目	既決予定額	補正予定額	計
4 流動負債	2,475,607	△ 3,190	2,472,417
(6) 引当金	96,906	△ 3,190	93,716
7 剰余金	5,813,539	18,785	5,832,324
(2) 利益剰余金	5,801,921	18,785	5,820,706
合 計	53,091,147	15,595	53,106,742

(注)本表は、前回の予定貸借対照表と異同あるもののみを記載しました。

令和4年度 吹田市水道事業補正予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 千円)

区 分	既決予定額	補正予定額	計
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	2,488,994	16,044	2,505,038
当年度純利益	946,397	18,785	965,182
賞与等引当金の増減額	7,738	△ 2,741	4,997
小計	2,713,568	16,044	2,729,612
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,823,822	2,586	△ 3,821,236
有形固定資産の取得による支出	△ 3,687,341	2,586	△ 3,684,755
資金増減額	△ 642,194	18,630	△ 623,564
資金期末残高	3,598,765	18,630	3,617,395

(注)本表は、前回の予定キャッシュ・フロー計算書と異同あるもののみを記載しました。

議案第 72 号

令和4年度吹田市下水道事業会計補正予算(第1号)

(総 則)

第 1 条 令和4年度吹田市下水道事業会計補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第 2 条 令和4年度吹田市下水道事業会計予算(以下「予算」という。)第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

( 科 目 )	( 既決予定額 )	( 補正予定額 )	( 計 )
	収	入	
第 1 款 下水道事業収益	9,514,259 千円	△ 6,207 千円	9,508,052 千円
第 1 項 営業収益	7,694,364 千円	△ 5,870 千円	7,688,494 千円
第 2 項 営業外収益	1,637,529 千円	△ 337 千円	1,637,192 千円
( 科 目 )	( 既決予定額 )	( 補正予定額 )	( 計 )
	支	出	
第 1 款 下水道事業費用	8,517,828 千円	△ 9,447 千円	8,508,381 千円
第 1 項 営業費用	7,944,947 千円	△ 9,447 千円	7,935,500 千円

(資本的収入及び支出)

第 3 条 予算第 4 条本文括弧書中「不足する額 3,267,170 千円」を「不足する額 3,263,881 千円」に、「損益勘定留保資金 2,158,913 千円」を「損益勘定留保資金 2,155,624 千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

( 科 目 )	( 既決予定額 )	( 補正予定額 )	( 計 )
	支	出	
第 1 款 資本的支出	6,774,631 千円	△ 3,289 千円	6,771,342 千円
第 1 項 建設改良費	3,547,275 千円	△ 3,289 千円	3,543,986 千円

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第 4 条 予算第 9 条に定めた議会の議決を経なければ流用することのできない経費を次のとおり補正する。

( 科 目 )	( 既決予定額 )	( 補正予定額 )	( 計 )
( 1 ) 職員給与費	910,858 千円	△ 12,736 千円	898,122 千円

令和 4 年 5 月 2 6 日提出

吹田市長 後 藤 圭 二

## 予算に関する説明書

令和4年度 吹田市下水道事業会計補正予算実施計画

収益的收入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額
1 下水道事業 収益			9,514,259
	1 営業収益		7,694,364
		2 他会計負担金	2,831,401
	2 営業外収益		1,637,529
		2 他会計負担金	49,179

支 出

款	項	目	既決予定額
1 下水道事業 費用			8,517,828
	1 営業費用		7,944,947
		1 管 渠 費	581,576
		2 ポ ン プ 場 費	145,350
		3 処 理 場 費	1,593,568
		5 普 及 指 導 費	35,837
		6 業 務 費	283,989
		7 総 係 費	432,416

(単位：千円)

補正予定額	計	備	考
△ 6,207	9,508,052		
△ 5,870	7,688,494		
△ 5,870	2,825,531	雨水処理負担金	△ 5,870
△ 337	1,637,192		
△ 337	48,842	一般会計負担金	△ 337

(単位：千円)

補正予定額	計	備	考
△ 9,447	8,508,381		
△ 9,447	7,935,500		
△ 1,737	579,839	手当等	△ 1,453
		法定福利費	△ 284
△ 155	145,195	手当等	△ 130
		法定福利費	△ 25
△ 4,028	1,589,540	手当等	△ 3,365
		法定福利費	△ 663
△ 448	35,389	手当等	△ 376
		法定福利費	△ 72
△ 248	283,741	手当等	△ 208
		法定福利費	△ 40
△ 2,831	429,585	手当等	△ 2,381
		法定福利費	△ 450

資本的収入及び支出

支 出

款	項	目	既決予定額
1 資本的支出			6,774,631
	1 建設改良費		3,547,275
		1 管渠建設改良費	3,053,495
		3 処理場建設改良費	298,240

(注) 本表は、前回の予算実施計画と異同あるもののみを記載しました。

(単位：千円)

補正予定額	計	備	考
△ 3,289	6,771,342		
△ 3,289	3,543,986		
△ 2,098	3,051,397	手 当 等	△ 1,756
		法 定 福 利 費	△ 342
△ 1,191	297,049	手 当 等	△ 996
		法 定 福 利 費	△ 195

# 給 与 費

## 1 総 括

区 分	職 員 数	給 与	
	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)
補 正 後	96 (11)	19,966	377,317
補 正 前	96 (11)	19,966	377,317
比 較	0 (0)	0	0

手 当 等 の 内 訳	区 分	扶養手当 (千円)	管理職手当 (千円)	地域手当 (千円)
	補 正 後	11,663	16,788	49,218
	補 正 前	11,663	16,788	49,218
	比 較	0	0	0
	区 分	勤勉手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)	夜間勤務手当 (千円)
	補 正 後	74,969	0	0
	補 正 前	74,969	0	0
	比 較	0	0	0

備考1 ( )内は、短時間勤務職員について外書きしたもの。

2 期末手当・勤勉手当及び法定福利費については、賞与等引当金繰入額（令和

3 退職手当は、退職給付引当金繰入額を含む。

# 明 細 書

費		法定福利費 (千円)	合計 (千円)
手当等 (千円)	計 (千円)		
359,457	756,740	141,382	898,122
370,122	767,405	143,453	910,858
△ 10,665	△ 10,665	△ 2,071	△ 12,736

通勤手当 (千円)	住居手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)
11,290	4,043	24,707	94,805
11,290	4,043	24,707	105,470
0	0	0	△ 10,665
特殊勤務手当 (千円)	児童手当 (千円)	退職手当 (千円)	管理職員特別勤務手当 (千円)
370	6,798	64,452	354
370	6,798	64,452	354
0	0	0	0

4年12月～同5年3月 計 29,707千円) を含む。

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数	給 与	
	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)
補 正 後	96 (1)	0	377,317
補 正 前	96 (1)	0	377,317
比 較	0 (0)	0	0

手 当 等 の 内 訳	区 分	扶養手当 (千円)	管理職手当 (千円)	地域手当 (千円)
	補 正 後	11,663	16,788	49,218
	補 正 前	11,663	16,788	49,218
	比 較	0	0	0
	区 分	勤勉手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)	夜間勤務手当 (千円)
	補 正 後	74,969	0	0
	補 正 前	74,969	0	0
	比 較	0	0	0

備考1 ( )内は、短時間勤務職員(地方公務員法(昭和25年法律第261号)第28条の5第1

2 期末手当・勤勉手当及び法定福利費については、賞与等引当金繰入額(令和

3 退職手当は、退職給付引当金繰入額を含む。

費		法定福利費 (千円)	合計 (千円)
手当等 (千円)	計 (千円)		
355,573	732,890	137,592	870,482
366,238	743,555	139,663	883,218
△ 10,665	△ 10,665	△ 2,071	△ 12,736

通勤手当 (千円)	住居手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)
11,290	4,043	24,707	90,921
11,290	4,043	24,707	101,586
0	0	0	△ 10,665
特殊勤務手当 (千円)	児童手当 (千円)	退職手当 (千円)	管理職員特別勤務手当 (千円)
370	6,798	64,452	354
370	6,798	64,452	354
0	0	0	0

項に規定する短時間勤務の職を占める職員をいう。以下同じ。)を外書きしたもの。  
4年12月～同5年3月 計 29,707千円)を含む。

2 給料及び手当等の増減額の明細

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説明 (千円)	
手当等	△ 10,665	制度改正に伴う増減分	△ 10,665	期末手当	△ 10,665

ア 会計年度任用職員以外の職員

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説明 (千円)	
手当等	△ 10,665	制度改正に伴う増減分	△ 10,665	期末手当	△ 10,665

備考 支給月数の改定△5,390千円、令和3年度引下げ相当額の調整△5,275千円。

### 3 給料及び手当等の状況

期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	加算措置
	6月(月分)	12月(月分)		
補正後	2.15 (1.125)	2.15 (1.125)	4.3 (2.25)	有 (無)
補正前	2.225 (1.175)	2.225 (1.175)	4.45 (2.35)	有 (無)
一般会計の制度	2.15 (1.125)	2.15 (1.125)	4.3 (2.25)	有 (無)

備考 ( )内は、再任用職員の支給状況。

令和4年度 吹田市下水道事業補正予定貸借対照表

(令和5年3月31日)

(単位：千円)

借方科目	既決予定額	補正予定額	計
1 固定資産	93,206,764	△ 3,289	93,203,475
(1) 有形固定資産	88,877,052	△ 3,289	88,873,763
2 流動資産	5,481,326	6,529	5,487,855
(1) 現金・預金	4,323,026	6,529	4,329,555
合 計	98,688,090	3,240	98,691,330

貸方科目	既決予定額	補正予定額	計
7 剰余金	7,138,595	3,240	7,141,835
(2) 利益剰余金	4,125,697	3,240	4,128,937
合 計	98,688,090	3,240	98,691,330

(注) 本表は、前回の予定貸借対照表と異同あるもののみを記載しました。

令和4年度 吹田市下水道事業補正予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

区 分	既決予定額	補正予定額	計
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	3,202,014	3,240	3,205,254
当年度純利益	873,444	3,240	876,684
小計	3,667,988	3,240	3,671,228
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,333,007	3,289	△ 2,329,718
有形固定資産の取得による支出	△ 3,619,614	3,289	△ 3,616,325
資金増減額	△ 9,882	6,529	△ 3,353
資金期末残高	4,323,026	6,529	4,329,555

(注) 本表は、前回の予定キャッシュ・フロー計算書と異同あるもののみを記載しました。